

県内経済の動向  
—平成27年11月—

資料編

福岡県

企画・地域振興部調査統計課



# 目 次

◎ 県内経済の動向の変遷 .....	1 ～ 2
--------------------	-------

## 企業部門

### ◎ 生 産

1 鉱工業生産指数（総合） .....	3
2 鉱工業出荷指数（総合） .....	4
3 鉱工業在庫指数（総合） .....	5
4 鉄鋼業 .....	6
5 輸送機械工業 .....	7
6 四輪自動車生産台数（九州） .....	8
7 化学工業 .....	9
8 食料品・たばこ工業 .....	10
9 大口電力使用量 .....	11
10 所定外労働時間（製造業） .....	12

### ◎ 貿 易

1 輸出通関実績額 .....	13
2 輸出通関実績額の内訳（主要品目別） .....	14
3 主要地域別輸出状況 .....	15
4 輸入通関実績額 .....	16
5 輸入通関実績額の内訳（主要品目別） .....	17
6 主要地域別輸入状況 .....	18

### ◎ 設備投資

1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果） 北部九州の企業における設備投資見込み .....	19
2 建築着工 .....	20
3 『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果） .....	21
4 『九州地域設備投資動向』（日本政策投資銀行調査結果） .....	22

### ◎ 企業景況

1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果） .....	23
2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果） .....	24
3 『福岡県中小企業動向調査（小企業編）』（日本政策金融公庫福岡支店調査結果） .....	25
4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果） .....	26
5 『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果） .....	27

◎ 企業収益	
1 『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）	28

◎ 企業倒産	
1 倒産件数	29
2 倒産負債額	30

## 家計部門

◎ 消費	
1 二人以上世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）	31
2 二人以上世帯サービス支出額（九州）	32
3 小売業販売額（全国・九州沖縄）	33
4 百貨店販売額	34
5 スーパー販売額	35
6 コンビニエンス・ストア販売額（九州・沖縄）	36
7 新車登録台数	37
8 新車登録台数の内訳	38
9 旅行業取扱額（九州）	39
10 インターネットを利用した支出状況（九州・沖縄）	40

◎ 雇用	
1 求人・求職状況	41
2 きまって支給する給与	42
3 就業状態	43
4 雇用保険被保険者数	44

## その他関係指標

◎ 住宅投資	
1 新設住宅着工戸数	45
2 新設住宅着工戸数の内訳（利用関係別）	46

◎ 公共投資	
1 公共工事請負額	47
2 公共工事請負額の内訳	48

◎ 物価	
1 消費者物価指数	49
2 企業物価指数	50
3 原油価格とガソリン価格	51

◎ 金 融	
1 預金残高（国内銀行）	5 2
2 貸出金残高（国内銀行）	
3 金利（九州・沖縄地銀 2 1 行貸出約定平均金利）	5 3
4 株価の変動	5 4
5 為替の変動	5 5
6 長期国債利回りの変動	
◎ 景気動向指数	
1 福岡県の景気動向指数	5 6
2 福岡県の累積動向指数	5 7
◎ 地域経済動向の変遷	5 8
◎ 日本経済	
○ 『月例経済報告』（内閣府）	5 9
○ 四半期別 GDP 速報	6 0
○ 政府経済見通し（主要経済指標）	6 1
○ 海外主要国の経済見通し・日銀の経済見通し	6 2
◎ 海外経済	
1 主要経済指標の国際比較（1）	6 3
2 主要経済指標の国際比較（2）	6 4

【県内経済の動向の変遷】

		平成27年(2015年)																																	
		8月	9月																																
基 調 判 断		福岡県の景気は、着実に持ち直している。 県内経済の先行きについては、各種政策効果が発現するなかで、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、中国経済をはじめとした海外景気の下振れリスクなどには引き続き留意する必要がある。	—																																
企 業 部 門	生 産	生産は、このところ持ち直しの動きが鈍化している。	生産は、緩やかな持ち直しの動きがみられる。																																
	貿 易	輸出は、増加している。 輸入は、おおむね横ばいとなっている。	輸出は、増加している。 輸入は、おおむね横ばいとなっている。																																
	設 備 投 資	27年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。	27年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。																																
	企 業 景 況	企業の業況判断は、総じて改善の動きがみられる。	企業の業況判断は、総じて改善の動きがみられる。																																
	企 業 倒 産	倒産件数は、低水準で推移している。	倒産件数は、このところ前年を上回っているものの、低水準で推移している。																																
家 計 部 門	消 費	消費は、持ち直している。  <table border="0"> <tr> <td>小売業販売額*1</td> <td>6月</td> <td>前年同月比</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>百貨店・スーパー販売額</td> <td>6月</td> <td>同</td> <td>▲0.1%</td> </tr> <tr> <td>新車登録台数</td> <td>7月</td> <td>同</td> <td>▲13.1%</td> </tr> <tr> <td>旅行業取扱額*2</td> <td>6月</td> <td>同</td> <td>▲5.9%</td> </tr> </table> *1は九州・沖縄 *2は九州	小売業販売額*1	6月	前年同月比	4.7%	百貨店・スーパー販売額	6月	同	▲0.1%	新車登録台数	7月	同	▲13.1%	旅行業取扱額*2	6月	同	▲5.9%	消費は、持ち直している。  <table border="0"> <tr> <td>小売業販売額*1</td> <td>7月</td> <td>前年同月比</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>百貨店・スーパー販売額</td> <td>7月</td> <td>同</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>新車登録台数</td> <td>8月</td> <td>同</td> <td>▲5.4%</td> </tr> <tr> <td>旅行業取扱額*2</td> <td>7月</td> <td>同</td> <td>▲7.9%</td> </tr> </table> *1は九州・沖縄 *2は九州	小売業販売額*1	7月	前年同月比	7.2%	百貨店・スーパー販売額	7月	同	4.0%	新車登録台数	8月	同	▲5.4%	旅行業取扱額*2	7月	同	▲7.9%
	小売業販売額*1	6月	前年同月比	4.7%																															
百貨店・スーパー販売額	6月	同	▲0.1%																																
新車登録台数	7月	同	▲13.1%																																
旅行業取扱額*2	6月	同	▲5.9%																																
小売業販売額*1	7月	前年同月比	7.2%																																
百貨店・スーパー販売額	7月	同	4.0%																																
新車登録台数	8月	同	▲5.4%																																
旅行業取扱額*2	7月	同	▲7.9%																																
雇 用	雇用情勢は、一部に厳しさがみられるものの、着実に改善が進んでいる。	雇用情勢は、一部に厳しさがみられるものの、着実に改善が進んでいる。																																	
そ の 他 関 係 指 標	住 宅 投 資	新設住宅着工は、持ち直しの動きが見られる。	新設住宅着工は、持ち直しの動きが見られる。																																
	公 共 投 資	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を下回っている。	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を下回っている。																																
	物 価	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、上昇テンポが鈍化している。 企業物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、おおむね横ばいとなっている。 企業物価は、このところ緩やかに下落している。																																
	金 融	6月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。	7月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。																																
( 参 考 )		株式相場（日経平均株価）は、このところ17,800～19,100円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ119～121円台で推移している。 長期金利は、このところ0.3%台で推移している。	株式相場（日経平均株価）は、このところ17,500～18,400円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ119～120円台で推移している。 長期金利は、このところ0.3%台で推移している。																																

		平成27年(2015年)																																	
		10月	11月																																
基 調 判 断		—	福岡県の景気は、緩やかに回復しつつある。 県内経済の先行きについては、各種政策効果が発現するなかで、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、中国経済をはじめとした海外景気の下振れリスクなどには引き続き留意する必要がある。																																
企 業 部 門	生 産	生産は、緩やかな持ち直しの動きがみられる。	生産は、緩やかな持ち直しの動きがみられる。																																
	貿 易	輸出は、増加テンポが緩やかになっている。 輸入は、おおむね横ばいとなっている。	輸出は、増加テンポが緩やかになっている。 輸入は、おおむね横ばいとなっている。																																
	設 備 投 資	27年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。	27年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。																																
	企 業 景 況	企業の業況判断は、総じて改善の動きがみられる。	企業の業況判断は、総じて改善の動きがみられる。																																
	企 業 倒 産	倒産件数は、このところ前年を上回っているものの、低水準で推移している。	倒産件数は、低水準で推移している。																																
家 計 部 門	消 費	消費は、持ち直している。  <table border="0"> <tr> <td>小売業販売額*1</td> <td>8月</td> <td>前年同月比</td> <td>6.2%</td> </tr> <tr> <td>百貨店・スーパー販売額</td> <td>8月</td> <td>同</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>新車登録台数</td> <td>9月</td> <td>同</td> <td>▲3.9%</td> </tr> <tr> <td>旅行業取扱額*2</td> <td>8月</td> <td>同</td> <td>▲7.4%</td> </tr> </table> *1は九州・沖縄 *2は九州	小売業販売額*1	8月	前年同月比	6.2%	百貨店・スーパー販売額	8月	同	2.2%	新車登録台数	9月	同	▲3.9%	旅行業取扱額*2	8月	同	▲7.4%	消費は、緩やかに回復しつつある。  <table border="0"> <tr> <td>小売業販売額*1</td> <td>9月</td> <td>前年同月比</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>百貨店・スーパー販売額</td> <td>9月</td> <td>同</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>新車登録台数</td> <td>10月</td> <td>同</td> <td>▲6.1%</td> </tr> <tr> <td>旅行業取扱額*2</td> <td>9月</td> <td>同</td> <td>4.0%</td> </tr> </table> *1は九州・沖縄 *2は九州	小売業販売額*1	9月	前年同月比	5.4%	百貨店・スーパー販売額	9月	同	3.7%	新車登録台数	10月	同	▲6.1%	旅行業取扱額*2	9月	同	4.0%
	小売業販売額*1	8月	前年同月比	6.2%																															
百貨店・スーパー販売額	8月	同	2.2%																																
新車登録台数	9月	同	▲3.9%																																
旅行業取扱額*2	8月	同	▲7.4%																																
小売業販売額*1	9月	前年同月比	5.4%																																
百貨店・スーパー販売額	9月	同	3.7%																																
新車登録台数	10月	同	▲6.1%																																
旅行業取扱額*2	9月	同	4.0%																																
雇 用	雇用情勢は、一部に厳しさがみられるものの、着実に改善が進んでいる。	雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、着実に改善が進んでいる。																																	
そ の 他 関 係 指 標	住 宅 投 資	新設住宅着工は、持ち直している。	新設住宅着工は、持ち直している。																																
	公 共 投 資	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を下回っている。	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を下回っている。																																
	物 価	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、おおむね横ばいとなっている。 企業物価は、このところ緩やかに下落している。	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、おおむね横ばいとなっている。 企業物価は、このところ緩やかに下落している。																																
	金 融	8月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。	9月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。																																
( 参 考 )		株式相場（日経平均株価）は、このところ18,100～18,900円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ119～120円台で推移している。 長期金利は、このところ0.3%台で推移している。	株式相場（日経平均株価）は、このところ19,300～19,600円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ122～123円台で推移している。 長期金利は、このところ0.3%台で推移している。																																

# 生産

## 1 鉱工業生産指数（総合）（2015年9月）

（1）前月比：2か月ぶりのプラス

（2）業種別の前月比（寄与度順）

プラス：輸送機械工業、はん用・生産用機械工業 等

マイナス：電子部品・デバイス工業、印刷業 等

（平成22年=100）

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	101.2	▲ 1.3
	10月	103.9	2.7
	11月	103.3	▲ 0.6
	12月	103.4	0.1
平成27年 (2015)	1月	115.9	12.1
	2月	110.7	▲ 4.5
	3月	109.4	▲ 1.2
	4月	108.6	▲ 0.7
	5月	108.0	▲ 0.6
	6月	109.9	1.8
	7月	112.1	2.0
	8月	103.3	▲ 7.9
	9月	107.2	3.8

（平成22年=100）

		指数	前期比
平成25年	10～12月	102.1	▲ 2.5
平成26年 (2014)	1～3月	109.2	7.0
	4～6月	104.6	▲ 4.2
	7～9月	101.5	▲ 3.0
	10～12月	103.5	2.0
平成27年 (2015)	1～3月	112.0	8.2
	4～6月	108.8	▲ 2.9
	7～9月	107.5	▲ 1.2

（平成22年=100）

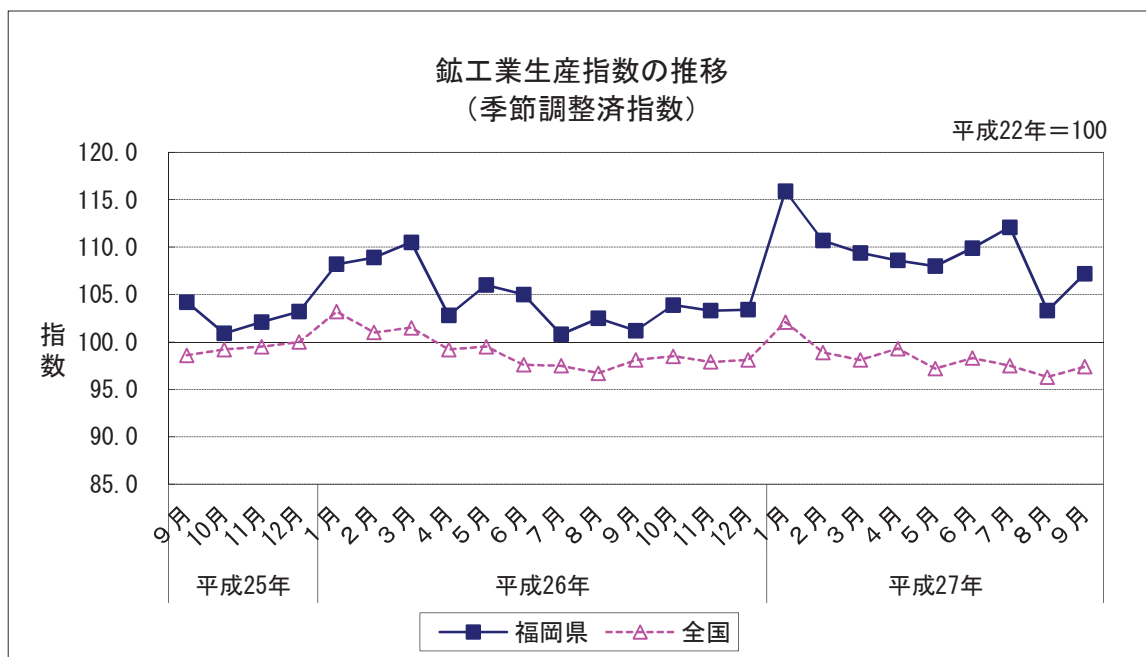
	指数	前年比
平成24年(2012)	107.2	5.4
平成25年(2013)	103.9	▲ 3.1
平成26年(2014)	104.6	0.7

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」

※月及び四半期は季節調整済指数，年は原指数による。前月比，前期比及び前年比は増減率（％）。

※平成26年以降は年間補正前の数値である。

（以下出荷、在庫及び業種別についても同様）。



# 生産

## 2 鉱工業出荷指数（総合）（2015年9月）

（1）前月比：2か月ぶりのプラス

（2）業種別の前月比（寄与度順）

プラス：輸送機械工業、金属製品工業等

マイナス：鉄鋼業、電子部品・デバイス工業等

（平成22年=100）

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	103.2	▲ 1.3
	10月	105.0	1.7
	11月	105.3	0.3
	12月	104.4	▲ 0.9
平成27年 (2015)	1月	115.8	10.9
	2月	112.5	▲ 2.8
	3月	109.3	▲ 2.8
	4月	108.1	▲ 1.1
	5月	111.9	3.5
	6月	110.6	▲ 1.2
	7月	112.0	1.3
	8月	104.8	▲ 6.4
	9月	107.5	2.6

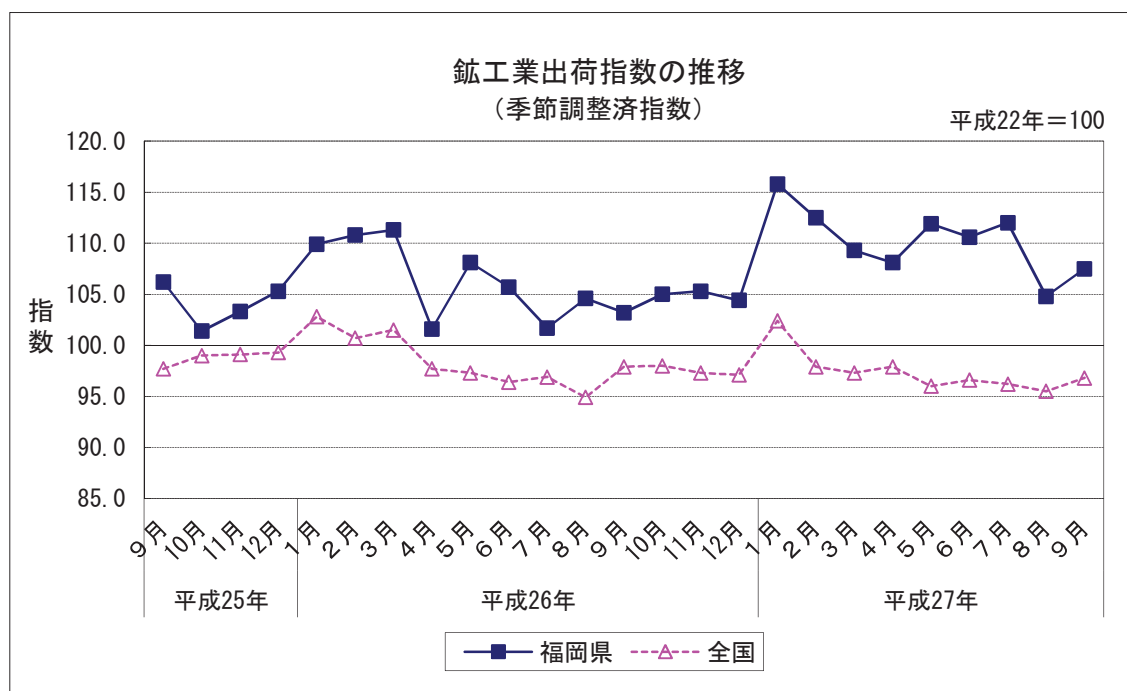
（平成22年=100）

		指数	前期比
平成25年	10~12月	103.3	▲ 2.9
	1~3月	110.7	7.2
平成26年 (2014)	4~6月	105.1	▲ 5.1
	7~9月	103.2	▲ 1.8
	10~12月	104.9	1.6
平成27年 (2015)	1~3月	112.5	7.2
	4~6月	110.2	▲ 2.0
	7~9月	108.1	▲ 1.9

（平成22年=100）

	指数	前年比
平成24年(2012)	108.6	5.6
平成25年(2013)	105.1	▲ 3.2
平成26年(2014)	105.9	0.8

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 3 鋳工業在庫指数（総合）（2015年9月）

(1) 前月比：2か月ぶりのプラス

(2) 業種別の前月比（寄与度順）

プラス：鉄鋼業、輸送機械工業 等

マイナス：金属製品工業、繊維工業 等

(平成22年=100)

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	140.7	▲ 0.1
	10月	136.6	▲ 2.9
	11月	134.4	▲ 1.6
	12月	133.3	▲ 0.8
平成27年 (2015)	1月	137.4	3.1
	2月	136.2	▲ 0.9
	3月	141.4	3.8
	4月	149.3	5.6
	5月	148.6	▲ 0.5
	6月	151.0	1.6
	7月	160.8	6.5
	8月	160.2	▲ 0.4
	9月	161.1	0.6

(平成22年=100)

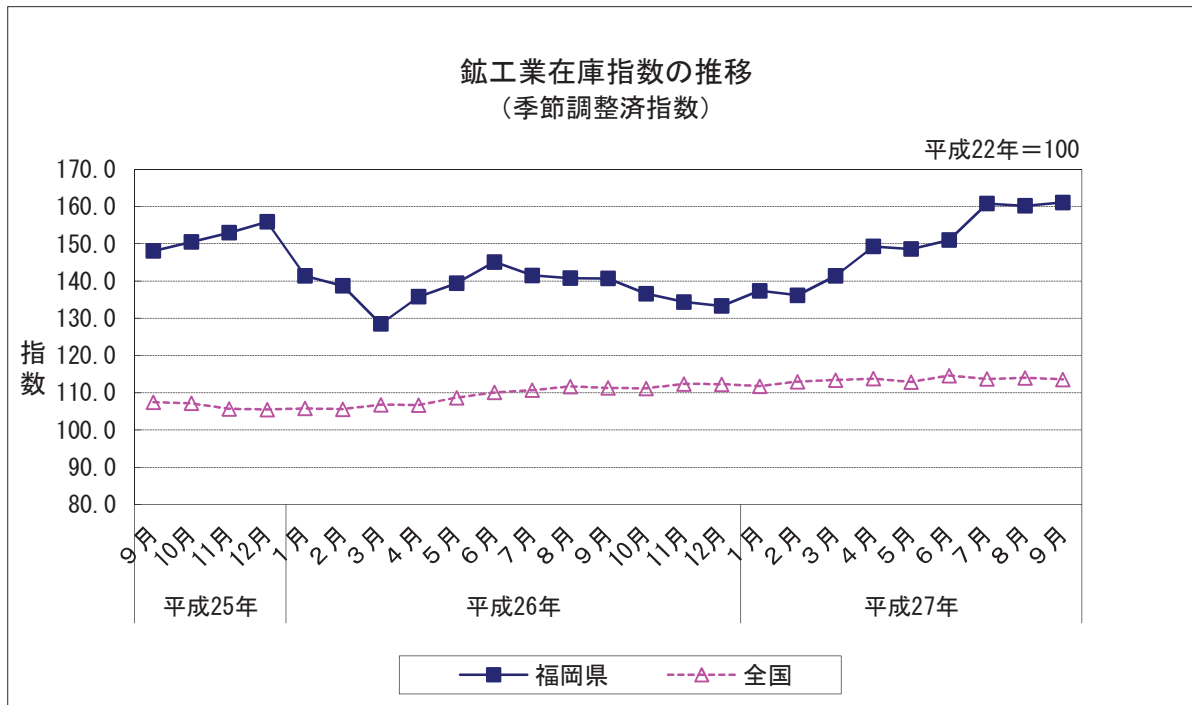
		指数	前期比
平成25年	10~12月	155.9	5.3
平成26年 (2014)	1~3月	128.5	▲ 17.6
	4~6月	145.1	12.9
	7~9月	140.7	▲ 3.0
	10~12月	133.3	▲ 5.3
平成27年 (2015)	1~3月	141.4	6.1
	4~6月	151.0	6.8
	7~9月	161.1	6.7

(平成22年=100)

	指数	前年比
平成24年(2012)	130.6	8.1
平成25年(2013)	156.4	19.8
平成26年(2014)	134.4	▲ 14.1

資料出所：福岡県調査統計課「鋳工業指数」

※四半期・年の数値は期末値。



# 生産

## 4 鉄鋼業（2015年9月）

(1) 前月比：2か月ぶりのマイナス

マイナスに寄与した主な品目：亜鉛めっき鋼板、ブリキ、  
特殊鋼冷間仕上鋼材 等

(平成22年=100)

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	93.9	3.9
	10月	91.9	▲ 2.1
	11月	95.5	3.9
	12月	94.8	▲ 0.7
平成27年 (2015)	1月	97.0	2.3
	2月	95.7	▲ 1.3
	3月	93.4	▲ 2.4
	4月	91.3	▲ 2.2
	5月	91.2	▲ 0.1
	6月	92.8	1.8
	7月	90.5	▲ 2.5
	8月	92.9	2.7
	9月	92.4	▲ 0.5

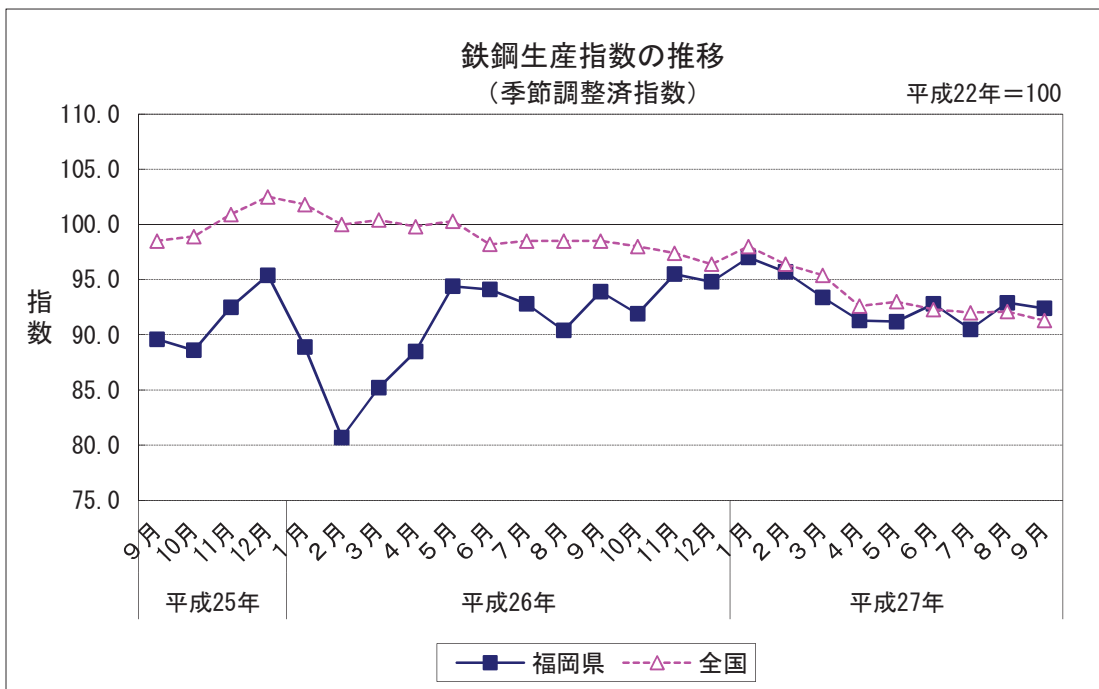
(平成22年=100)

		指数	前期比
平成25年	10~12月	92.2	5.4
	1~3月	84.9	▲ 7.9
平成26年 (2014)	4~6月	92.3	8.7
	7~9月	92.4	0.1
	10~12月	94.1	1.8
平成27年 (2015)	1~3月	95.4	1.4
	4~6月	91.8	▲ 3.8
	7~9月	91.9	0.1

(平成22年=100)

	指数	前年比
平成24年(2012)	91.0	▲ 6.0
平成25年(2013)	89.1	▲ 2.1
平成26年(2014)	91.0	2.1

資料出所：福岡県調査統計課「鉄工業指数」



# 生産

## 5 輸送機械工業（2015年9月）

（1）前月比：2か月ぶりのプラス

プラスに寄与した主な品目：四輪自動車 等

（平成22年=100）

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	105.3	▲ 0.6
	10月	111.2	5.6
	11月	107.3	▲ 3.5
	12月	114.1	6.3
平成27年 (2015)	1月	144.7	26.8
	2月	130.0	▲ 10.2
	3月	131.6	1.2
	4月	122.5	▲ 6.9
	5月	126.4	3.2
	6月	125.9	▲ 0.4
	7月	131.5	4.4
	8月	108.3	▲ 17.6
	9月	116.7	7.8

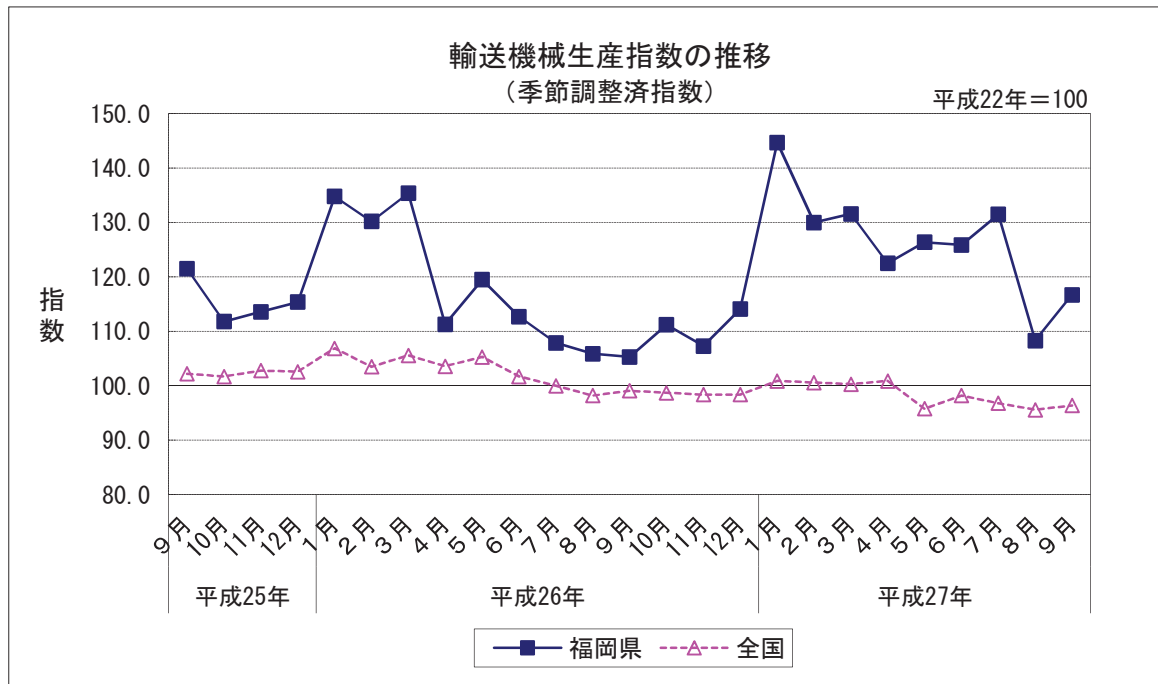
（平成22年=100）

		指数	前期比
平成25年	10~12月	113.6	▲ 7.1
平成26年 (2014)	1~3月	133.5	17.5
	4~6月	114.5	▲ 14.2
	7~9月	106.4	▲ 7.1
	10~12月	110.9	4.2
平成27年 (2015)	1~3月	135.4	22.1
	4~6月	124.9	▲ 7.8
	7~9月	118.8	▲ 4.9

（平成22年=100）

	指数	前年比
平成24年(2012)	126.7	15.5
平成25年(2013)	119.6	▲ 5.6
平成26年(2014)	115.9	▲ 3.1

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 6 四輪自動車生産台数（九州）（2015年9月）

(1) 前年同月比：2か月ぶりのプラス

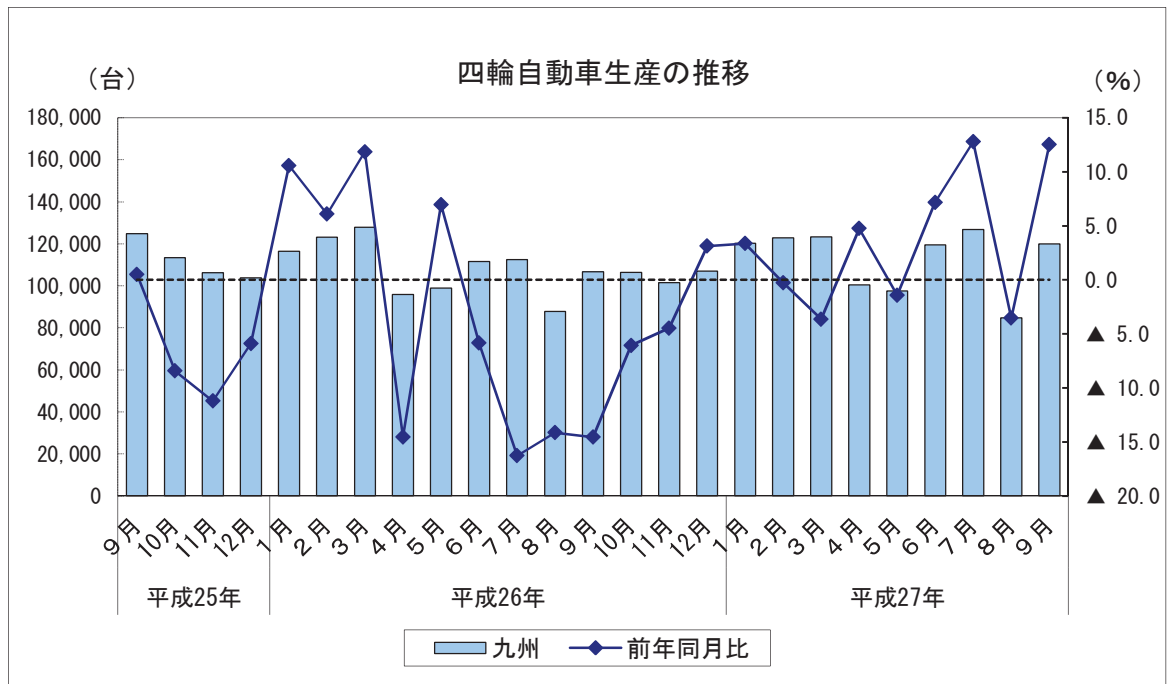
		台数	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	106,686	▲ 14.5
	10月	106,496	▲ 6.1
	11月	101,595	▲ 4.5
	12月	107,088	3.1
平成27年 (2015)	1月	120,336	3.4
	2月	122,824	▲ 0.3
	3月	123,280	▲ 3.6
	4月	100,413	4.8
	5月	97,554	▲ 1.4
	6月	119,528	7.2
	7月	126,832	12.8
	8月	r 84,774	▲ 3.5
	9月	p 120,041	12.5

		台数	前年同期比
平成25年	10~12月	323,548	▲ 8.6
平成26年 (2014)	1~3月	367,508	9.5
	4~6月	306,337	▲ 5.2
	7~9月	307,026	▲ 15.1
	10~12月	315,179	▲ 2.6
平成27年 (2015)	1~3月	366,440	▲ 0.3
	4~6月	317,495	3.6
	7~9月	p 331,647	8.0

	台数	前年比
平成24年(2012)	1,463,300	22.7
平成25年(2013)	1,343,911	▲ 8.2
平成26年(2014)	r 1,296,050	▲ 3.6

資料出所：九州経済産業局

※ pは速報値、rは確報値・年間補正值。



# 生 産

## 7 化学工業（2015年9月）

(1) 前月比：2か月ぶりのプラス

プラスに寄与した主な品目：無水フタル酸、触媒、ポリカーボネート 等

(平成22年=100)

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	104.5	1.7
	10月	107.9	3.3
	11月	103.4	▲ 4.2
	12月	101.9	▲ 1.5
平成27年 (2015)	1月	100.9	▲ 1.0
	2月	96.2	▲ 4.7
	3月	94.5	▲ 1.8
	4月	96.8	2.4
	5月	92.5	▲ 4.4
	6月	102.3	10.6
	7月	105.9	3.5
	8月	93.4	▲ 11.8
	9月	98.0	4.9

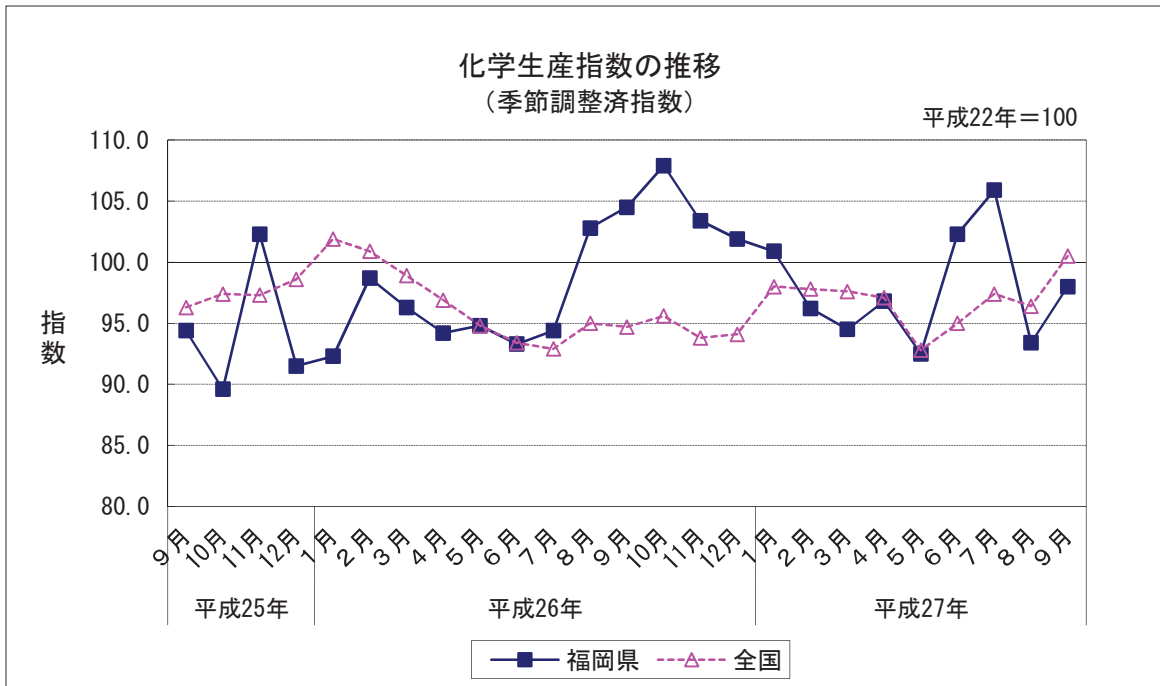
(平成22年=100)

		指数	前期比
平成25年	10~12月	94.5	1.9
	1~3月	95.8	1.4
	4~6月	94.1	▲ 1.8
平成26年 (2014)	7~9月	100.6	6.9
	10~12月	104.4	3.8
平成27年 (2015)	1~3月	97.2	▲ 6.9
	4~6月	97.2	0.0
	7~9月	99.1	2.0

(平成22年=100)

	指数	前年比
平成24年(2012)	96.2	4.1
平成25年(2013)	95.9	▲ 0.3
平成26年(2014)	98.7	2.9

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 8 食料品・たばこ工業（2015年9月）

(1) 前月比：2か月ぶりのプラス

プラスに寄与した主な品目：枝肉、固型カレー、砂糖 等

(平成22年=100)

		指数	前月比
平成26年 (2014)	9月	89.3	0.4
	10月	89.8	0.6
	11月	91.4	1.8
	12月	89.6	▲ 2.0
平成27年 (2015)	1月	94.3	5.2
	2月	91.1	▲ 3.4
	3月	88.0	▲ 3.4
	4月	90.2	2.5
	5月	91.8	1.8
	6月	91.4	▲ 0.4
	7月	94.0	2.8
	8月	93.4	▲ 0.6
	9月	94.7	1.4

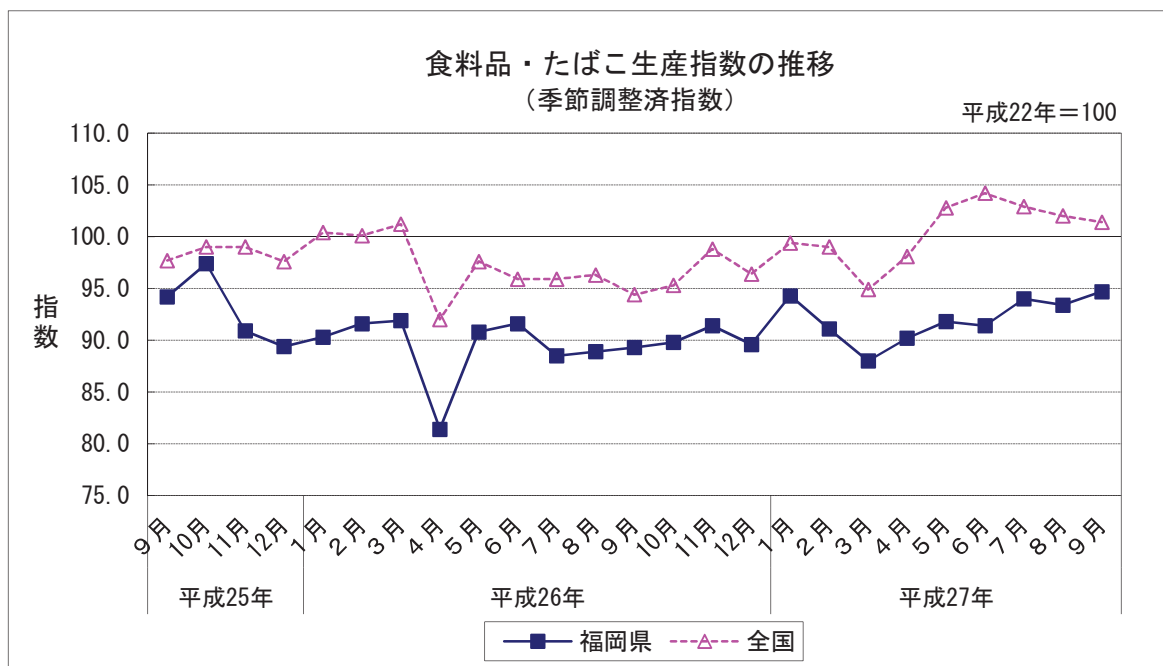
(平成22年=100)

		指数	前期比
平成25年	10~12月	92.6	▲ 4.2
平成26年 (2014)	1~3月	91.3	▲ 1.4
	4~6月	87.9	▲ 3.7
	7~9月	88.9	1.1
	10~12月	90.3	1.6
平成27年 (2015)	1~3月	91.1	0.9
	4~6月	91.1	0.0
	7~9月	94.0	3.2

(平成22年=100)

	指数	前年比
平成24年(2012)	101.2	3.0
平成25年(2013)	96.5	▲ 4.6
平成26年(2014)	89.5	▲ 7.3

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 9 大口電力使用量（2015年9月）

(1) 前年同月比：12か月連続のマイナス

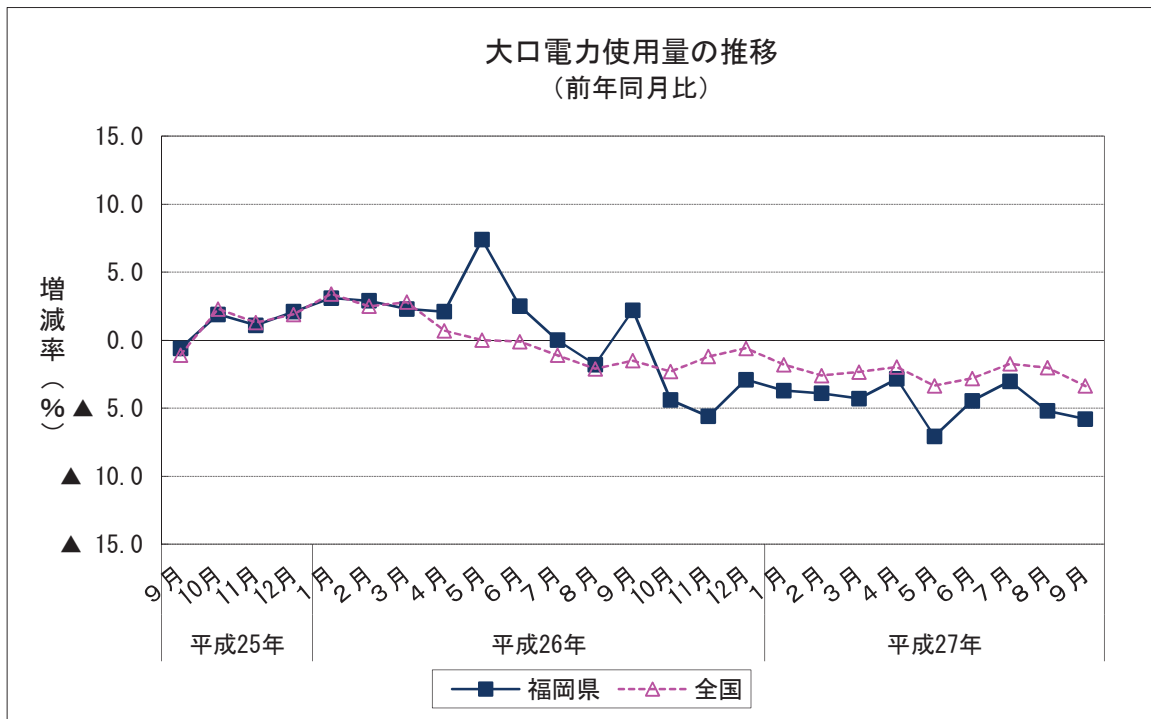
		使用量(Mwh)	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	735,322	2.2
	10月	707,996	▲4.4
	11月	680,966	▲5.6
	12月	702,538	▲2.9
平成27年 (2015)	1月	673,574	▲3.7
	2月	646,110	▲3.9
	3月	710,485	▲4.3
	4月	690,816	▲2.8
	5月	683,679	▲7.1
	6月	712,585	▲4.5
	7月	741,883	▲3.0
	8月	692,865	▲5.2
	9月	692,671	▲5.8

		使用量(Mwh)	前年同期比
平成25年	10~12月	2,185,325	1.7
平成26年 (2014)	1~3月	2,114,186	2.7
	4~6月	2,192,494	4.0
	7~9月	2,231,187	0.1
	10~12月	2,091,500	▲4.3
平成27年 (2015)	1~3月	2,030,169	▲4.0
	4~6月	2,087,080	▲4.8
	7~9月	2,127,419	▲4.7

	使用量(Mwh)	前年比
平成24年(2012)	8,732,022	0.8
平成25年(2013)	8,581,454	▲1.7
平成26年(2014)	8,629,367	0.6

資料出所：九州電力「需要実績」、日本電気事業協会「電力需要実績（確報）」

使用量単位：Mwh



# 生産

## 10 所定外労働時間（製造業）（2015年9月）

（1）前年同月比：6か月連続のプラス

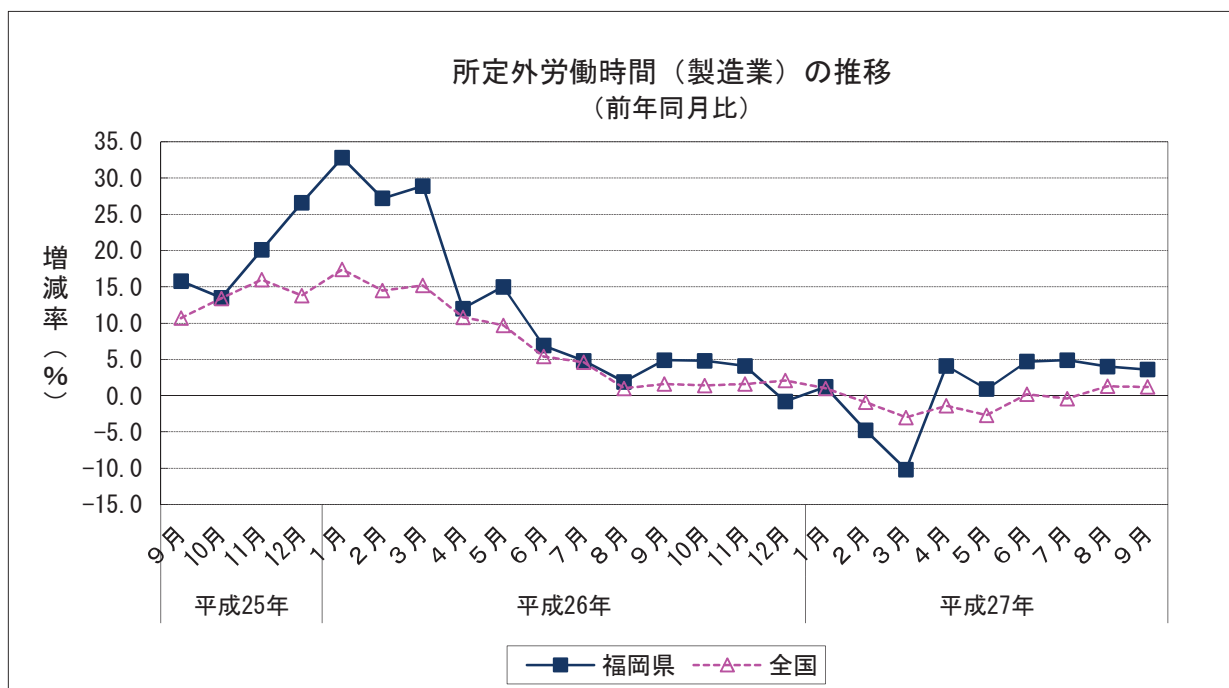
（平成22年=100）

		所定外労働時間	指数	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	17.1	112.3	4.9
	10月	17.2	113.1	4.8
	11月	17.6	115.9	4.1
	12月	18.4	121.4	▲ 0.8
平成27年 (2015)	1月	18.5	115.6	1.2
	2月	18.9	118.1	▲ 4.8
	3月	18.7	116.9	▲ 10.2
	4月	19.1	119.4	4.1
	5月	17.6	110.0	0.9
	6月	18.4	115.0	4.7
	7月	18.9	118.1	4.9
	8月	18.0	112.5	4.0
	9月	18.6	116.3	3.6

	所定外労働時間	前年比
平成24年(2012)	15.1	▲ 6.2
平成25年(2013)	16.2	9.5
平成26年(2014)	17.7	11.2

資料出所：

福岡県調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」  
 対象：製造業、30人以上の事業所  
 ※前年同月比、前年比はそれぞれの指数比による。  
 ※指数は、基準年を更新し、平成22年を100と  
 している。



# 貿易

## 1 輸出通関実績額（2015年9月）

（1）前年同月比：14か月連続のプラス

		輸出通関実績額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	389,371	2.1
	10月	383,844	5.2
	11月	394,736	12.2
	12月	432,978	12.7
平成27年 (2015)	1月	373,536	25.3
	2月	360,353	1.2
	3月	411,821	5.5
	4月	405,714	13.3
	5月	361,758	4.3
	6月	415,897	12.2
	7月	426,162	11.5
	8月	376,695	2.4
	9月	398,091	2.2

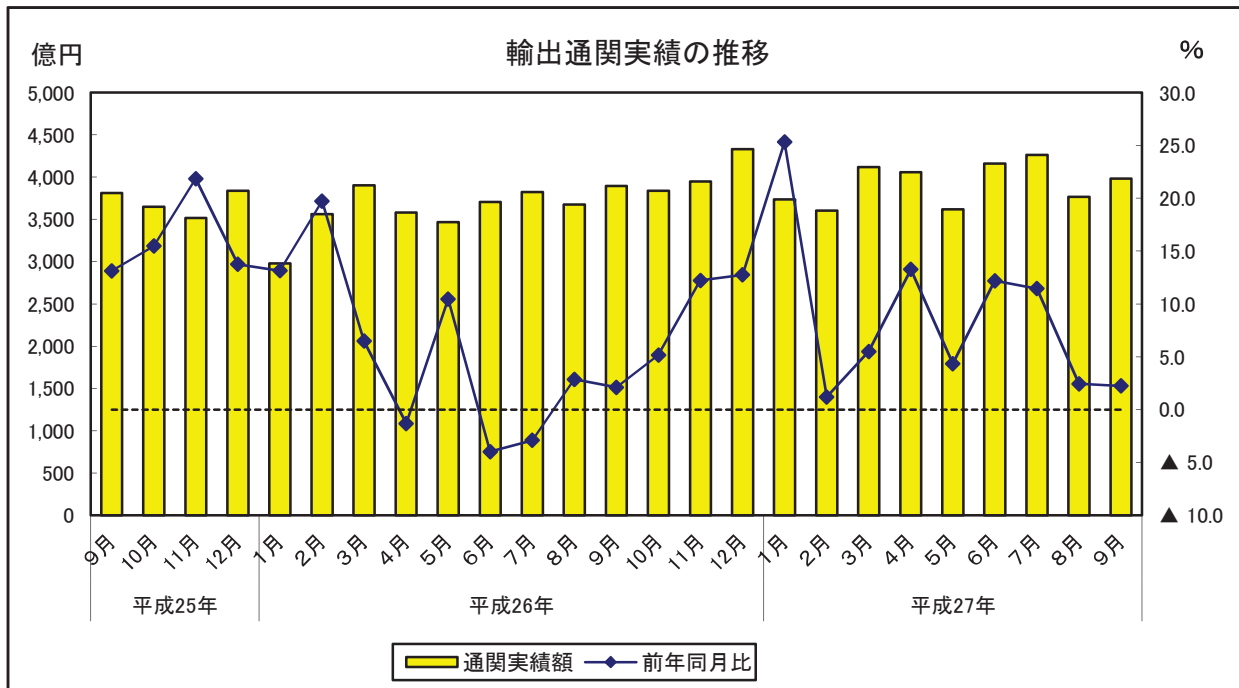
		輸出通関実績額	前年同期比
平成25年	10～12月	1,100,805	16.8
平成26年 (2014)	1～3月	1,044,523	12.6
	4～6月	1,075,598	1.1
	7～9月	1,139,503	0.6
	10～12月	1,211,559	10.1
平成27年 (2015)	1～3月	1,145,710	9.7
	4～6月	1,183,369	10.0
	7～9月	1,200,948	5.4

	輸出通関実績額	前年比
平成24年(2012)	3,962,437	2.0
平成25年(2013)	4,224,769	6.6
平成26年(2014)	4,471,182	5.8

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸出通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 2 輸出通関実績額の内訳（2015年9月）

(1) 主要品目別前年同月比

プラス：半導体等電子部品、自動車等、一般機械

マイナス：電気機器、タイヤ・チューブ、鉄鋼、有機化合物、精密機器類等

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成26年 (2014)	9月	389,371	98,442	60,810	91,247	41,470	23,995	31,583	9,186	12,418	81,030
	10月	383,844	103,368	64,279	79,694	39,617	27,113	24,953	11,820	10,253	87,027
	11月	394,736	96,829	63,281	88,738	54,132	26,990	27,598	10,855	10,214	79,382
	12月	432,978	93,930	64,656	100,911	63,163	30,682	28,960	11,288	14,076	89,968
平成27年 (2015)	1月	373,536	83,063	56,809	82,215	49,834	20,948	25,932	9,693	8,594	93,258
	2月	360,353	74,018	47,031	83,875	47,585	25,306	30,020	8,530	7,628	83,390
	3月	411,821	81,119	53,759	86,732	61,601	29,764	34,791	10,540	7,870	99,404
	4月	405,714	90,060	59,516	102,344	57,038	26,190	24,849	9,110	8,981	87,141
	5月	361,758	85,128	60,409	77,558	45,406	24,057	28,330	8,165	7,489	85,624
	6月	415,897	89,329	56,263	117,734	55,373	28,211	28,505	7,045	7,978	81,722
	7月	426,162	93,795	59,635	115,565	60,449	27,767	25,096	8,480	9,200	85,809
	8月	376,695	84,381	61,646	83,565	55,633	23,772	27,188	8,787	10,384	82,985
	9月	398,091	94,232	69,776	103,748	58,555	21,942	22,846	6,955	10,083	79,729

(単位：%)

		前年同月比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成26年 (2014)	9月	2.1	21.8	34.7	▲ 9.7	▲ 6.3	▲ 8.1	20.8	4.2	1.5	▲ 1.1
	10月	5.2	25.4	37.9	▲ 13.7	2.1	8.7	9.0	27.9	9.7	2.5
	11月	12.2	29.6	40.5	▲ 9.5	54.5	▲ 2.1	22.4	37.3	▲ 5.1	5.5
	12月	12.7	31.6	51.0	2.9	32.6	9.7	4.0	20.8	11.5	0.9
平成27年 (2015)	1月	25.3	64.3	71.4	10.4	19.2	▲ 4.8	7.9	16.1	▲ 6.8	37.8
	2月	1.2	26.2	36.1	▲ 4.3	▲ 3.0	▲ 6.2	26.1	▲ 20.2	▲ 0.4	▲ 9.0
	3月	5.5	6.8	30.8	▲ 5.2	13.2	6.9	24.5	5.1	▲ 17.1	6.7
	4月	13.3	22.8	40.7	12.0	28.4	▲ 10.4	12.5	1.0	▲ 5.1	10.0
	5月	4.3	18.1	43.9	▲ 10.8	20.7	▲ 12.8	18.0	17.9	▲ 27.7	5.5
	6月	12.2	27.7	40.4	5.0	59.1	▲ 9.7	5.2	13.1	▲ 28.4	4.6
	7月	11.5	8.4	10.3	17.0	74.0	1.5	▲ 3.1	▲ 6.8	▲ 16.7	▲ 3.5
	8月	2.4	▲ 9.4	6.5	▲ 4.4	62.9	▲ 13.6	2.3	▲ 13.8	▲ 12.4	7.9
	9月	2.2	▲ 4.3	14.7	13.7	41.2	▲ 8.6	▲ 27.7	▲ 24.3	▲ 18.8	▲ 1.6

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成24年(2012)		3,962,437	803,505	468,488	1,061,995	417,069	308,613	271,606	91,050	109,842	898,756
平成25年(2013)		4,224,769	838,655	499,157	1,048,513	466,304	341,654	306,449	100,470	135,205	987,520
平成26年(2014)		4,471,182	972,770	598,140	1,090,801	529,393	328,506	314,537	113,684	127,187	994,304

(単位：%)

		前年比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成24年(2012)		2.0	21.5	25.9	4.7	▲ 20.4	9.1	▲ 12.7	8.8	22.5	▲ 2.0
平成25年(2013)		6.6	4.4	6.5	▲ 1.3	11.8	10.7	12.8	10.3	23.1	9.9
平成26年(2014)		5.8	16.0	19.8	4.0	13.5	▲ 3.8	2.6	13.2	▲ 5.9	0.7

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

注) 自動車等は、自動車及び自動車の部分品

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

# 貿易

## 3 主要地域別輸出状況（2015年9月）

### (1) 前年同月比

アジア：14か月連続のプラス

北米：2か月ぶりのプラス

西欧：3か月連続のマイナス

		アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
		実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	242,855	5.6	89,973	▲ 2.5	54,374	7.9	21,179	4.3	50,842	▲ 24.4	33,884	51.3
	10月	241,686	13.3	85,800	16.3	49,171	▲ 1.6	24,535	20.0	43,925	▲ 38.2	34,013	36.7
	11月	257,081	20.8	90,459	16.8	57,790	47.4	26,287	24.5	41,865	▲ 24.6	28,469	28.4
	12月	267,256	18.4	95,546	6.3	59,585	30.1	26,378	17.9	65,922	2.3	36,798	23.1
平成27年 (2015)	1月	224,832	27.4	73,361	13.4	50,747	33.5	27,818	60.6	54,459	7.6	28,863	23.8
	2月	213,786	2.8	65,276	▲ 23.9	47,554	16.3	24,991	12.8	53,701	▲ 6.4	32,052	29.8
	3月	252,595	5.9	82,457	▲ 15.0	53,861	15.0	32,078	32.2	47,133	▲ 17.5	29,974	18.9
	4月	252,773	16.2	85,525	1.2	50,783	15.1	30,816	35.1	60,300	▲ 7.9	30,514	30.8
	5月	224,996	10.5	74,600	▲ 3.5	43,739	13.0	25,860	16.3	51,955	10.9	28,122	▲ 8.7
	6月	252,364	18.4	95,299	14.4	43,792	11.4	32,645	41.1	54,045	▲ 6.2	35,058	8.1
	7月	257,930	10.2	95,662	10.6	53,136	13.8	30,175	7.6	66,277	22.4	32,542	▲ 3.2
	8月	240,923	6.1	83,429	▲ 2.2	47,303	11.5	33,220	43.2	49,670	▲ 11.8	25,128	▲ 17.8
	9月	253,575	4.4	91,867	2.1	49,806	▲ 8.4	32,166	51.9	50,860	0.0	24,021	▲ 29.1

	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
平成24年(2012)	2,288,977	▲ 0.0	866,300	0.0	487,318	▲ 5.1	237,321	▲ 3.6	812,032	8.3	266,819	▲ 4.9
平成25年(2013)	2,554,030	11.6	933,570	7.8	540,191	10.8	266,927	12.5	725,094	▲ 10.7	258,789	▲ 3.0
平成26年(2014)	2,727,285	6.8	1,026,189	9.9	557,909	3.3	281,536	5.5	648,103	▲ 10.6	357,103	38.0

平成27年 (2015) 8月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	240,923	6.1	83,429	▲ 2.2	47,303	11.5	33,220	43.2	49,670	▲ 11.8	25,128	▲ 17.8
電気機器	67,367	▲ 7.8	14,592	▲ 42.3	15,553	36.5	6,441	35.3	9,564	▲ 4.6	5,505	▲ 33.1
半導体等 電子部品	55,261	5.8	10,229	▲ 13.8	13,604	34.8	5,724	37.2	2,271	7.7	3,968	12.1
自動車等	34,972	19.5	25,978	10.8	2,014	59.7	1,974	27.1	15,486	▲ 44.0	7,218	▲ 1.1
一般機械	41,197	80.9	15,373	81.6	6,872	13.3	11,610	684.0	9,615	64.9	2,712	▲ 9.1
タイヤ・チューブ	2,754	▲ 26.0	673	▲ 48.4	153	15.4	84	▲ 36.0	3,991	5.6	2,765	▲ 22.2
鉄鋼	19,097	1.0	4,735	▲ 0.9	4,833	27.0	1,293	4.9	2,881	66.1	727	▲ 26.8
有機化合物	6,233	▲ 5.9	1,711	60.7	1,258	▲ 21.7	1,307	▲ 14.2	838	▲ 12.7	993	▲ 32.9
精密機器類	10,308	▲ 12.6	5,207	▲ 8.0	3,750	▲ 17.4	1,085	7.9	45	71.4	10	▲ 55.7
その他	58,993	▲ 3.2	15,160	▲ 1.0	12,870	▲ 5.5	9,425	▲ 18.1	7,252	15.9	5,197	▲ 13.6

平成27年 (2015) 9月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	253,575	4.4	91,867	2.1	49,806	▲ 8.4	32,166	51.9	50,860	0.0	24,021	▲ 29.1
電気機器	73,677	▲ 1.3	17,021	▲ 19.2	17,729	0.2	5,612	36.3	12,658	11.0	5,589	▲ 47.7
半導体等 電子部品	61,091	9.5	11,816	▲ 3.1	15,983	3.9	5,169	50.1	5,023	222.1	3,545	2.6
自動車等	44,438	15.6	32,872	8.7	1,900	▲ 26.4	2,552	55.2	15,420	8.9	5,647	▲ 41.1
一般機械	44,428	55.3	17,187	61.7	9,077	▲ 3.4	11,142	597.8	8,018	24.2	3,886	7.3
タイヤ・チューブ	2,423	▲ 28.6	660	▲ 26.2	131	▲ 41.0	185	61.7	3,390	▲ 21.9	3,124	0.1
鉄鋼	16,333	▲ 23.5	3,726	▲ 30.8	2,951	▲ 37.9	1,056	▲ 32.3	1,725	▲ 66.0	947	78.2
有機化合物	4,898	▲ 23.8	1,141	32.4	1,142	▲ 38.6	1,028	▲ 15.2	1,059	64.2	480	▲ 55.7
精密機器類	9,975	▲ 19.2	4,626	▲ 3.1	3,554	▲ 28.1	1,164	▲ 1.0	75	556.1	11	▲ 73.2
その他	57,402	▲ 0.4	14,633	▲ 9.4	13,323	3.1	9,427	▲ 3.4	8,515	▲ 2.7	4,337	▲ 16.6

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

# 貿易

## 4 輸入通関実績額（2015年9月）

(1) 前年同月比：2か月連続のマイナス

		輸入通関実績額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	239,691	6.9
	10月	239,237	7.0
	11月	232,863	▲ 16.6
	12月	250,441	6.3
平成27年 (2015)	1月	261,687	0.1
	2月	237,738	21.1
	3月	232,058	▲ 4.5
	4月	231,149	▲ 0.9
	5月	225,548	▲ 6.0
	6月	247,886	6.8
	7月	252,863	2.6
	8月	212,391	▲ 2.0
	9月	230,464	▲ 3.8

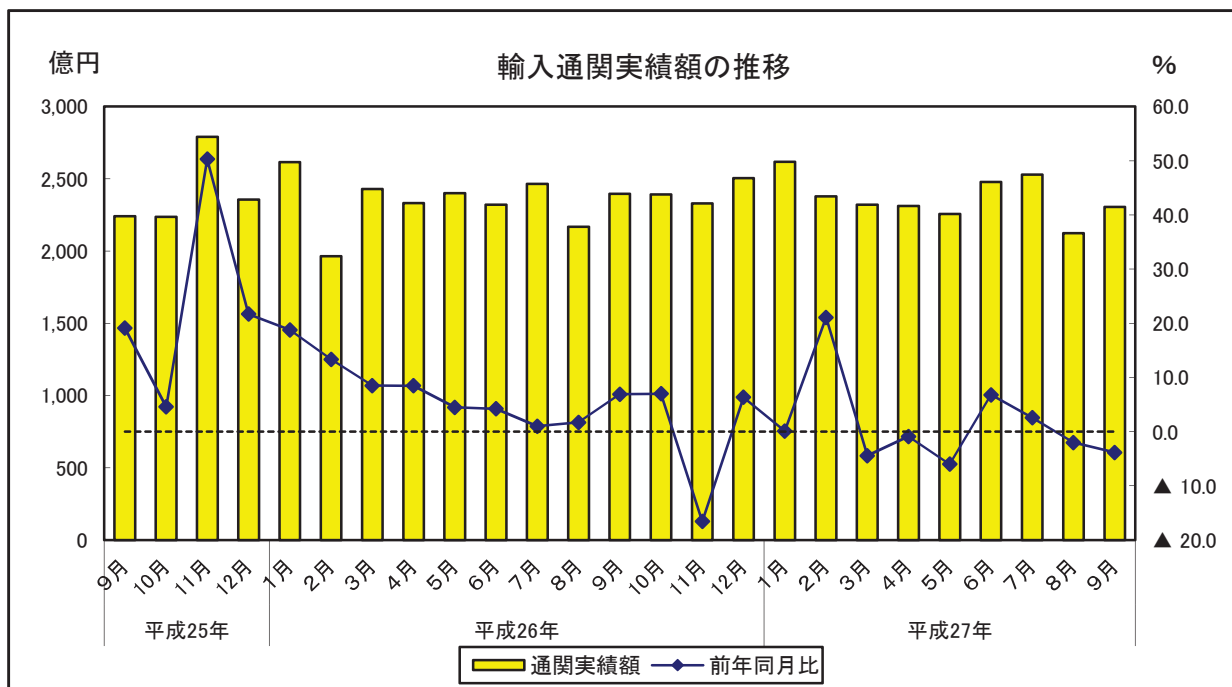
		輸入通関実績額	前年同期比
平成25年	10～12月	738,215	24.5
平成26年 (2014)	1～3月	700,632	13.5
	4～6月	705,417	5.7
	7～9月	703,009	3.2
	10～12月	722,542	▲ 2.1
平成27年 (2015)	1～3月	731,484	4.4
	4～6月	704,583	▲ 0.1
	7～9月	695,718	▲ 1.0

	輸入通関実績額	前年比
平成24年(2012)	2,381,805	6.9
平成25年(2013)	2,704,366	13.5
平成26年(2014)	2,831,600	4.7

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸入通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 5 輸入通関実績額の内訳（2015年9月）

（1）主要品目別前年同月比

プラス：一般機械、履き物 等

マイナス：電気機器、半導体等電子部品、食料品及び動物、  
液化天然ガス、石炭、木材

（単位：百万円）

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成26年 (2014)	9月	239,691	55,336	27,268	25,673	19,230	18,598	9,897	1,497	1,529	107,930
	10月	239,237	49,979	24,355	24,410	16,729	28,901	6,881	1,530	1,359	109,449
	11月	232,863	47,783	22,381	24,774	17,893	30,030	7,240	1,643	1,302	102,199
	12月	250,441	51,134	25,194	27,939	18,798	35,268	4,665	1,367	1,375	109,895
平成27年 (2015)	1月	261,687	53,701	26,861	26,864	20,128	30,429	8,312	2,476	1,345	118,432
	2月	237,738	46,415	20,889	24,994	20,426	28,162	9,842	2,308	1,233	104,359
	3月	232,058	50,592	24,000	25,764	16,968	26,320	6,498	1,048	1,111	103,757
	4月	231,149	52,930	22,838	33,692	17,369	11,816	2,761	1,368	1,266	109,946
	5月	225,548	50,700	22,228	29,997	19,465	11,065	9,914	1,167	1,294	101,946
	6月	247,886	58,461	22,855	29,509	20,884	16,077	9,131	1,257	1,286	111,282
	7月	252,863	59,014	24,961	26,634	20,641	16,160	9,588	2,217	1,278	117,330
	8月	212,391	48,622	21,890	23,086	17,411	16,922	5,827	1,619	1,212	97,692
	9月	230,464	52,293	23,392	23,740	20,253	10,503	7,924	1,603	1,293	112,855

（単位：％）

		前年同月比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成26年 (2014)	9月	6.9	39.5	69.1	18.8	47.0	▲ 34.0	▲ 5.4	1.1	0.1	▲ 0.2
	10月	7.0	25.4	64.6	11.4	17.2	6.5	▲ 17.0	▲ 12.7	▲ 18.6	0.7
	11月	▲ 16.6	18.1	37.1	6.4	16.2	11.2	5.8	▲ 0.7	▲ 4.9	▲ 37.3
	12月	6.3	21.7	54.1	▲ 6.9	19.6	7.0	▲ 47.5	▲ 1.4	0.8	6.5
平成27年 (2015)	1月	0.1	10.9	39.7	5.1	28.7	▲ 10.4	▲ 7.6	▲ 7.1	▲ 26.4	▲ 4.8
	2月	21.1	30.6	35.5	33.0	61.7	9.2	5.0	66.8	25.9	13.6
	3月	▲ 4.5	0.7	▲ 0.4	13.4	2.4	▲ 17.7	54.0	▲ 38.3	▲ 22.3	▲ 9.0
	4月	▲ 0.9	30.4	28.6	7.5	▲ 5.6	▲ 56.3	▲ 59.6	4.3	7.5	3.2
	5月	▲ 6.0	13.7	4.7	▲ 3.9	17.3	▲ 67.1	30.8	▲ 12.7	▲ 8.5	▲ 1.6
	6月	6.8	27.3	9.5	3.4	5.2	▲ 29.8	67.0	11.4	▲ 27.6	4.4
	7月	2.6	28.7	23.0	▲ 0.7	7.4	▲ 49.3	28.1	5.4	▲ 17.2	5.1
	8月	▲ 2.0	17.6	1.5	▲ 3.5	15.9	▲ 42.5	8.1	▲ 7.0	4.8	▲ 1.1
	8月	▲ 3.8	▲ 5.5	▲ 14.2	▲ 7.5	5.3	▲ 43.5	▲ 19.9	7.1	▲ 15.4	4.6

（単位：百万円）

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成24年(2012)		2,381,805	438,151	161,769	283,556	151,995	271,184	107,980	15,881	12,584	1,100,473
平成25年(2013)		2,704,366	484,675	199,587	308,035	171,063	333,659	101,800	18,651	17,904	1,268,579
平成26年(2014)		2,831,600	556,761	259,660	311,719	206,577	349,437	84,031	19,404	16,872	1,286,799

（単位：％）

		前年比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成24年(2012)		6.9	16.3	26.7	2.5	12.2	42.7	▲ 13.5	5.7	▲ 11.7	0.5
平成25年(2013)		13.5	10.6	23.4	8.6	12.5	23.0	▲ 5.7	17.4	42.3	15.3
平成26年(2014)		4.7	14.9	30.1	1.2	20.8	4.7	▲ 17.5	4.0	▲ 5.8	1.4

資料出所：関税税関、長崎税関「貿易統計」

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

# 貿易

## 6 主要地域別輸入状況（2015年9月）

### (1) 前年同月比

アジア：6か月ぶりのマイナス

北米：3か月ぶりのプラス

西欧：4か月ぶりのマイナス

		アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
		実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	180,871	16.2	88,762	27.0	19,907	0.4	16,719	42.9	17,236	25.1	12,969	▲ 21.7
	10月	170,970	10.8	79,202	10.8	20,629	▲ 2.3	19,000	42.3	14,618	▲ 3.9	13,411	15.3
	11月	171,054	13.1	79,243	11.5	18,327	▲ 12.3	16,985	37.9	15,997	▲ 70.6	10,769	▲ 32.9
	12月	187,857	11.5	84,302	7.8	20,093	▲ 11.6	19,116	58.5	13,175	8.4	17,729	92.0
平成27年 (2015)	1月	192,170	3.1	88,283	▲ 5.1	18,630	▲ 27.7	20,856	61.6	20,014	36.6	14,430	▲ 35.6
	2月	172,011	23.9	86,243	52.0	16,351	▲ 23.4	17,508	51.2	13,200	3.1	12,464	31.0
	3月	170,550	▲ 2.4	69,450	▲ 19.9	20,030	▲ 19.3	20,698	51.0	16,484	25.4	12,329	6.4
	4月	169,418	4.6	77,714	2.3	21,601	14.5	24,909	96.8	18,724	▲ 3.1	13,838	▲ 11.5
	5月	165,739	5.5	71,574	▲ 6.4	17,791	▲ 14.4	25,507	63.7	17,954	▲ 4.5	12,625	▲ 0.4
	6月	185,379	10.6	78,046	0.5	18,724	▲ 17.5	28,794	73.4	19,410	7.9	13,342	7.7
	7月	194,882	11.7	84,691	5.2	20,125	▲ 21.2	27,589	65.8	17,192	▲ 6.0	12,857	2.3
	8月	162,326	6.5	70,917	5.0	14,844	▲ 16.7	22,838	42.5	13,939	▲ 13.4	12,469	4.4
	9月	179,970	▲ 0.5	84,622	▲ 4.7	17,136	▲ 13.9	22,563	35.0	17,357	0.7	12,302	▲ 5.1

	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
平成24年(2012)	1,644,543	5.5	687,705	4.8	251,882	19.2	163,267	14.8	162,696	▲ 6.7	130,613	22.6
平成25年(2013)	1,813,603	10.3	815,980	18.7	256,235	1.7	148,508	▲ 9.0	214,443	31.8	153,410	17.5
平成26年(2014)	2,024,413	11.6	946,176	16.0	256,571	0.1	187,519	26.3	192,107	▲ 10.4	163,587	6.6

平成27年 (2015) 8月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	162,326	6.5	70,917	5.0	14,844	▲ 16.7	22,838	42.5	13,939	▲ 13.4	12,469	4.4
電気機器	45,447	16.8	17,454	▲ 8.3	2,438	▲ 25.8	14,761	75.7	1,391	103.6	1,617	26.2
半導体等 電子部品	21,294	1.9	5,507	▲ 44.8	1,079	▲ 48.9	13,279	80.3	536	137.5	27	▲ 64.0
食料品及び動物 一般機械	11,241	10.2	4,428	1.8	883	▲ 3.3	193	4.0	4,326	▲ 31.1	2,249	17.0
液化天然ガス	10,103	▲ 21.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
石炭	1,988	▲ 12.5	494	全増	0	-	1	全増	0	全減	0	-
履き物	1,560	▲ 7.7	1,321	6.4	15	1.4	2	▲ 35.7	2	▲ 60.0	33	▲ 11.9
木材	392	▲ 17.6	246	▲ 13.2	0	全減	6	▲ 71.8	518	12.7	122	▲ 12.2
その他	78,181	4.3	38,396	10.1	9,714	▲ 19.8	7,390	4.6	5,993	▲ 14.1	6,333	16.4

平成27年 (2015) 9月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	179,970	▲ 0.5	84,622	▲ 4.7	17,136	▲ 13.9	22,563	35.0	17,357	0.7	12,302	▲ 5.1
電気機器	49,176	▲ 5.8	19,914	▲ 31.7	3,387	▲ 15.4	14,461	49.8	1,296	64.3	1,682	2.8
半導体等 電子部品	22,586	▲ 13.5	5,953	▲ 56.4	1,064	▲ 53.0	13,832	66.7	771	122.6	34	▲ 80.3
食料品及び動物 一般機械	11,273	3.0	5,000	11.0	890	▲ 25.0	147	10.0	6,147	▲ 13.4	1,660	▲ 16.5
液化天然ガス	7,495	▲ 41.6	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
石炭	2,559	▲ 6.6	522	▲ 38.1	0	-	1	全増	921	▲ 4.2	0	-
履き物	1,585	8.5	1,370	7.4	13	▲ 20.1	1	▲ 75.2	2	6.1	9	▲ 55.6
木材	488	12.4	266	27.5	10	53.9	9	▲ 83.8	594	▲ 21.7	145	▲ 1.6
その他	91,860	6.5	47,101	11.2	10,858	▲ 19.0	7,485	15.0	5,785	▲ 7.6	6,935	28.0

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

## 設備投資

### 1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

#### （1）北部九州地方の平成27年度設備投資通期見込み

製造業、非製造業ともに前年度を上回ることから、全産業では前年度を11.9%上回る見込みとなっている。

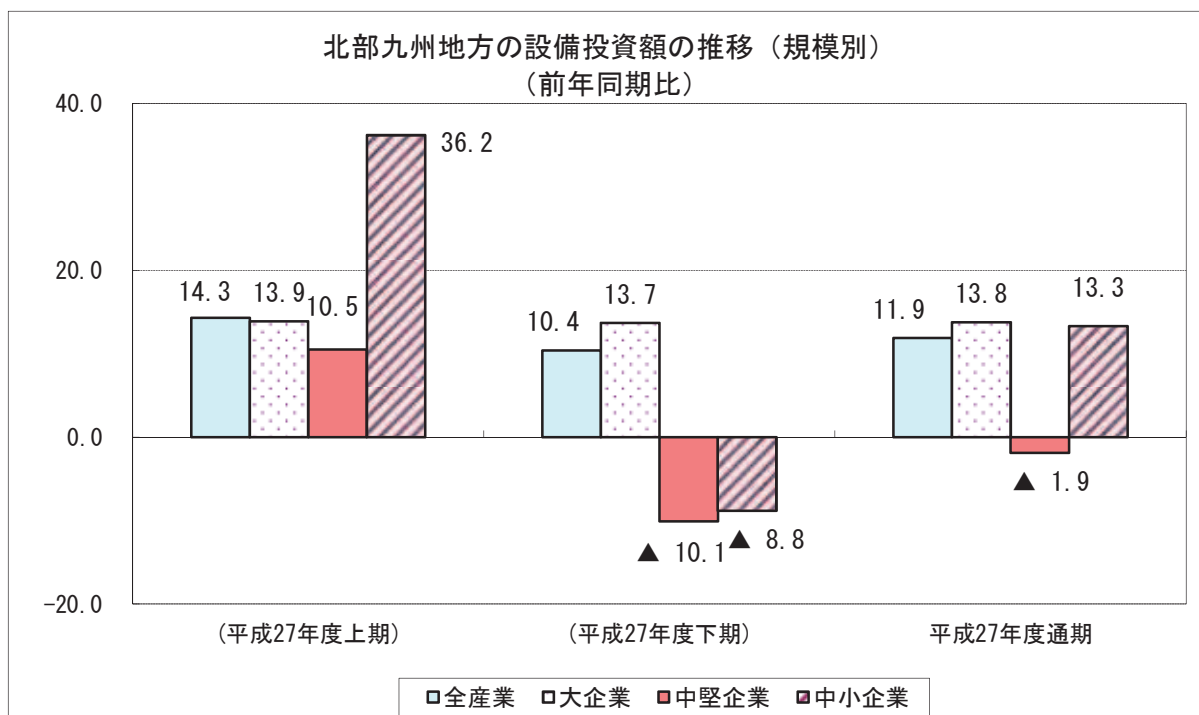
規模別にみると、中堅企業は前年度を下回るものの、大企業、中小企業は前年度を上回る見込みとなっている。

（本社ベース）

（対前年同期比、%：金額データ）

法人企業景気予測調査	全産業	業種別		規模別		
		製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
（平成27年度上期）	14.3	24.2	9.2	13.9	10.5	36.2
（平成27年度下期）	10.4	▲ 4.9	18.7	13.7	▲ 10.1	▲ 8.8
平成27年度通期	11.9	5.8	15.1	13.8	▲ 1.9	13.3

※ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く。



#### 注) 調査の概要

- 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 調査時点 平成27年8月15日
- 対象期間 平成27年度上期は実績見込み、下期及び通期は見通し（又は計画）
- 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金、出資金又は基金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の法人。  
対象企業：717社（うち、大企業（資本金10億円以上）が141社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）が180社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が396社）。  
製造業 161社 非製造業 556社
- 回答企業数 大企業140社（回収率99.3%）、中堅企業164社（同91.1%）、中小企業333社（同84.1%）

## 設備投資

### 2 建築着工（居住専用住宅等除く）（2015年9月）

(1) 着工床面積

前年同月比：4か月ぶりのプラス

(2) 着工工事費予定額

前年同月比：2か月連続のマイナス

		着工床面積	前年同月比	着工予定額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	131,691	▲ 56.8	28,481	▲ 44.5
	10月	177,606	▲ 17.8	29,136	▲ 6.3
	11月	200,404	▲ 26.8	38,649	▲ 23.5
	12月	156,761	▲ 6.7	25,216	▲ 39.9
平成27年 (2015)	1月	193,891	36.5	35,239	66.6
	2月	171,239	62.7	33,681	123.7
	3月	151,166	24.6	35,358	29.9
	4月	193,983	▲ 32.2	40,211	▲ 25.8
	5月	178,493	104.8	28,983	132.2
	6月	131,572	▲ 22.0	20,396	▲ 36.0
	7月	145,043	▲ 4.3	28,194	13.8
	8月	137,870	▲ 33.5	22,242	▲ 34.3
	9月	137,341	4.3	21,916	▲ 23.1

資料：国土交通省「建築着工統計調査」

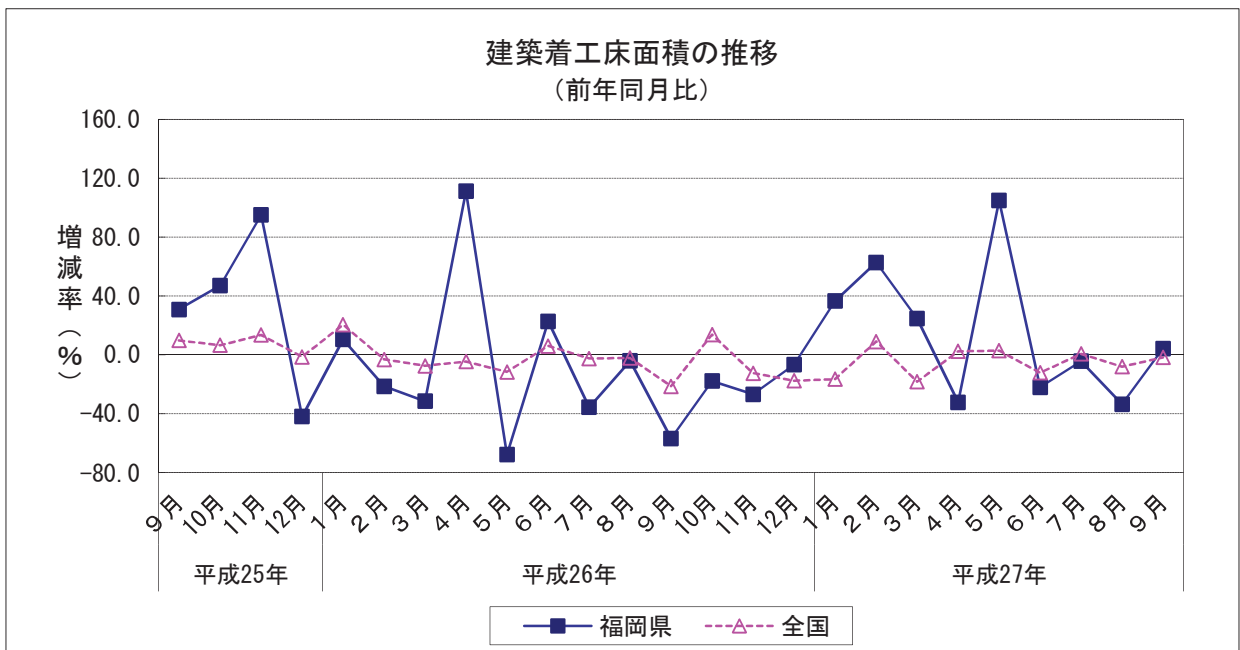
着工床面積単位：㎡

着工予定額単位：百万円

※全建築物計から、居住専用住宅、居住専用準住宅、居住産業併用建築物及び農林水産業用建築物を除いたものである。

		着工床面積	前年同期比	着工予定額	前年同期比
平成25年	10～12月	657,724	14.1	123,572	47.5
	1～3月	368,572	▲ 16.1	63,431	▲ 9.1
平成26年 (2014)	4～6月	541,785	▲ 0.2	98,568	36.0
	7～9月	490,655	▲ 35.1	87,104	▲ 25.6
	10～12月	534,771	▲ 18.7	93,001	▲ 24.7
平成27年 (2015)	1～3月	516,296	40.1	104,278	64.4
	4～6月	504,048	▲ 7.0	89,590	▲ 9.1
	7～9月	420,254	▲ 14.3	72,351	▲ 16.9

	着工床面積	前年比	着工予定額	前年比
平成24年(2012)	2,017,010	7.1	279,122	10.1
平成25年(2013)	2,396,281	18.8	382,952	37.2
平成26年(2014)	1,935,783	▲ 19.2	342,104	▲ 10.7



## 設備投資

### 3 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）（平成27年9月）

#### （1）九州・沖縄の平成27年度設備投資計画

非製造業が前年度を下回るものの、製造業が上回ることから、全産業では前年度を19.6%上回る計画となっている。

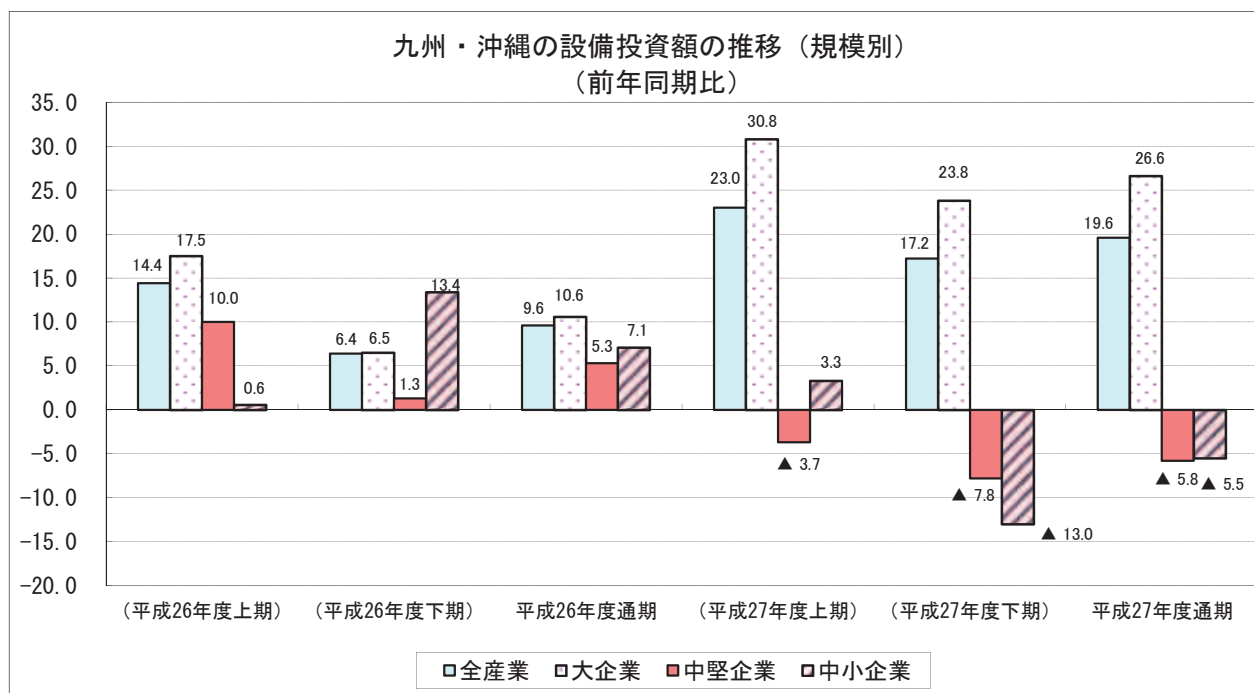
規模別にみると、中堅企業、中小企業は前年度を下回る計画となっているものの、大企業は前年度を上回る計画となっている。

（対前年同期比、%：金額データ）

企業短期経済観測調査	全産業	業種別		規模別		
		製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
（平成26年度上期）	14.4	9.1	17.4	17.5	10.0	0.6
（平成26年度下期）	6.4	15.9	2.7	6.5	1.3	13.4
平成26年度通期	9.6	12.8	8.1	10.6	5.3	7.1
（平成27年度上期）	23.0	81.8	▲ 8.0	30.8	▲ 3.7	3.3
（平成27年度下期）	17.2	62.6	▲ 3.0	23.8	▲ 7.8	▲ 13.0
平成27年度通期	19.6	71.1	▲ 5.0	26.6	▲ 5.8	▲ 5.5

- 注） 1) 回答期間 8月26日～9月30日  
2) 対象企業：九州・沖縄の企業 1,143社

	対象	回答	回答率
製造業	390	386	99.0%
非製造業	753	749	99.5%
全産業	1143	1135	99.3%



## 設備投資

### 4 『九州地域設備投資計画調査』（日本政策投資銀行調査結果）

#### (1) 福岡県の平成27年度設備投資計画

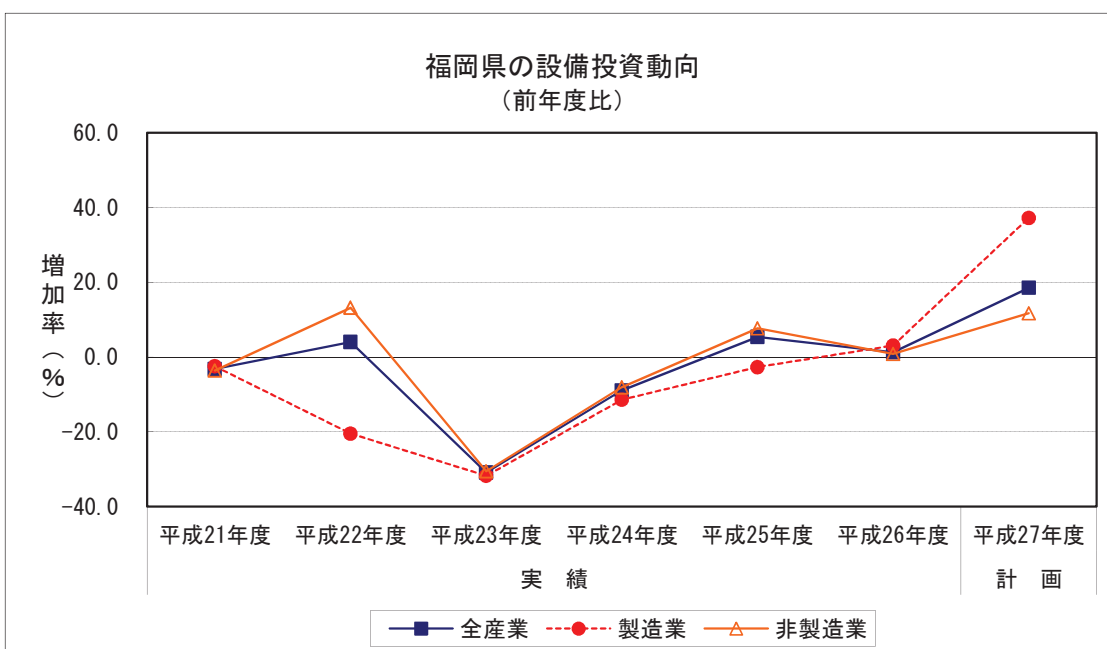
前年度比 18.5%増（製造業37.2%増、非製造業11.7%増）

製造業、非製造業ともに増加となり、全体で3年連続の増加。

### 福岡県の設備投資動向

(単位：%)

	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 計画
全産業	▲ 3.2	4.0	▲ 30.9	▲ 8.9	5.4	1.3	18.5
製造業	▲ 2.5	▲ 20.5	▲ 31.8	▲ 11.4	▲ 2.7	3.1	37.2
非製造業	▲ 3.6	13.2	▲ 30.6	▲ 8.1	7.7	0.8	11.7



### (参考) 九州の設備投資動向

(単位：%)

	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 計画
全産業	▲ 24.7	4.8	▲ 20.0	▲ 15.6	19.6	3.4	6.3
製造業	▲ 42.6	▲ 9.8	▲ 20.5	▲ 20.3	▲ 4.9	20.8	7.5
非製造業	▲ 5.3	14.7	▲ 19.7	▲ 13.0	31.8	▲ 2.9	5.3

#### 注) 調査の概要

- 調査時点 平成27年6月25日現在
- 対象企業 全産業（但し、農業、金融保険業等を除く）に属する原則資本金1億円以上の企業  
回答会社数 499社（九州は926社）
- 調査方法 個別企業に対するアンケート方式

# 企業景況

## 1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

(1) 福岡県の企業景況判断（平成27年7～9月期）

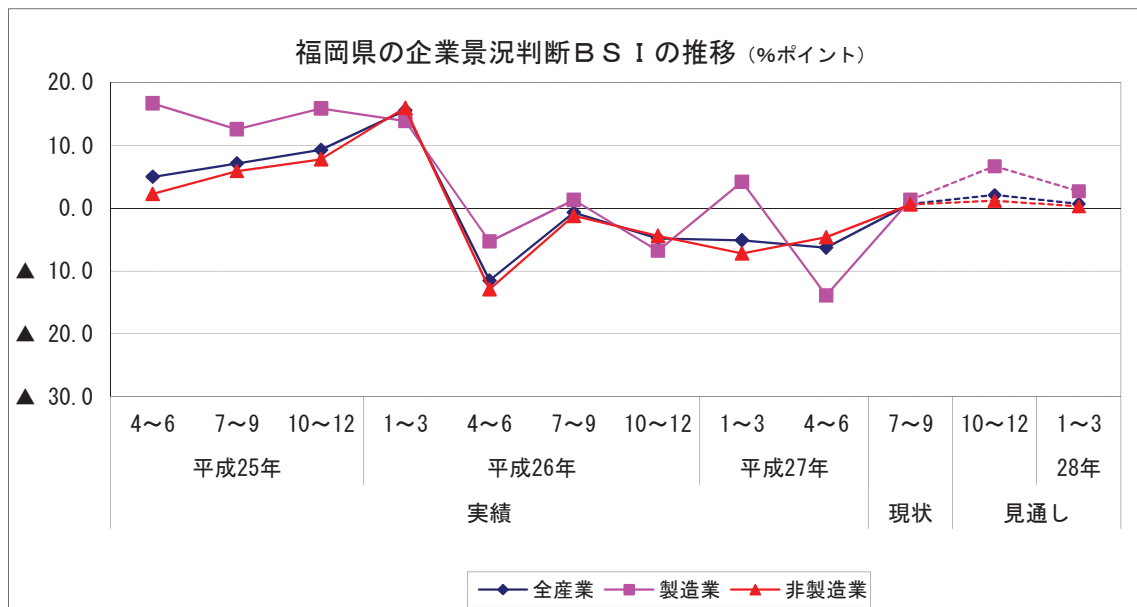
全産業 : 「上昇」超に転じている  
 製造業 : 「上昇」超に転じている  
 非製造業 : 「上昇」超に転じている

(原数値)

(%ポイント)

法人企業景気予測調査			景況判断BSI（福岡県）			景況判断BSI（北部九州3県）			
			全産業	業種別		全産業	規模別		
				製造業	非製造業		大企業	中堅企業	中小企業
平成25年 (2013)	4～6月期	実績	5.0	16.7	2.3	2.7	1.4	7.7	0.7
	7～9月期		7.1	12.6	5.9	4.0	7.9	16.6	▲4.3
	10～12月期		9.3	15.9	7.8	9.2	12.1	4.5	10.3
平成26年 (2014)	1～3月期	実績	15.6	13.9	16.0	14.6	15.6	16.7	13.2
	4～6月期		▲11.5	▲5.3	▲12.9	▲15.8	▲9.8	▲13.7	▲19.6
	7～9月期		▲0.7	1.3	▲1.2	0.5	4.9	3.1	▲2.9
平成27年 (2015)	10～12月期	実績	▲4.8	▲6.8	▲4.4	▲1.5	0.7	▲4.5	▲1.0
	1～3月期		▲5.1	4.2	▲7.2	▲6.4	▲1.4	▲9.7	▲7.0
	4～6月期		▲6.3	▲13.9	▲4.6	▲7.8	0.7	▲10.6	▲9.9
平成28年	7～9月期	現状	0.7	1.3	0.6	2.2	8.6	3.0	▲0.9
	10～12月期		2.1	6.7	1.2	3.0	5.0	3.0	2.1
	1～3月期		0.7	2.7	0.3	1.1	4.3	▲1.2	0.9
			見通し						

※BSI = 「上昇」 - 「下降」社数の構成比



注) 調査の概要

- 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 調査時点 平成27年8月15日
- 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の企業。  
 対象企業：717社（うち、大企業（資本金10億円以上）が141社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）が180社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が396社）。  
 製造業 161社 非製造業 556社
- 回収企業数 大企業140社（回収率99.3%）、中堅企業164社（同91.1%）、中小企業333社（同84.1%）  
 回収企業 637社 《うち福岡県分 419社（製造業 75社 非製造業 344社）》

## 企業景況

### 2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果）

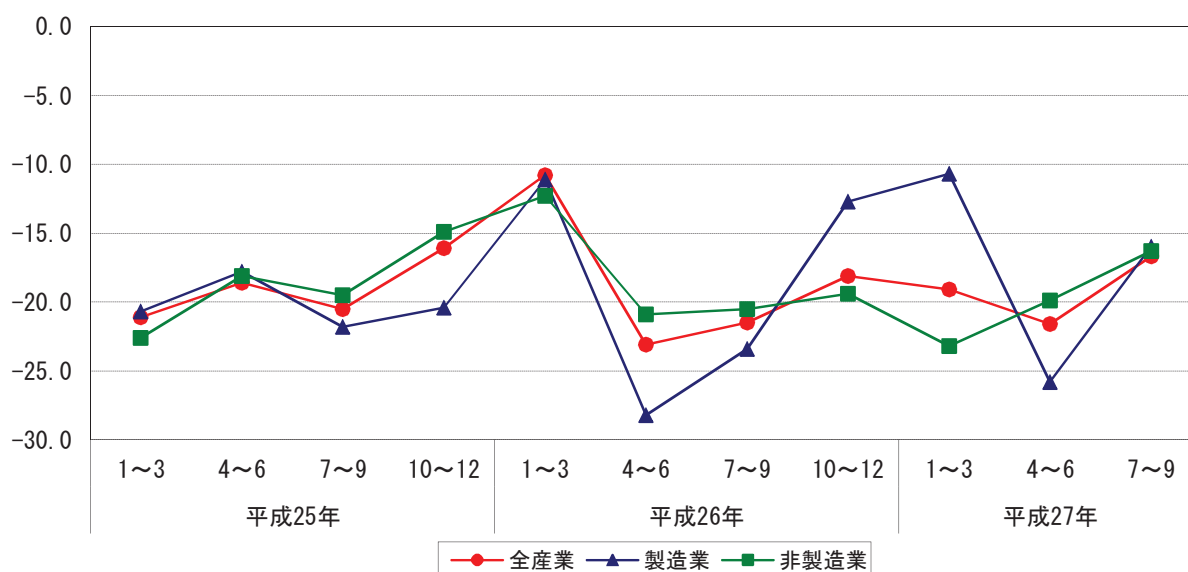
#### (1) 中小企業の業況判断D I（平成27年7～9月期）

ア 全産業	▲16.7	、前期から4.9ポイント	マイナス幅が縮小
イ 製造業	▲16.0	、前期から9.8ポイント	マイナス幅が縮小
非製造業	▲16.3	、前期から3.6ポイント	マイナス幅が縮小

前期比(季節調整値)

		全産業	製造業	非製造業
平成25年 (2013)	1～3月期	▲21.1	▲20.7	▲22.6
	4～6月期	▲18.6	▲17.8	▲18.1
	7～9月期	▲20.5	▲21.8	▲19.5
	10～12月期	▲16.1	▲20.4	▲14.9
平成26年 (2014)	1～3月期	▲10.8	▲11.1	▲12.3
	4～6月期	▲23.1	▲28.2	▲20.9
	7～9月期	▲21.5	▲23.4	▲20.5
	10～12月期	▲18.1	▲12.7	▲19.4
平成27年 (2015)	1～3月期	▲19.1	▲10.7	▲23.2
	4～6月期	▲21.6	▲25.8	▲19.9
	7～9月期	▲16.7	▲16.0	▲16.3

管内中小企業の業況判断D Iの推移



資料：第141回中小企業景況調査（2015年7-9月期）結果から、福岡県分を使用

- 1) 調査時点 平成27年9月1日
- 2) 対象期間 平成27年7-9月期の業況判断
- 3) 調査対象 中小企業基本法に定義する、全国の中小企業

## 企業景況

### 3 『福岡県中小企業動向調査(小企業編)』 (日本政策金融公庫福岡支店調査結果)

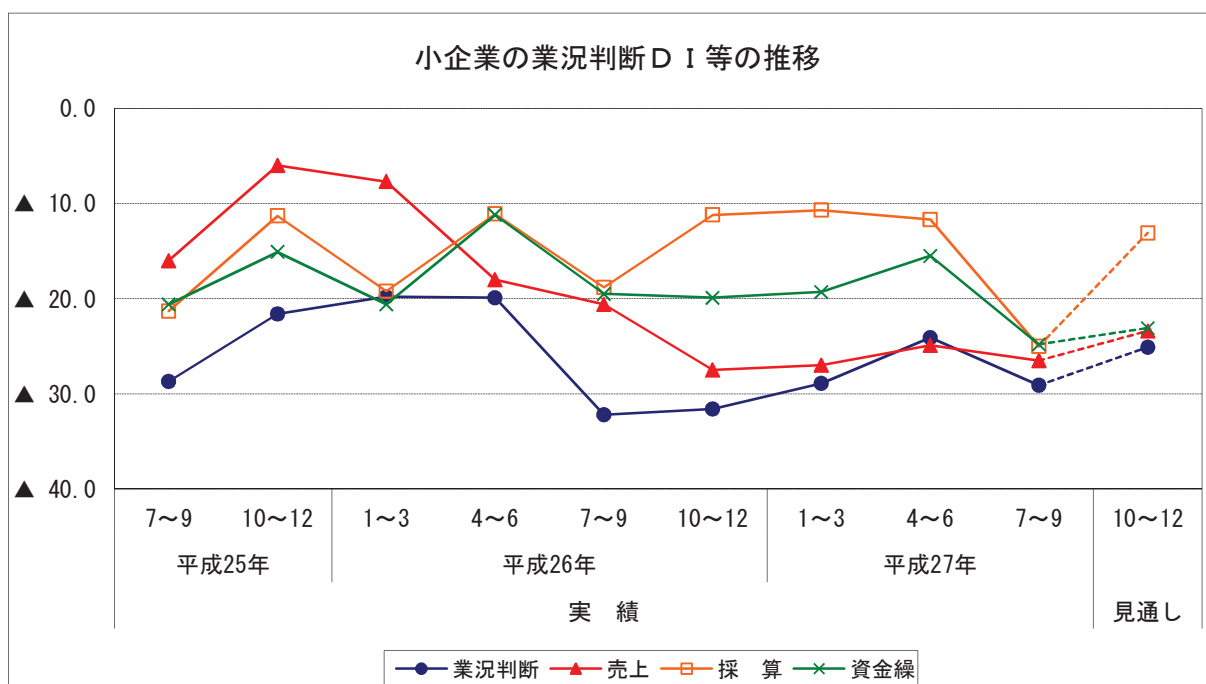
#### (1) 27年7～9月期の概況

前期に比べ、業況判断DIは5.0ポイント低下し、売上DIは1.6ポイント低下した。

#### (2) 27年10～12月期の見通し

今期に比べ、業況判断DIは4.0ポイント上昇し、売上DIは3.1ポイント上昇する見通しとなっている。

		業況判断	売上	採算	資金繰
平成25年 (2013)	7～9月期	▲ 28.7	▲ 16.0	▲ 21.3	▲ 20.6
	10～12月期	▲ 21.6	▲ 6.0	▲ 11.3	▲ 15.1
平成26年 (2014)	1～3月期	▲ 19.8	▲ 7.7	▲ 19.2	▲ 20.6
	4～6月期	▲ 19.9	▲ 18.0	▲ 11.1	▲ 11.2
	7～9月期	▲ 32.2	▲ 20.6	▲ 18.8	▲ 19.5
平成27年 (2015)	10～12月期	▲ 31.6	▲ 27.5	▲ 11.2	▲ 19.9
	1～3月期	▲ 28.9	▲ 27.0	▲ 10.7	▲ 19.3
	4～6月期	▲ 24.1	▲ 24.9	▲ 11.7	▲ 15.5
	7～9月期	▲ 29.1	▲ 26.5	▲ 25.0	▲ 24.8
	10～12月期	▲ 25.1	▲ 23.4	▲ 13.1	▲ 23.1



#### 注) 調査の概要

- 調査時点 平成27年9月上旬・中旬
- 調査対象 日本政策金融公庫福岡県内5支店取引先379企業
- 有効回答数 245企業(有効回答率64.6%)  
 製造業(従業員20人未満)21企業、卸売業(同10人未満)25企業、小売業(同10人未満)66企業、  
 飲食店・宿泊業(同10人未満)34企業、サービス業(同20人未満)53企業、建設業(同20人未満)41企業、  
 その他(同20人未満)5企業

## 企業景況

### 4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果）

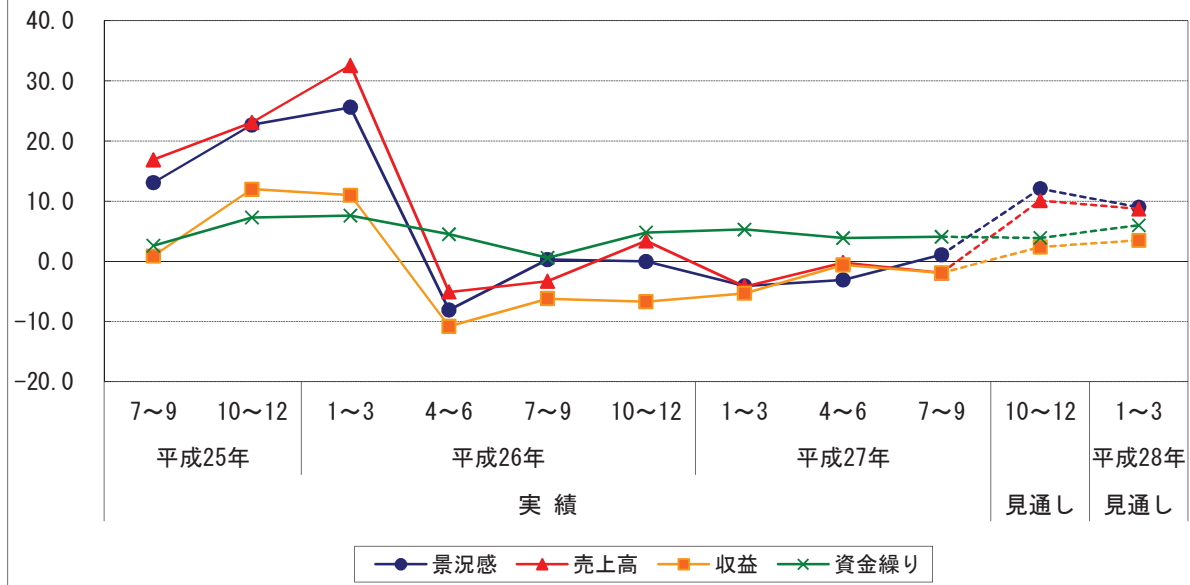
(1) 平成27年7～9月期の概況（前回調査比）

- ア 景況感： 4.2ポイント改善、「好転」超に転じた。
- イ 売上高： 1.7ポイント悪化、「減少」超幅が拡大した。
- ウ 収益： 1.3ポイント悪化、「減少」超幅が拡大した。
- エ 資金繰り： 0.2ポイント改善、「好転」超幅が拡大した。

(単位：%)

		景況感	売上高	収益	資金繰り
平成25年 (2013)	7～9月期	13.1	16.9	0.9	2.6
	10～12月期	22.7	23.1	12.0	7.3
平成26年 (2014)	1～3月期	25.6	32.6	11.0	7.6
	4～6月期	▲ 8.1	▲ 5.1	▲ 10.8	4.5
	7～9月期	0.3	▲ 3.3	▲ 6.2	0.6
平成27年 (2015)	10～12月期	0.0	3.4	▲ 6.7	4.8
	1～3月期	▲ 4.1	▲ 4.2	▲ 5.3	5.3
	4～6月期	▲ 3.1	▲ 0.2	▲ 0.6	3.9
	7～9月期	1.1	▲ 1.9	▲ 1.9	4.1
平成28年	10～12月期	12.1	10.1	2.4	3.9
	1～3月期	9.0	8.7	3.5	6.0

九州の企業景況感BSI等の推移



注) 調査の概要

- 1) 調査対象：株式会社西日本シティ銀行の主要取引先716社（今回の回答社数369社，回答率51.5%）  
地域別回答企業：福岡県307社（構成比83.2%）、福岡県外九州各県62社（同16.8%）
- 2) 調査方法：アンケート方式
- 3) 調査時期：平成27年9月1日

※景況動向はBSI方式で表示：BSIとは、「好転・増加・上昇」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・下落」の企業割合を差し引いた指標。

## 企業景況

### 5 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）

#### (1) 九州・沖縄の業況判断（平成27年9月）

- ・全産業 3 四半期連続で改善
- ・製造業 2 四半期連続で改善
- ・非製造業 2 四半期連続で悪化
- ・規模別では、大企業は悪化、中堅企業は改善、中小企業は変わらず

（「良い」-「悪い」、回答社数構成比%ポイント）

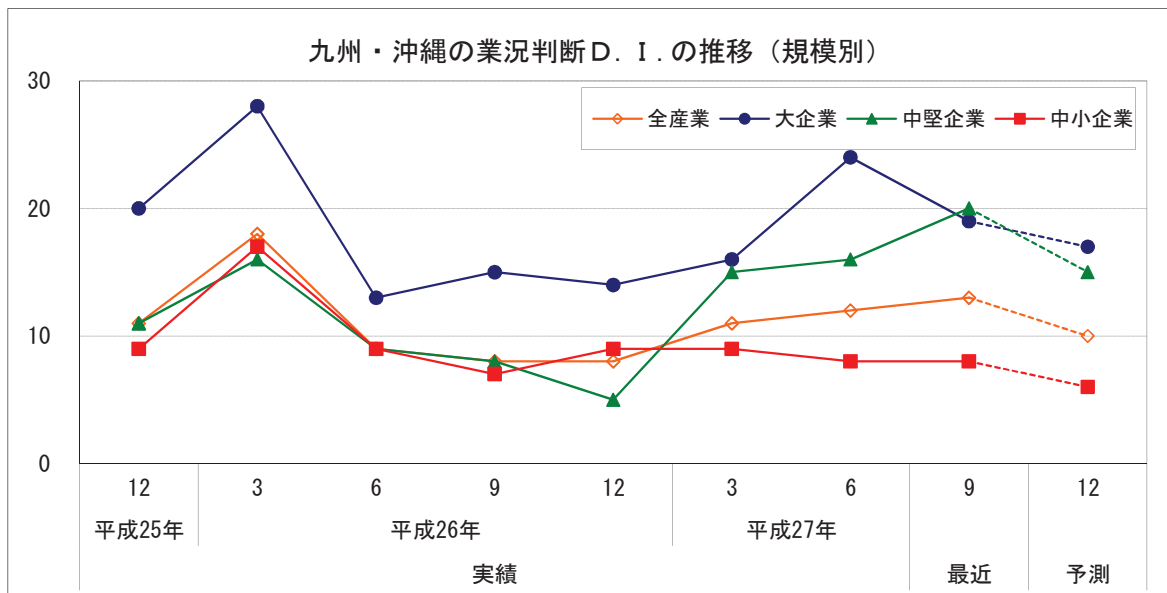
企業短期経済観測調査			業況判断D. I.					
			全産業	業種別		規模別		
				製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
平成25年	12月	実績	11	7	12	20	11	9
平成26年 (2014)	3月		18	11	22	28	16	17
	6月		9	11	9	13	9	9
	9月		8	10	8	15	8	7
	12月		8	9	8	14	5	9
平成27年 (2015)	3月	最近	11	6	15	16	15	9
	6月		12	8	14	24	16	8
	9月		13	9	13	19	20	8
	12月	予測	10	6	12	17	15	6

注) 1)回答期間：8月26日～9月30日

2)対象企業：九州・沖縄の企業 1,143社

3)平成27年3月調査において調査対象企業の見直しが行われた。長期時系列グラフ・データは、26年12月調査までの旧ベースデータと27年3月調査の新ベースデータを接続。

	対象	回答	回答率
製造業	390	386	99.0%
非製造業	753	749	99.5%
全産業	1,143	1,135	99.3%



## 企業収益

### 1 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行 福岡支店調査結果）（平成27年9月）

#### （1）経常利益（九州・沖縄）

26年度経常利益（実績）は、前年度比6.2%増

27年度経常利益（計画）は、前年度比24.0%増

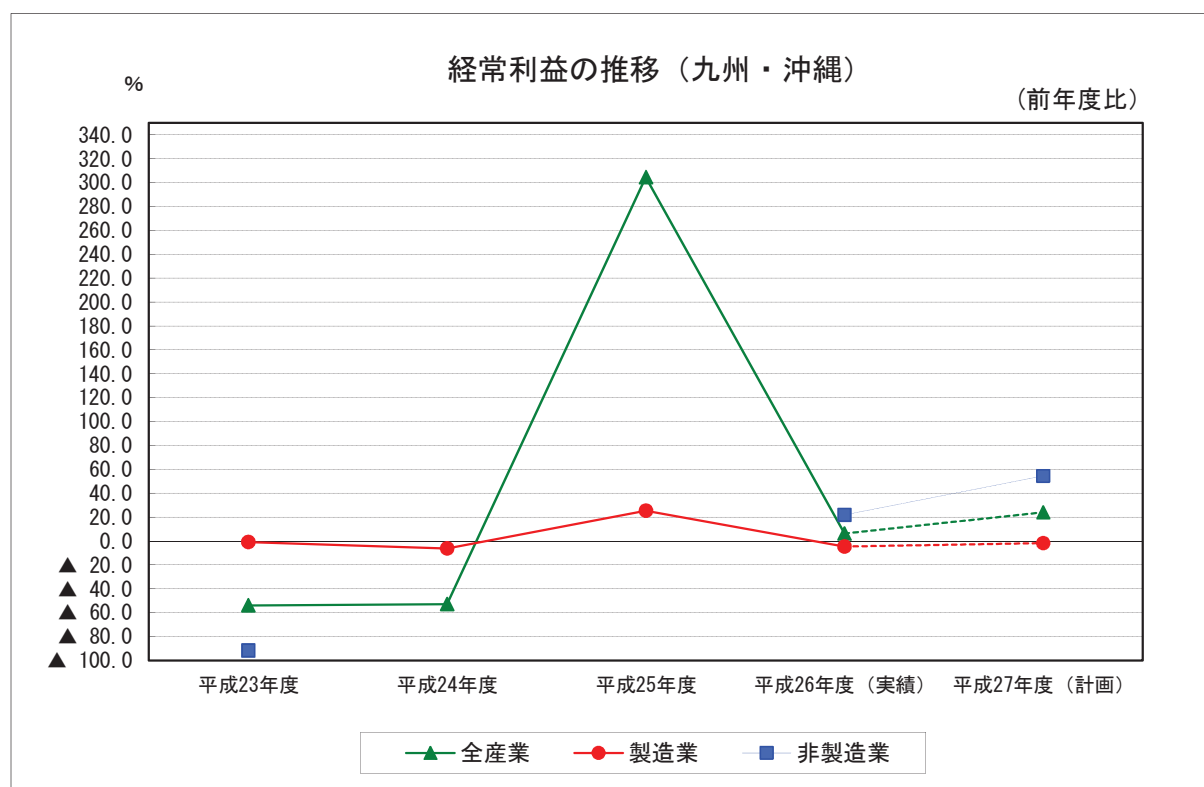
経常利益（九州・沖縄）	前年度比 %		
	全産業	製造業	非製造業
平成23年度(2011)	▲ 53.9	▲ 0.9	▲ 91.6
平成24年度(2012)	▲ 52.8	▲ 6.2	欠損
（除 電力・ガス）	▲ 1.9	-	1.9
平成25年度(2013)	304.5	25.3	利益
（除 電力・ガス）	21.1	-	17.8
平成26年度(2014)	6.2	▲ 4.6	21.7
（除 電力・ガス）	▲ 4.0	-	▲ 3.5
平成27年度(2015)	24.0	▲ 1.8	54.4
（除 電力・ガス）	1.9	-	5.0

注) 1)回答期間：8月26日～9月30日

2)対象企業：九州・沖縄の企業 1,143社

3)平成27年3月調査において調査対象企業の見直しが行われた。計表中の計数のうち、25年度以前は該企業見直し前の旧ベースデータ、26年度以降は見直し後の新ベースデータ。

	対象	回答	回答率
製造業	390	386	99.0%
非製造業	753	749	99.5%
全産業	1,143	1,135	99.3%



## 企業倒産

### 1 倒産件数（2015年10月）

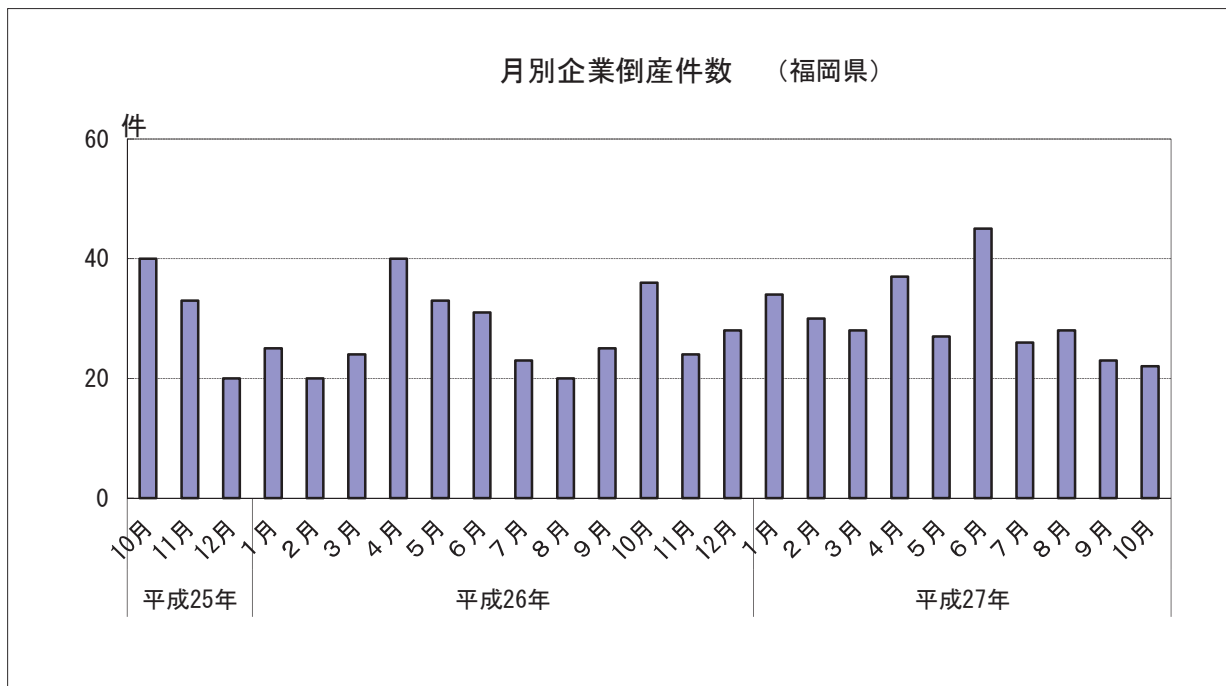
（1）前年同月比：2か月連続のマイナス

		倒産件数	前年同月比	前年同月差
平成26年 (2014)	10月	36	▲ 10.0	▲ 4
	11月	24	▲ 27.3	▲ 9
	12月	28	40.0	8
平成27年 (2015)	1月	34	36.0	9
	2月	30	50.0	10
	3月	28	16.7	4
	4月	37	▲ 7.5	▲ 3
	5月	27	▲ 18.2	▲ 6
	6月	45	45.2	14
	7月	26	13.0	3
	8月	28	40.0	8
	9月	23	▲ 8.0	▲ 2
	10月	22	▲ 38.9	▲ 14

		倒産件数	前年同期比	前年同期差
平成25年	10~12月	93	1.1	1
	1~3月	69	▲ 15.9	▲ 13
平成26年 (2014)	4~6月	104	7.2	7
	7~9月	68	▲ 13.9	▲ 11
	10~12月	88	▲ 5.4	▲ 5
平成27年 (2015)	1~3月	92	33.3	23
	4~6月	109	4.8	5
	7~9月	77	13.2	9

	企業倒産	前年比	前年差
平成24年(2012)	381	▲ 2.3	▲ 9
平成25年(2013)	351	▲ 7.9	▲ 30
平成26年(2014)	329	▲ 6.3	▲ 22

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況（負債1,000万円以上）」



## 企業倒産

### 2 倒産負債額（2015年10月）

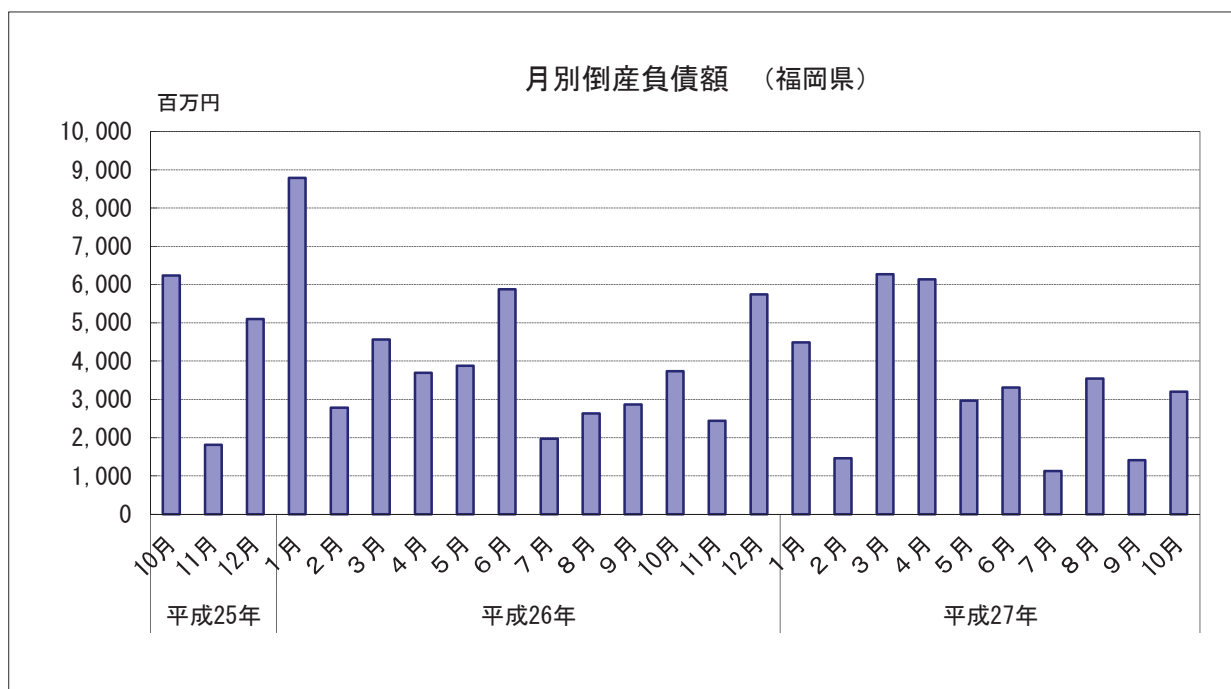
(1) 前年同月比：2カ月連続のマイナス

		倒産負債額	前年同月比
平成26年 (2014)	10月	3,735	▲ 40.1
	11月	2,440	34.5
	12月	5,747	12.8
平成27年 (2015)	1月	4,486	▲ 48.9
	2月	1,461	▲ 47.5
	3月	6,274	37.4
	4月	6,140	66.3
	5月	2,968	▲ 23.4
	6月	3,312	▲ 43.7
	7月	1,127	▲ 42.8
	8月	3,542	34.8
	9月	1,412	▲ 50.8
	10月	3,199	▲ 14.4

		倒産負債額	前年同期比
平成25年	10~12月	13,148	▲ 31.4
	1~3月	16,131	96.6
平成26年 (2014)	4~6月	13,447	3.0
	7~9月	7,468	10.4
	10~12月	11,922	▲ 9.3
平成27年 (2015)	1~3月	12,221	▲ 24.2
	4~6月	12,420	▲ 7.6
	7~9月	6,081	▲ 18.6

	倒産負債額	前年比
平成24年(2012)	82,950	▲ 14.6
平成25年(2013)	41,166	▲ 50.4
平成26年(2014)	48,968	19.0

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況（負債1,000万円以上）」  
倒産負債額単位：百万円



# 消費

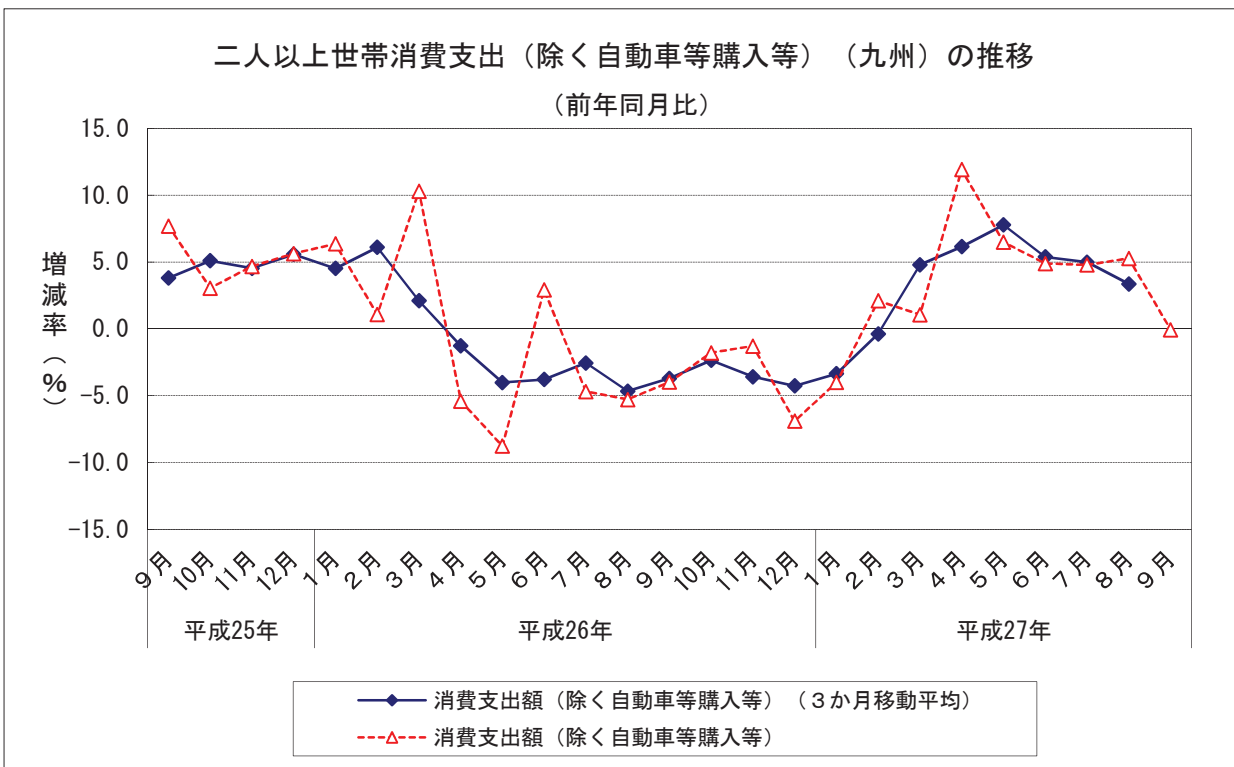
1 二人以上世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）（2015年8月）  
 (1) 前年同月比：6か月連続のプラス（3か月移動平均）

		消費支出額 a	住居の設備修繕・維持 +自動車等購入費 +仕送り金 b	消費支出額 (除く自動車等購入等) a - b		消費支出額 (除く自動車等購入等) (3か月移動平均)	
					前年同月比		前年同月比
平成26年 (2014)	9月	248,688	19,507	229,181	▲ 4.0	233,851	▲ 3.7
	10月	263,686	26,900	236,786	▲ 1.8	234,840	▲ 2.4
	11月	249,610	11,058	238,552	▲ 1.3	250,999	▲ 3.6
	12月	288,561	10,902	277,659	▲ 6.9	255,251	▲ 4.3
平成27年 (2015)	1月	265,699	16,158	249,541	▲ 4.0	251,958	▲ 3.4
	2月	247,157	18,484	228,673	2.1	251,728	▲ 0.4
	3月	302,770	25,799	276,971	1.1	253,711	4.8
	4月	289,634	34,144	255,490	11.9	258,668	6.1
	5月	263,571	20,028	243,543	6.5	245,395	7.8
	6月	253,424	16,272	237,152	4.9	242,187	5.4
	7月	279,755	33,890	245,865	4.8	243,675	5.0
	8月	280,510	32,503	248,007	5.3	240,962	3.4
	9月	250,354	21,341	229,013	▲ 0.1	...	...

資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※消費支出額（除く自動車等購入等）とは、消費支出総額から振れが大きい「自動車等購入」や「住居の設備修繕・維持」、「仕送り金」を除外した額である。



# 消費

## 2 二人以上世帯サービス支出額（九州）（2015年8月）

（1）前年同月比：7か月連続のプラス（3か月移動平均）

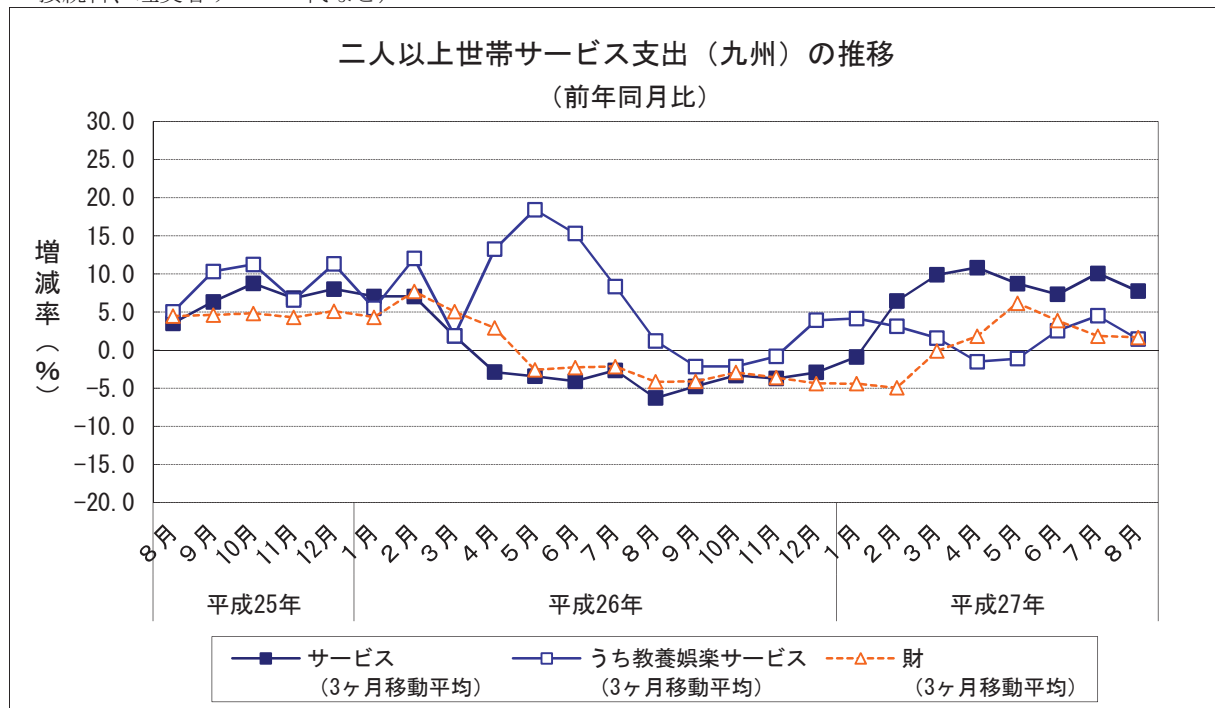
		サービス支出			財支出		
		3か月移動平均 前年同月比	うち教養娯楽 サービス支出	3か月移動平均 前年同月比	3か月移動平均 前年同月比		
平成26年 (2014)	9月	90,658	▲ 4.8	15,329	▲ 2.2	117,561	▲ 4.1
	10月	93,050	▲ 3.3	14,112	▲ 2.2	123,477	▲ 2.9
	11月	89,281	▲ 3.7	14,511	▲ 0.8	125,201	▲ 3.6
	12月	94,797	▲ 2.9	16,083	3.9	157,889	▲ 4.4
平成27年 (2015)	1月	91,200	▲ 0.9	14,705	4.1	126,390	▲ 4.4
	2月	89,535	6.4	12,088	3.1	117,434	▲ 4.9
	3月	110,873	9.9	17,031	1.6	139,303	▲ 0.1
	4月	105,098	10.8	14,462	▲ 1.5	126,966	1.8
	5月	95,160	8.7	16,081	▲ 1.1	126,801	6.2
	6月	96,188	7.3	17,475	2.6	120,226	3.9
	7月	93,275	10.1	14,706	4.5	131,786	1.8
	8月	97,164	7.7	15,253	1.4	126,812	1.7
	9月	92,027	...	15,695	...	118,795	...

資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※前表の消費支出額（除く自動車等購入等）（a-b）から「こづかい（使途不明）」と「交際費」を除いたものをサービス支出と財支出とに分類したものである。

※サービス支出……財（商品）の購入以外のサービスへの支出（例：外食、家賃、運賃、通信料、宿泊料、パック旅行費、月謝、放送受信料等、映画・演劇・スポーツ等入場料、スポーツクラブ会費、インターネット接続料、理美容サービス代など）



## 消費

### 3 小売業販売額（全国・九州沖縄）（2015年9月）

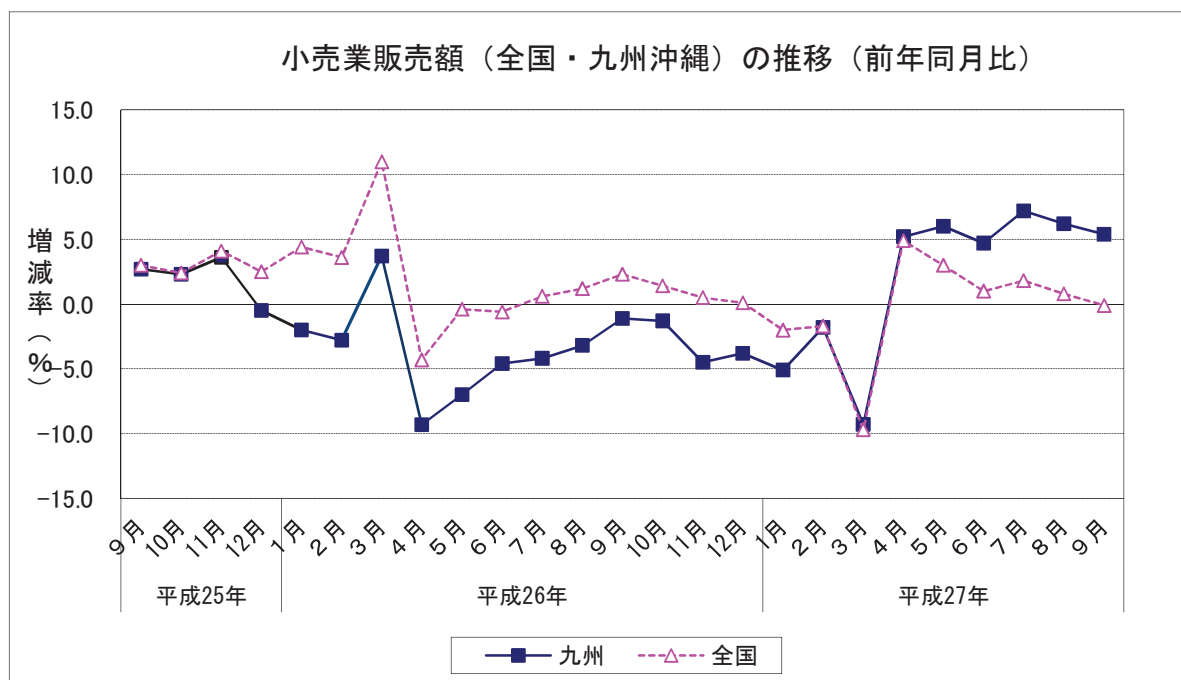
- (1) 前年同月比（全国）：6か月ぶりのマイナス
- (2) 前年同月比（九州沖縄）：6か月連続のプラス

		全国		九州沖縄	
		販売額	前年同月比	販売額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	11,246	2.3	1,265	▲ 1.1
	10月	11,368	1.4	1,279	▲ 1.3
	11月	11,646	0.5	1,269	▲ 4.5
	12月	13,510	0.1	1,513	▲ 3.8
平成27年 (2015)	1月	11,489	▲ 2.0	1,255	▲ 5.1
	2月	10,726	▲ 1.7	1,214	▲ 1.8
	3月	12,403	▲ 9.7	1,377	▲ 9.3
	4月	11,556	4.9	1,302	5.2
	5月	11,772	3.0	1,336	6.0
	6月	11,470	1.0	1,314	4.7
	7月	12,030	1.8	1,403	7.2
	8月	11,541	0.8	1,395	6.2
	9月	11,232	▲ 0.1	1,334	5.4

		全国	
		販売額	前年同月比
平成25年 (2013)	7～9月	34,054	1.2
	10～12月	36,294	3.0
平成26年 (2014)	1～3月	36,371	6.6
	4～6月	33,802	▲ 1.8
	7～9月	34,522	1.4
平成27年 (2015)	10～12月	36,524	0.6
	1～3月	34,618	▲ 4.8
	4～6月	34,798	2.9
	7～9月	34,803	0.8

	小売業販売額 (全国)	前年比 (全国)
平成24年(2012)	137,585	1.8
平成25年(2013)	138,897	1.0
平成26年(2014)	141,219	1.7

資料出所：経済産業省「商業動態統計」  
販売額単位：10億円



# 消費

## 4 百貨店販売額（2015年9月）

(1) 前年同月比(全店ベース)：3か月連続のプラス

		百貨店 販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
平成26年 (2014)	9月	21,858	▲ 0.1	▲ 0.1
	10月	24,086	2.7	2.7
	11月	28,203	4.2	4.2
	12月	36,579	1.8	1.8
平成27年 (2015)	1月	27,848	▲ 1.2	▲ 1.2
	2月	22,558	0.8	0.8
	3月	27,512	▲ 16.0	▲ 16.0
	4月	23,136	13.8	13.8
	5月	24,425	5.9	5.9
	6月	23,413	▲ 0.9	▲ 0.9
	7月	29,111	5.1	5.1
	8月	23,037	1.6	1.6
	9月	23,508	7.5	7.5

		百貨店 販売額	前年同期比 (全店)
平成25年	10~12月	86,464	1.3
平成26年 (2014)	1~3月	83,304	12.0
	4~6月	67,004	▲ 3.5
	7~9月	72,216	0.5
平成27年 (2015)	10~12月	88,868	2.8
	1~3月	77,918	▲ 6.5
	4~6月	70,974	5.9
	7~9月	75,656	4.8

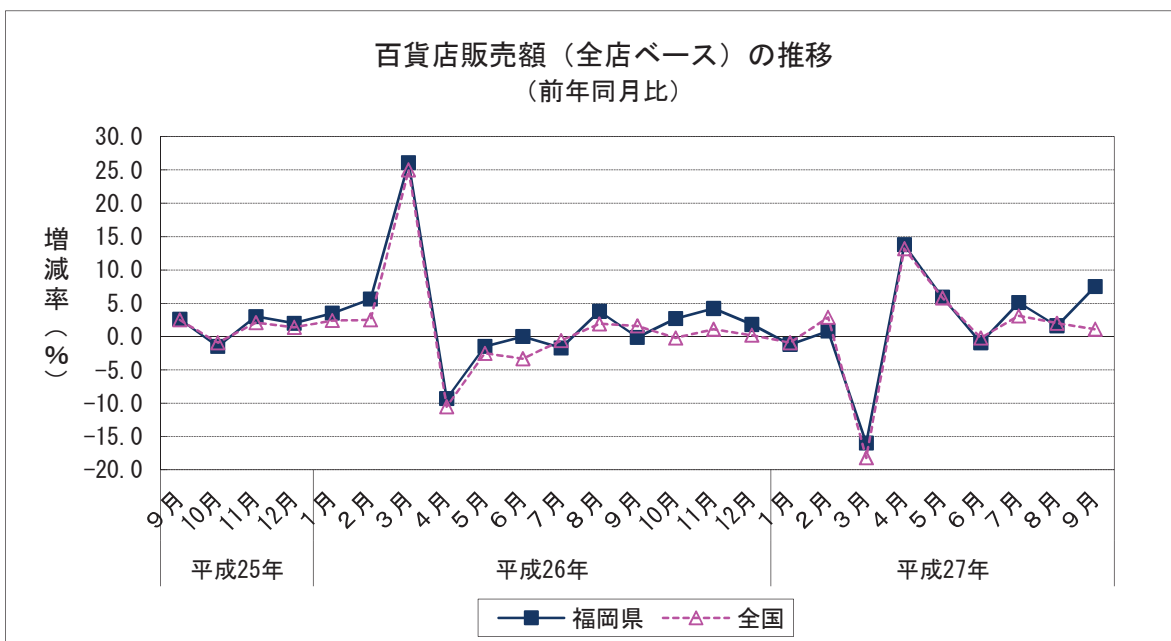
	百貨店販売額	前年比(全店)
平成24年(2012)	298,844	0.5
平成25年(2013)	302,186	1.1
平成26年(2014)	311,392	3.0

資料出所：経済産業省「商業動態統計」

販売額単位：百万円

※平成26年以前の販売額は、年間補正後の額である。

※既存店ベースの百貨店販売額の金額は公表されていない。



# 消費

## 5 スーパー販売額（2015年9月）

（1）前年同月比（全店ベース）：6か月連続のプラス

		スーパー販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
平成26年 (2014)	9月	30,344	▲ 0.9	▲ 1.5
	10月	33,064	3.6	2.3
	11月	32,847	0.8	0.8
	12月	43,010	0.7	0.3
平成27年 (2015)	1月	32,426	1.4	1.1
	2月	29,179	1.0	0.8
	3月	33,204	▲ 10.8	▲ 10.9
	4月	32,304	10.4	10.1
	5月	33,674	4.8	5.1
	6月	31,957	0.4	0.5
	7月	32,246	2.5	1.7
	8月	32,703	3.1	2.4
	9月	28,028	0.7	3.6

		スーパー販売額	前年同期比 (全店)
平成25年	10~12月	107,223	3.5
	1~3月	98,086	3.3
	4~6月	93,205	▲ 2.5
平成26年 (2014)	7~9月	99,220	0.3
	10~12月	108,921	1.6
平成27年 (2015)	1~3月	94,809	▲ 3.3
	4~6月	97,935	5.1
	7~9月	92,977	2.1

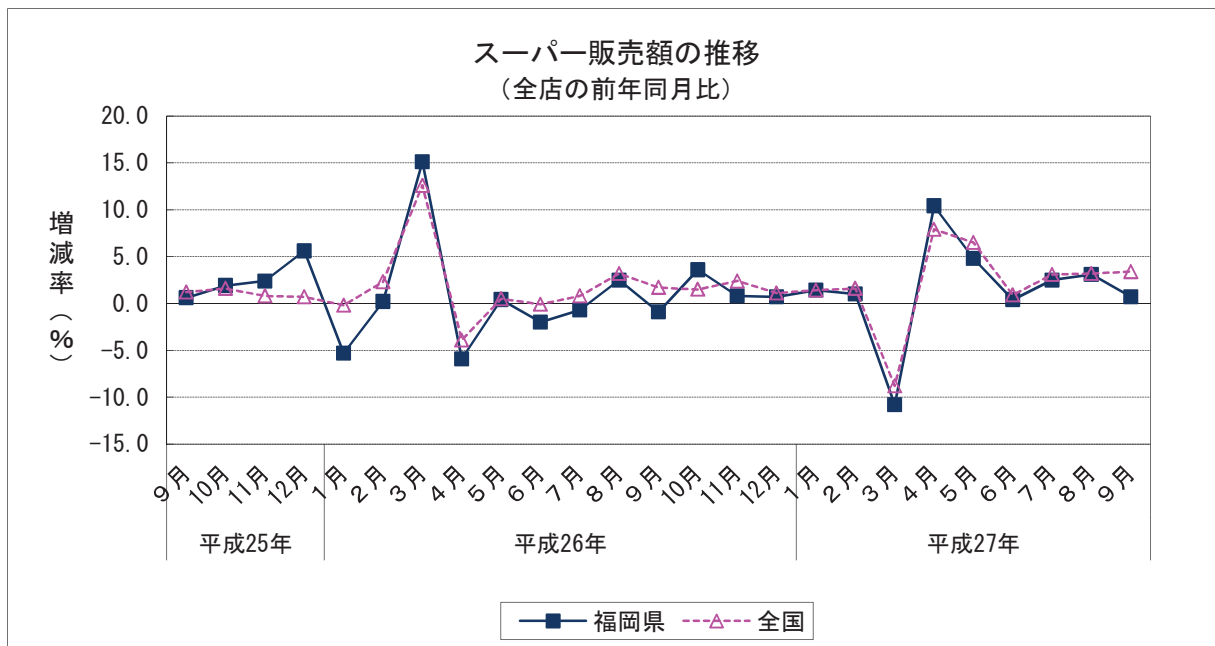
	スーパー販売額	前年比(全店)
平成24年(2012)	390,968	▲ 0.2
平成25年(2013)	396,570	1.4
平成26年(2014)	399,432	0.7

資料出所：経済産業省「商業動態統計」

販売額単位：百万円

※平成26年以前の販売額は、年間補正後の額である。

※商業動態統計の見直しがあったことから、平成27年7月以降の前年同月比増減率は、ギャップを修正するリンク係数で処理した数値で計算している。



## 消 費

### 6 コンビニエンス・ストア販売額（九州）（2015年9月）

（1）前年同月比（全店ベース）：33か月連続のプラス

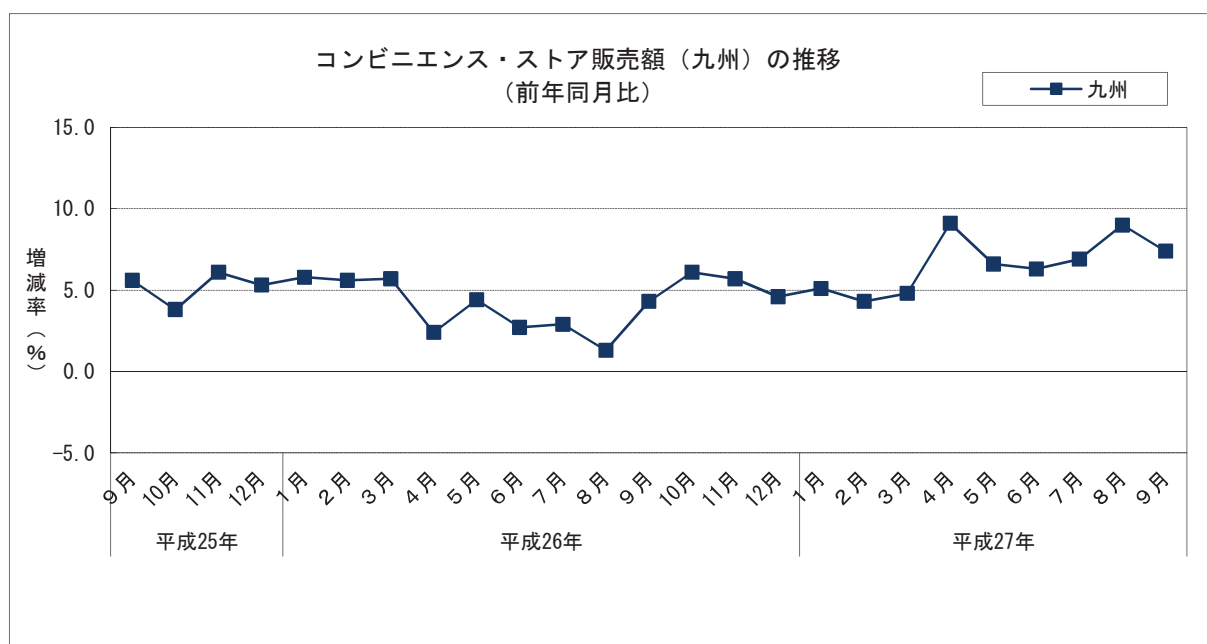
		販売額	前年同月比 (全店)
平成26年 (2014)	9月	77,366	4.3
	10月	79,146	6.1
	11月	77,268	5.7
	12月	83,898	4.6
平成27年 (2015)	1月	76,953	5.1
	2月	70,482	4.3
	3月	81,272	4.8
	4月	78,075	9.1
	5月	83,071	6.6
	6月	79,970	6.3
	7月	89,366	6.9
	8月	90,295	9.0
	9月	83,069	7.4

		販売額	前年同期比 (全店)
平成25年	10~12月	227,880	5.0
	1~3月	218,392	5.7
平成26年 (2014)	4~6月	224,739	3.2
	7~9月	243,826	2.8
	10~12月	240,312	5.5
平成27年 (2015)	1~3月	228,707	4.7
	4~6月	241,116	7.3
	7~9月	262,730	7.8

	販売額	前年比(全店)
平成25年(2013)	889,577	5.5
平成26年(2014)	927,269	4.2

資料出所：経済産業省「商業動態統計」

販売額単位：百万円



# 消費

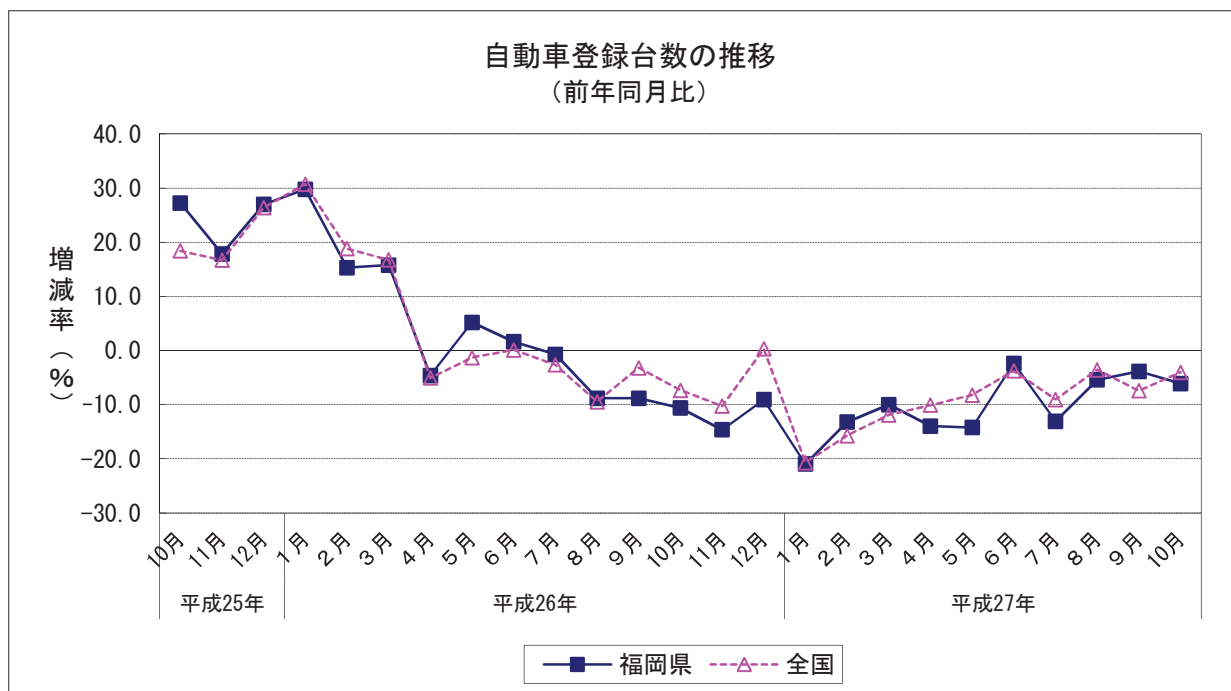
## 7 新車登録台数（2015年10月）（普通車，小型車，軽自動車）

(1) 前年同月比：16か月連続のマイナス

		新車登録台数	前年同月比
平成26年 (2014)	10月	12,859	▲ 10.6
	11月	12,901	▲ 14.6
	12月	13,057	▲ 9.1
平成27年 (2015)	1月	13,911	▲ 21.0
	2月	17,237	▲ 13.2
	3月	22,960	▲ 10.0
	4月	10,031	▲ 13.9
	5月	10,501	▲ 14.2
	6月	14,292	▲ 2.4
	7月	13,545	▲ 13.1
	8月	10,899	▲ 5.4
	9月	16,093	▲ 3.9
	10月	12,075	▲ 6.1

		新車登録台数	前年同期比
平成25年 (2013)	7～9月	46,693	2.3
	10～12月	43,864	23.7
平成26年 (2014)	1～3月	62,977	19.2
	4～6月	38,538	0.7
	7～9月	43,848	▲ 6.1
平成27年 (2015)	10～12月	38,817	▲ 11.5
	1～3月	54,108	▲ 14.1
	4～6月	34,824	▲ 9.6
	7～9月	40,537	▲ 7.6

	新車登録台数	前年比
平成24年(2012)	180,279	29.8
平成25年(2013)	181,647	0.8
平成26年(2014)	184,180	1.4



# 消費

## 8 新車登録台数の内訳（2015年10月）

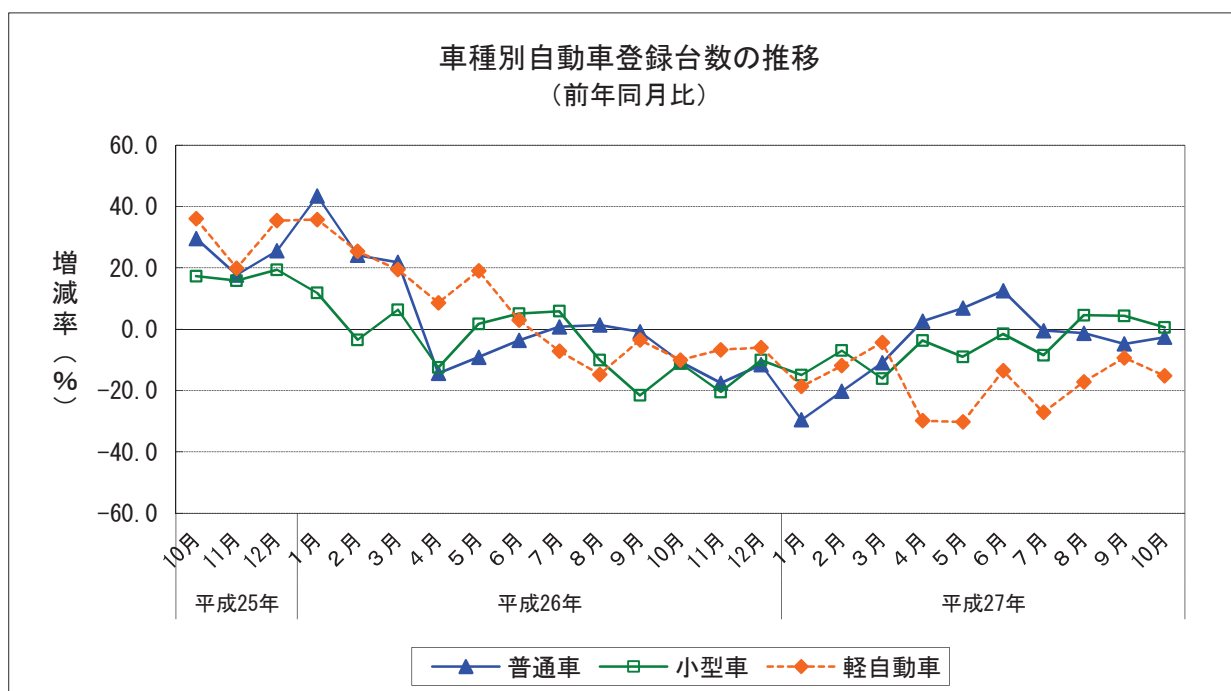
(1) 前年同月比

普通車： 4か月連続のマイナス

小型車： 3か月連続のプラス

軽自動車： 16か月連続のマイナス

		普通車	前年同月比	小型車	前年同月比	軽自動車	前年同月比
平成26年 (2014)	10月	3,883	▲ 10.6	4,317	▲ 11.2	4,659	▲ 10.1
	11月	3,772	▲ 17.6	4,041	▲ 20.5	5,088	▲ 6.7
	12月	4,215	▲ 11.6	3,876	▲ 10.1	4,966	▲ 6.0
平成27年 (2015)	1月	3,876	▲ 29.5	4,376	▲ 15.0	5,659	▲ 18.7
	2月	5,159	▲ 20.2	5,189	▲ 7.0	6,889	▲ 11.9
	3月	7,134	▲ 11.0	6,547	▲ 16.1	9,279	▲ 4.3
	4月	3,105	2.6	3,202	▲ 3.7	3,724	▲ 29.8
	5月	3,454	6.9	3,260	▲ 9.0	3,787	▲ 30.2
	6月	4,688	12.5	4,534	▲ 1.5	5,070	▲ 13.6
	7月	4,472	▲ 0.5	4,854	▲ 8.5	4,219	▲ 27.1
	8月	3,473	▲ 1.3	3,819	4.6	3,607	▲ 17.2
	9月	5,251	▲ 4.8	5,075	4.4	5,767	▲ 9.4
	10月	3,783	▲ 2.6	4,341	0.6	3,951	▲ 15.2



## 消費

### 9 旅行業取扱額（2015年9月）（九州7県主要3社の合計）

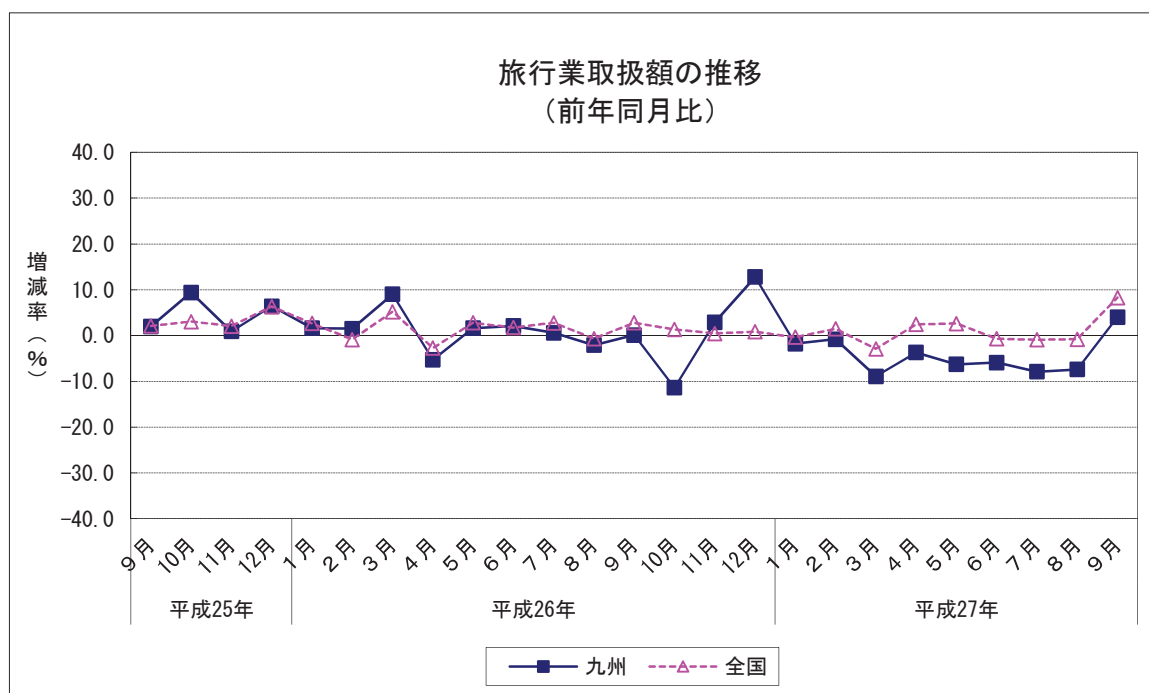
（1）前年同月比：9か月ぶりのプラス

		旅行業取扱額	前年同月比	国内旅行	前年同月比	海外旅行	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	11,998	0.1	8,170	▲ 0.6	3,828	1.6
	10月	12,823	▲ 11.4	9,168	▲ 7.8	3,654	▲ 19.3
	11月	13,739	2.9	10,381	7.5	3,358	▲ 9.1
	12月	15,033	12.8	11,181	23.9	3,851	▲ 10.5
平成27年 (2015)	1月	10,112	▲ 1.8	8,096	2.1	2,016	▲ 15.0
	2月	10,598	▲ 0.8	7,754	3.2	2,844	▲ 10.1
	3月	11,820	▲ 8.9	8,932	▲ 1.7	2,888	▲ 25.8
	4月	8,309	▲ 3.7	6,140	1.5	2,169	▲ 15.8
	5月	10,451	▲ 6.3	7,981	0.3	2,469	▲ 22.9
	6月	9,410	▲ 5.9	6,852	2.1	2,558	▲ 22.3
	7月	10,590	▲ 7.9	8,264	0.8	2,326	▲ 29.4
	8月	12,281	▲ 7.4	9,270	1.5	3,012	▲ 26.9
	9月	12,478	4.0	9,151	12.0	3,327	▲ 13.1

資料出所：九州運輸局、観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」

取扱額単位：百万円

※全国の取扱額については、平成24年度までは主要旅行業者58社、平成25年度以降は50社の合計額を使用しているため、前年同月比を見る際は注意する必要がある。



# 消費

## 10 インターネットを利用した支出状況（九州・沖縄）（2015年9月）

（1）前年同月比：10か月連続のプラス

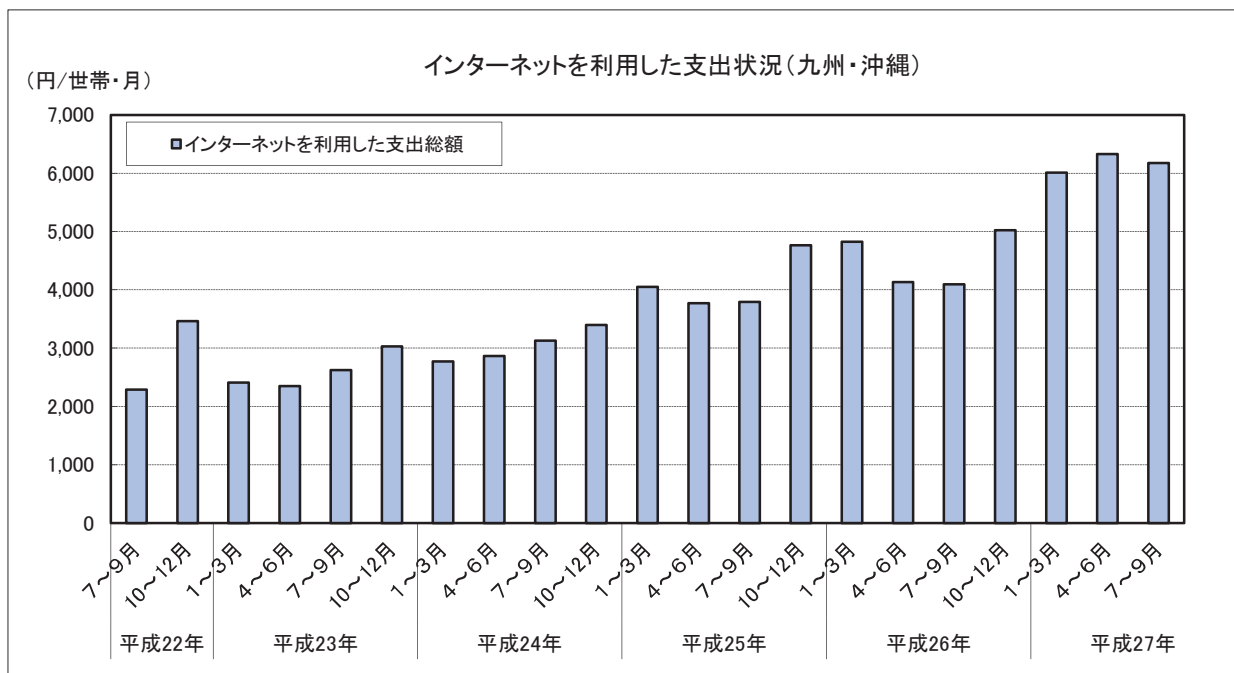
		支出額	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	4,067	9.8
	10月	4,147	▲ 2.3
	11月	4,838	▲ 0.7
	12月	6,088	17.5
平成27年 (2015)	1月	6,371	27.3
	2月	5,168	23.5
	3月	6,486	22.9
	4月	6,563	52.0
	5月	6,314	58.8
	6月	6,112	48.6
	7月	6,959	57.6
	8月	5,391	41.6
	9月	6,176	51.9

		平均支出額	前年同期比
平成25年 (2013)	7～9月	3,791	21.2
	10～12月	4,765	40.4
平成26年 (2014)	1～3月	4,822	19.1
	4～6月	4,135	9.7
	7～9月	4,097	8.1
平成27年 (2015)	10～12月	5,024	5.4
	1～3月	6,008	24.6
	4～6月	6,330	53.1
	7～9月	6,175	50.7

	平均支出額	前年比
平成24年(2012)	3,040	16.8
平成25年(2013)	4,094	34.7
平成26年(2014)	4,506	10.1

資料出所：総務省「家計消費状況調査」

支出額：1ヶ月・1世帯あたり支出額(二人以上世帯)



# 雇 用

## 1 求人・求職状況(2015年9月)

### (1) 有効求人倍率

ア 1.17倍 前月を0.04ポイント上回った

イ 有効求人数：前月比1.9%増、有効求職者数：前月比1.5%減

※有効求人数、有効求職者数及び有効求人倍率はいずれも季節調整値

ウ 地域別(原数値)

福岡…1.27、北九州…1.07、筑豊…0.85、筑後…1.05

### (2) 新規求人数(原数値)

37,268人 前年同月比：7.0%増 2か月ぶりの増加

産業別の前年同月比較

増加産業：宿泊業・飲食業、学術研究・専門技術サービス、  
サービス業(他に分類されないもの)、卸売・小売業、製造業、  
運輸業・郵便業、医療・福祉

減少産業：金融業・保険業、生活関連サービス・娯楽業、情報通信業、  
建設業、不動産業・物品賃貸業

### (3) 新規求職者数(原数値)

21,673人 前年同月比：10.7%減 15か月連続の減少

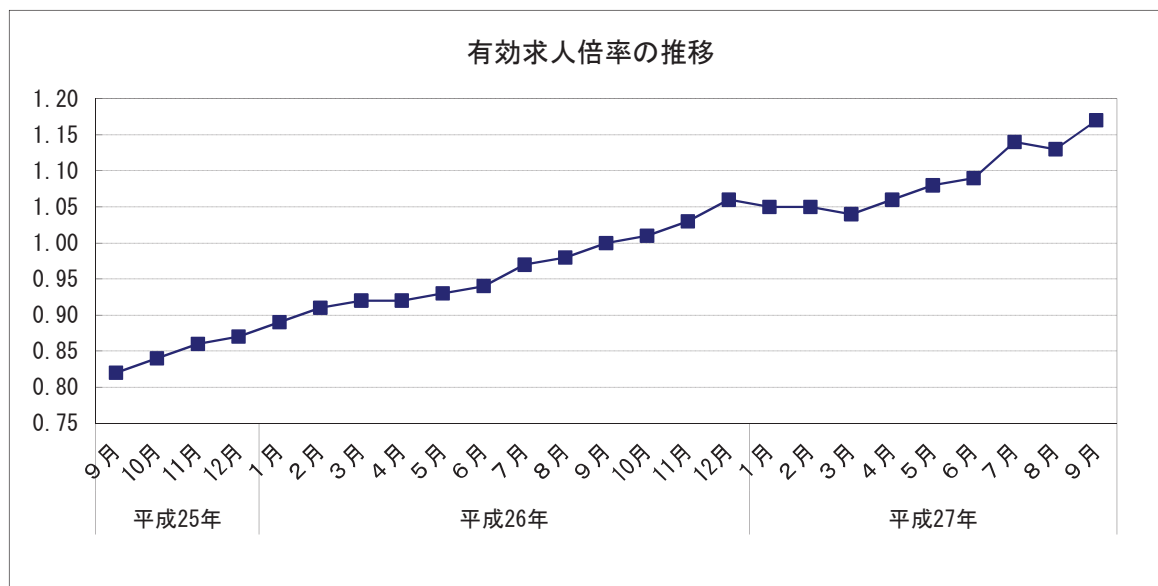
		有効求人倍率	前月差	前年同月差
平成26年 (2014)	9月	1.00	0.02	0.18
	10月	1.01	0.01	0.17
	11月	1.03	0.02	0.17
	12月	1.06	0.03	0.19
平成27年 (2015)	1月	1.05	▲0.01	0.16
	2月	1.05	0.00	0.14
	3月	1.04	▲0.01	0.12
	4月	1.06	0.02	0.14
	5月	1.08	0.02	0.15
	6月	1.09	0.01	0.15
	7月	1.14	0.05	0.17
	8月	1.13	▲0.01	0.15
	9月	1.17	0.04	0.17

		有効求人倍率	前期差	前年同期差
平成25年	10~12月	0.86	0.05	0.15
	1~3月	0.90	0.06	0.17
平成26年 (2014)	4~6月	0.93	0.03	0.16
	7~9月	0.98	0.05	0.17
	10~12月	1.03	0.05	0.18
平成27年 (2015)	1~3月	1.05	0.02	0.15
	4~6月	1.08	0.03	0.15
	7~9月	1.15	0.07	0.17

	有効求人倍率	前年差
平成24年度	0.72	0.12
平成25年度	0.83	0.11
平成26年度	1.00	0.17

資料出所：厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」

※数値は季節調整値。なお、平成26年12月以前の数値は、平成27年1月分公表時に新季節指数により改定されている。



# 雇 用

## 2 きまって支給する給与(2015年9月)

(1) 前年同月比：3か月連続のプラス

(平成22年=100)

		きまって支給する給与			現金給与総額		
		金額	指数	前年同月比	金額	指数	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	249,101	97.1	0.5	252,876	81.9	▲0.2
	10月	250,548	97.5	0.3	253,446	82.1	0.0
	11月	250,256	97.4	▲0.1	263,952	85.5	▲0.3
	12月	249,829	97.2	0.2	509,716	165.0	0.0
平成27年 (2015)	1月	240,818	95.2	▲0.7	250,856	82.5	▲1.6
	2月	241,231	95.4	▲1.1	243,419	80.0	▲1.0
	3月	245,359	97.0	▲0.3	254,954	83.8	▲4.8
	4月	247,254	97.7	▲0.8	253,277	83.3	▲1.8
	5月	244,941	96.8	▲1.0	256,001	84.2	▲0.5
	6月	246,305	97.4	▲0.4	387,274	127.3	▲0.5
	7月	249,040	98.5	1.3	361,704	118.9	1.5
	8月	247,622	97.9	1.5	273,173	89.8	3.8
	9月	246,961	97.6	0.5	250,142	82.2	0.4

年平均	現金給与総額		
	金額	指数	前年比
平成24年(2012)	292,947	96.1	▲2.2
平成25年(2013)	296,062	96.5	0.4
平成26年(2014)	300,209	97.4	0.9

資料：福岡県調査統計課

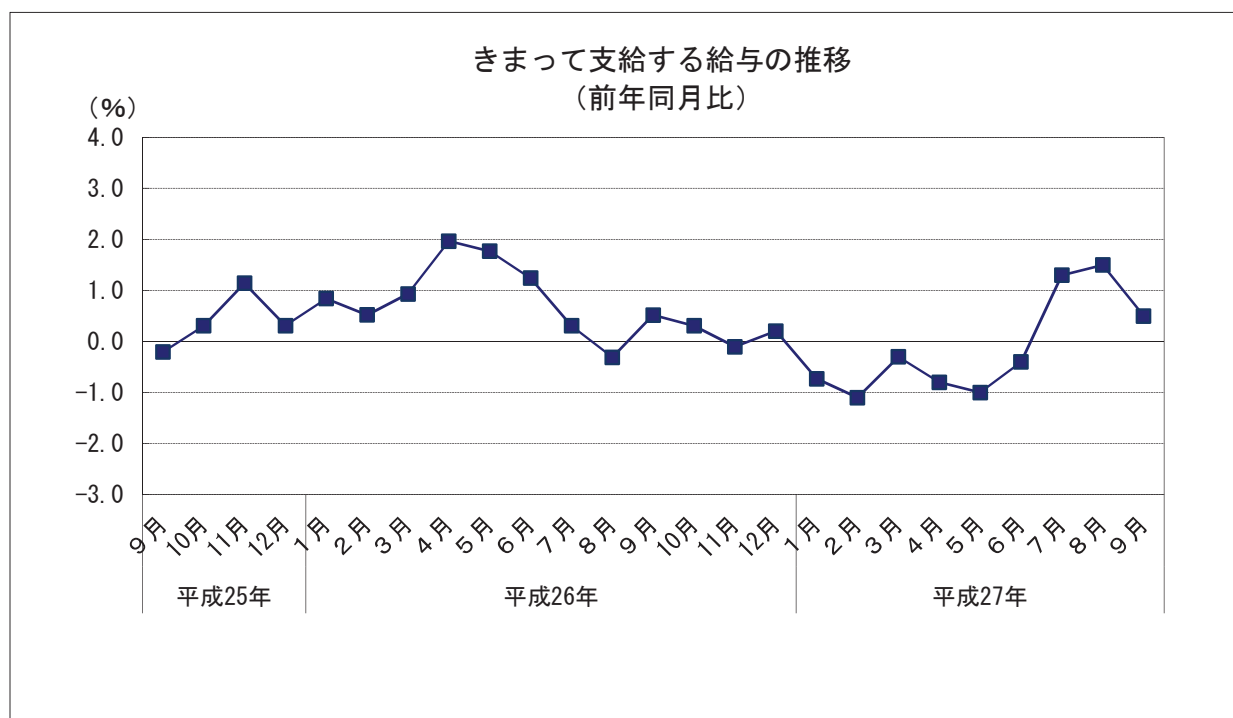
「毎月勤労統計調査地方調査」

対象：調査産業計、全規模（5人以上）の事業所  
単位：円、%

「きまって支給する給与」は、所定内給与と超過労働給与を合わせたもの。

「現金給与総額」は、きまって支給する給与に特別に支払われた給与（ボーナスなど）を合わせたもの。

前年同月比及び前年比は、指数により算出。



# 雇 用

## 3 就業状態（2015年4-6月期）

- (1) 就業者：2,455千人。前年同期と比べ17期連続の増加。
- (2) 完全失業者：110千人。前年同期と比べ19期連続の減少。
- (3) 完全失業率：4.3%。前年同期と比べ0.3ポイント減少。

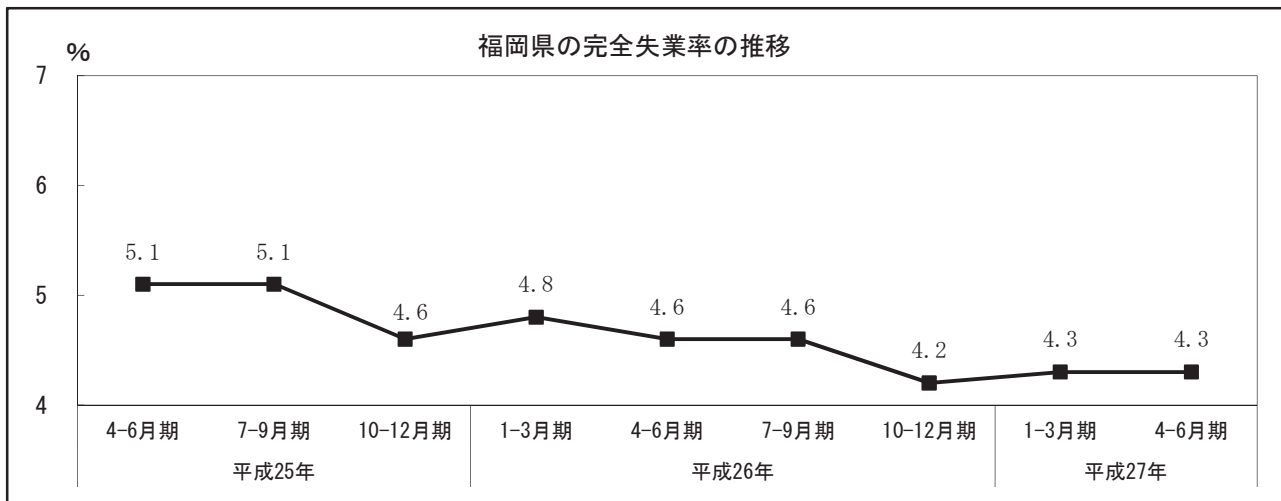
\* 完全失業率 = 「完全失業者」 ÷ (「就業者」 + 「完全失業者」) × 100

(単位：千人、%)

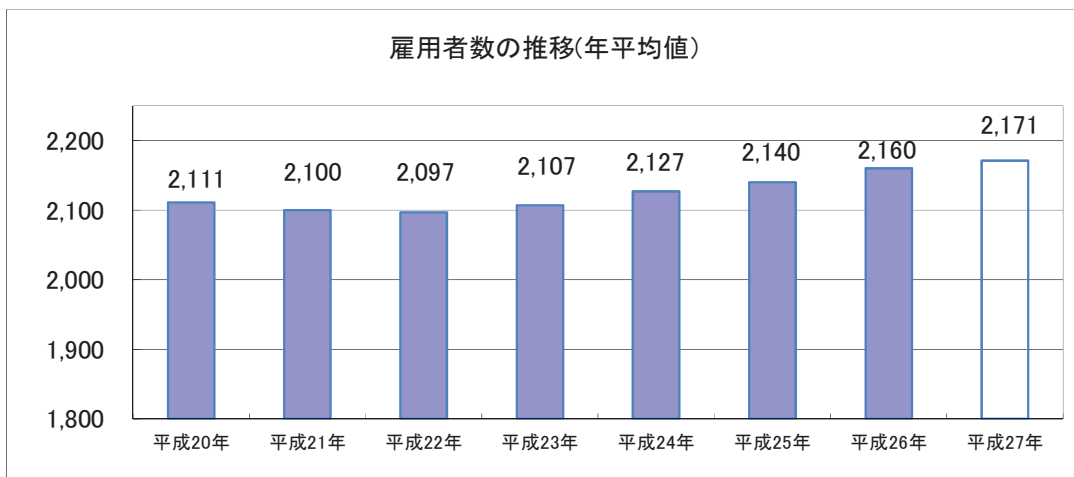
		労働力人口	就業者数	完全失業者数	非労働力人口	完全失業率
平成20年		2,538	2,412	126	1,831	5.0
平成21年		2,545	2,399	146	1,829	5.7
平成22年		2,543	2,390	153	1,836	6.0
平成23年		2,532	2,389	143	1,856	5.6
平成24年		2,528	2,396	132	1,865	5.2
平成25年		2,533	2,408	126	1,866	5.0
平成26年		2,548	2,432	116	1,854	4.6
平成27年	1-3月期	2,526	2,418	108	1,876	4.3
	4-6月期	2,565	2,455	110	1,837	4.3

資料出所：総務省「労働力調査」

注) ・1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算が行われ、前年までの過去5年間の四半期平均及び年平均結果が遡及改定されます。



資料出所：総務省「労働力調査」



注) ・県の雇用者数は、労働力調査に基づく推計値であり、福岡県で独自に公表しているものです。  
・平成27年の雇用者数は、1～6月期の平均値です。

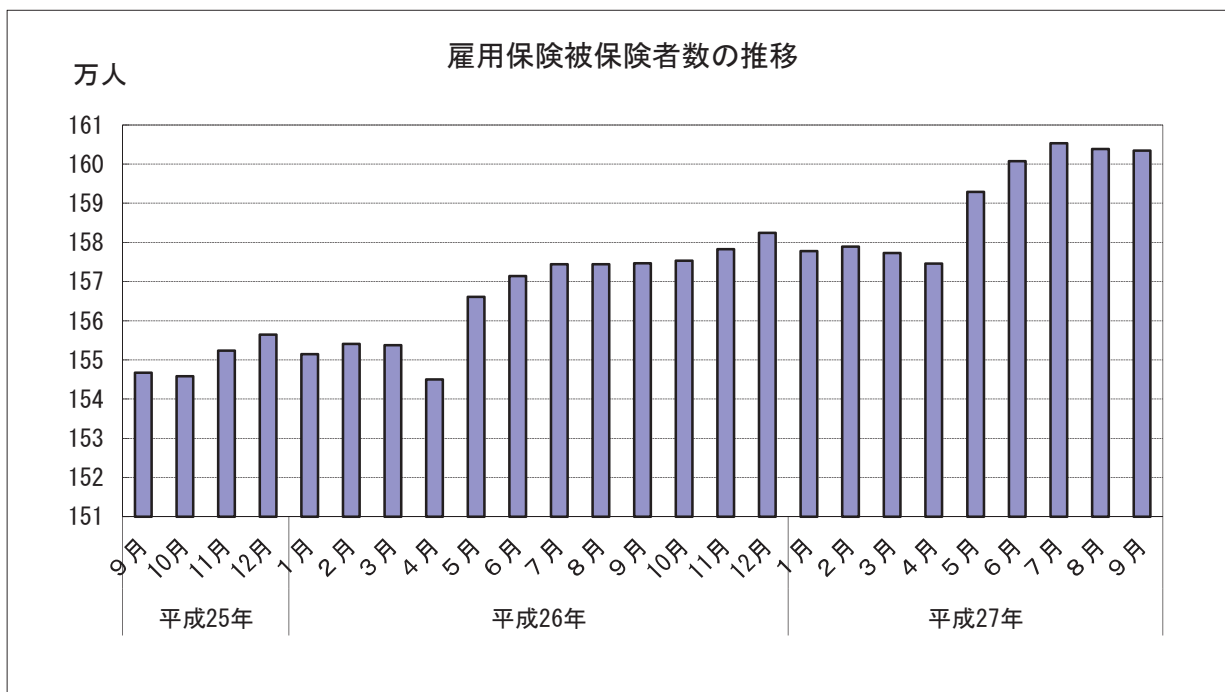
## 雇 用

### 4 雇用保険被保険者数（2015年9月） （1）前年同月比：72か月連続のプラス

		被保険者数	前年 同月比
平成26年 (2014)	9月	1,574,711	1.8
	10月	1,575,361	1.9
	11月	1,578,238	1.7
	12月	1,582,420	1.7
平成27年 (2015)	1月	1,577,765	1.7
	2月	1,578,912	1.6
	3月	1,577,325	1.5
	4月	1,574,578	1.9
	5月	1,592,888	1.7
	6月	1,600,759	1.9
	7月	1,605,285	2.0
	8月	1,603,874	1.9
	9月	1,603,408	1.8

		被保険者数	前年 同期比
平成25年	10～12月	1,551,539	1.5
平成26年 (2014)	1～3月	1,553,104	1.8
	4～6月	1,560,849	1.8
	7～9月	1,574,531	1.8
	10～12月	1,578,673	1.7
平成27年 (2015)	1～3月	1,578,001	1.6
	4～6月	1,589,408	1.8
	7～9月	1,604,189	1.9

	被保険者数	前年比
平成24年度	1,525,101	1.3
平成25年度	1,546,228	1.4
平成26年度	1,573,013	1.7



## 住宅投資

### 1 新設住宅着工戸数（2015年9月）

（1）前年同月比：2か月連続のマイナス

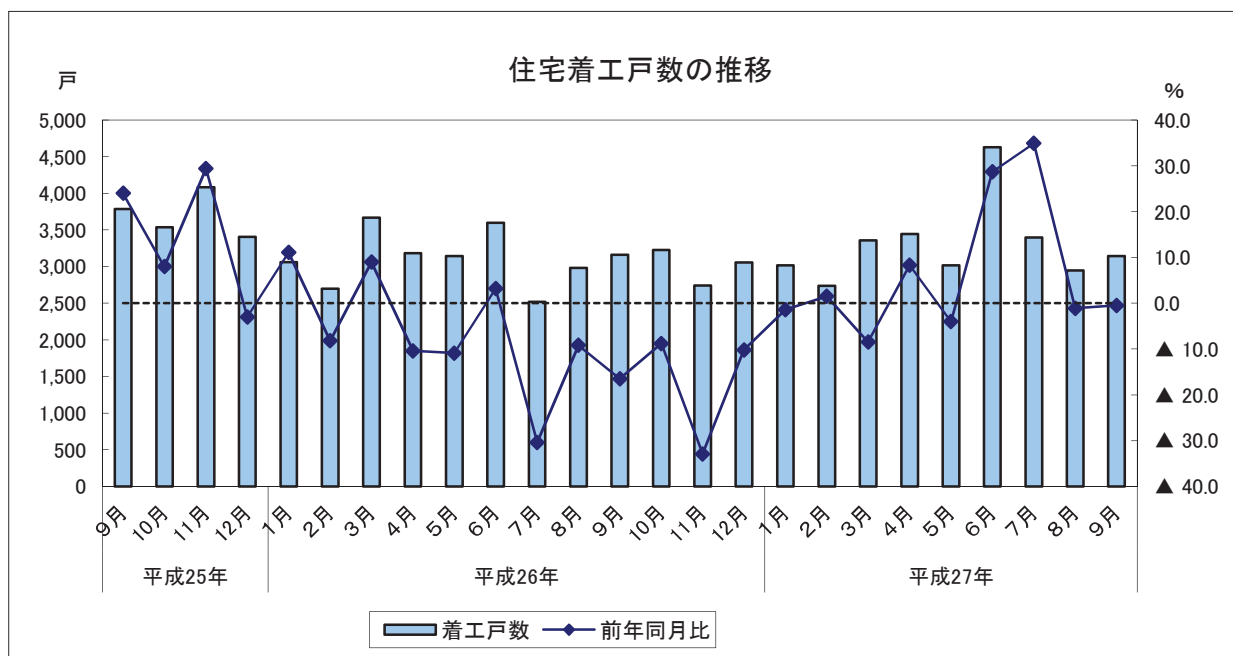
		着工戸数	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	3,160	▲ 16.5
	10月	3,225	▲ 8.8
	11月	2,741	▲ 32.9
	12月	3,058	▲ 10.2
平成27年 (2015)	1月	3,019	▲ 1.4
	2月	2,738	1.5
	3月	3,358	▲ 8.5
	4月	3,446	8.3
	5月	3,016	▲ 4.0
	6月	4,630	28.7
	7月	3,399	34.9
	8月	2,949	▲ 1.1
	9月	3,145	▲ 0.5

		着工戸数	前年同期比
平成25年	10～12月	11,026	10.9
平成26年 (2014)	1～3月	9,428	4.1
	4～6月	9,922	▲ 6.1
	7～9月	8,661	▲ 19.0
	10～12月	9,024	▲ 18.2
平成27年 (2015)	1～3月	9,115	▲ 3.3
	4～6月	11,092	11.8
	7～9月	9,493	9.6

	着工戸数	前年比
平成24年(2012)	36,111	3.3
平成25年(2013)	41,335	14.5
平成26年(2014)	37,035	▲ 10.4

資料出所：国土交通省「建築着工統計調査」

住宅着工戸数単位：戸



## 住宅投資

### 2 新設住宅着工戸数の内訳（2015年9月）

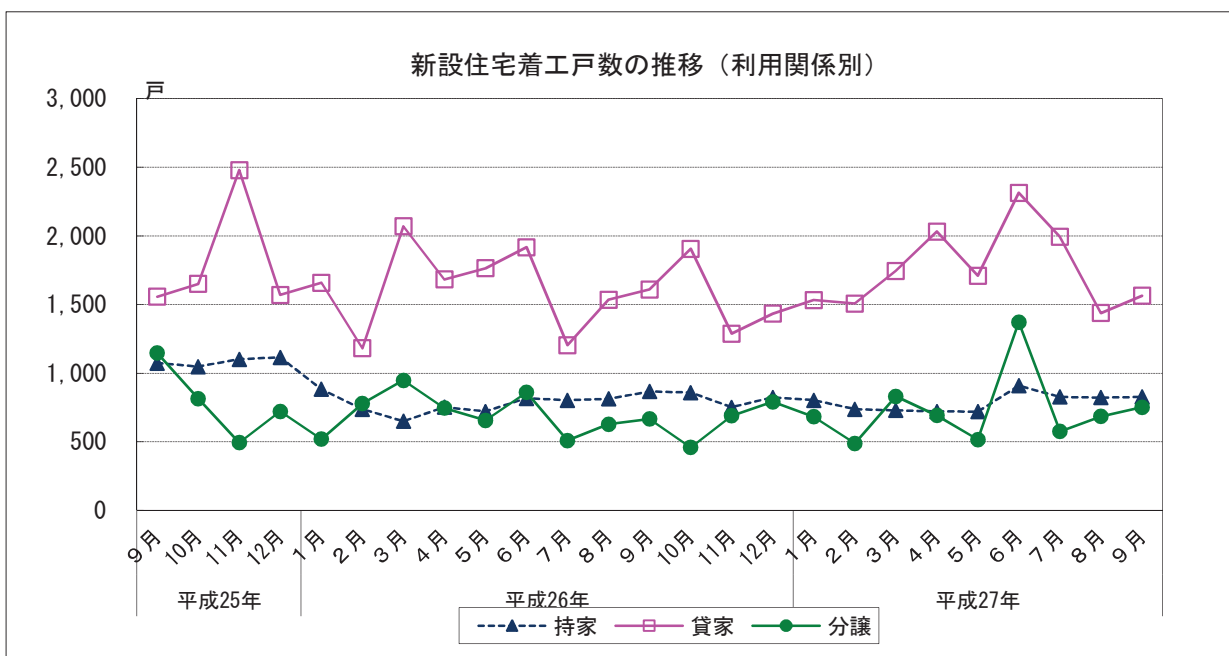
(1) 前年同月比（利用関係別）

- ア 持家：4か月ぶりのマイナス
- イ 貸家：2か月連続のマイナス
- ウ 分譲：4か月連続のプラス

		持家		貸家		分譲				持家		貸家		分譲	
		前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比			前年同月比	前年同月比				
平成26年 (2014)	9月	867	▲19.2	1,609	3.3	666	▲41.9	平成25年	10~12月	3,263	17.5	5,699	21.3	2,028	▲17.4
	10月	858	▲18.1	1,906	15.5	459	▲43.6	平成26年 (2014)	1~3月	2,270	▲7.1	4,909	12.5	2,244	0.4
	11月	751	▲31.8	1,287	▲48.1	689	39.8		4~6月	2,290	▲18.2	5,364	13.1	2,260	▲22.9
	12月	824	▲26.1	1,433	▲8.7	791	9.7		7~9月	2,483	▲16.7	4,348	▲2.1	1,802	▲43.4
平成27年 (2015)	1月	803	▲9.1	1,532	▲7.6	682	31.4	平成27年 (2015)	10~12月	2,433	▲25.4	4,626	▲18.8	1,939	▲4.4
	2月	737	0.0	1,507	27.6	488	▲37.3		1~3月	2,269	▲0.0	4,784	▲2.5	2,000	▲10.9
	3月	729	12.2	1,745	▲15.7	830	▲12.4		4~6月	2,350	2.6	6,055	12.9	2,580	14.2
	4月	721	▲4.1	2,031	20.7	692	▲7.1		7~9月	2,476	▲0.3	4,995	14.9	2,011	11.6
	5月	720	▲0.1	1,710	▲3.1	516	▲21.2			持家	前年比	貸家	前年比	分譲	前年比
	6月	909	11.3	2,314	20.7	1,372	59.5	平成24年(2012)	10,170	▲0.3	17,728	11.4	8,132	▲5.8	
	7月	827	3.0	1,993	65.5	575	13.0	平成25年(2013)	11,487	12.9	19,242	8.5	10,379	27.6	
	8月	822	1.1	1,438	▲6.3	685	9.3	平成26年(2014)	9,476	▲17.5	19,247	0.0	8,245	▲20.6	
	9月	827	▲4.6	1,564	▲2.8	751	12.8								

資料出所：国土交通省「建築着工統計調査」

住宅着工戸数単位：戸



## 公共投資

### 1 公共工事請負額（2015年10月） （1）前年同月比：4か月連続のマイナス

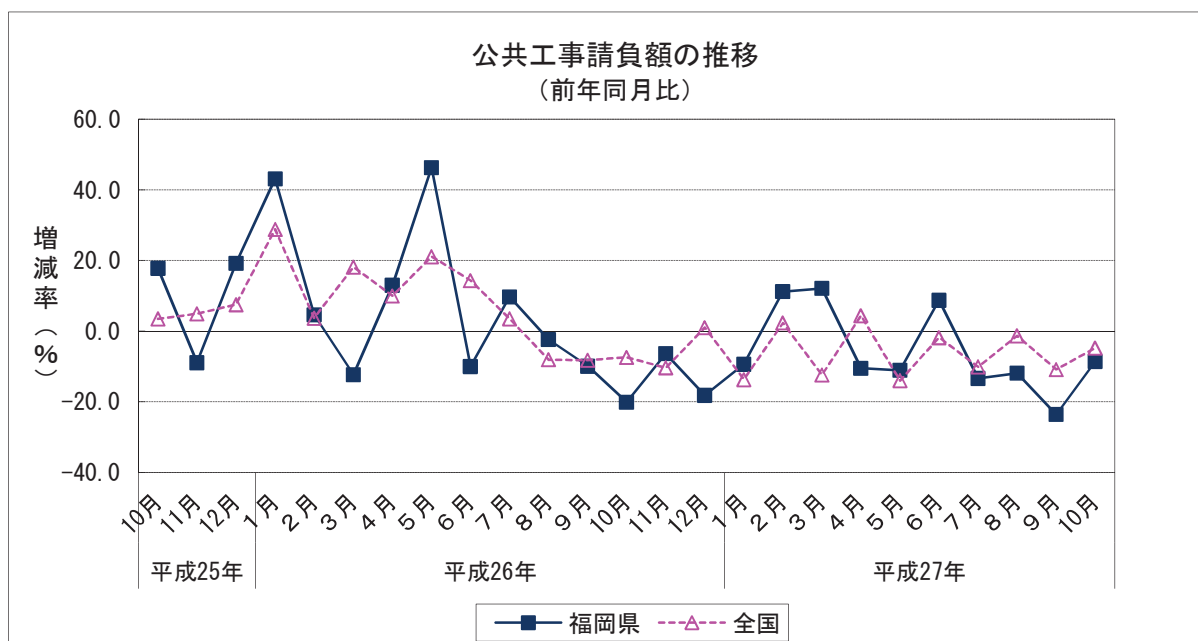
		請負額	前年同月比
平成26年 (2014)	10月	47,221	▲ 20.1
	11月	27,830	▲ 6.4
	12月	28,395	▲ 18.2
平成27年 (2015)	1月	21,105	▲ 9.4
	2月	26,116	11.2
	3月	45,937	12.1
	4月	48,476	▲ 10.5
	5月	33,781	▲ 11.1
	6月	41,874	8.7
	7月	42,432	▲ 13.4
	8月	34,028	▲ 11.9
	9月	44,189	▲ 23.6
	10月	43,150	▲ 8.6

		請負額	前年同期比
平成25年	10～12月	123,532	10.4
	1～3月	87,784	2.7
平成26年 (2014)	4～6月	130,697	12.0
	7～9月	145,482	▲ 2.0
	10～12月	103,447	▲ 16.3
平成27年 (2015)	1～3月	93,160	6.1
	4～6月	124,132	▲ 5.0
	7～9月	120,651	▲ 17.1

	請負額	前年比
平成24年度(F.Y. 2012)	372,763	13.2
平成25年度(F.Y. 2013)	476,490	27.8
平成26年度(F.Y. 2014)	472,786	▲ 0.8

	請負額	前年比
平成26年4月～26年10月累計	323,400	▲ 0.3
平成27年4月～27年10月累計	287,934	▲ 11.0

資料出所：西日本建設業保証株式会社  
工事請負額単位：百万円



## 公共投資

### 2 公共工事請負額の内訳（2015年10月）

#### (1) 前年同月比

プラス：国(2か月連続)、その他公共的団体等(4か月連続)

マイナス：県(4か月連続)、市町村(2か月ぶり)

		国	前年同月比	県	前年同月比	市町村	前年同月比	その他	前年同月比
平成26年 (2014)	10月	3,759	▲ 19.9	17,157	14.4	21,450	▲ 24.1	4,852	▲ 56.4
	11月	1,819	▲ 20.6	6,250	▲ 8.5	16,571	▲ 3.8	3,188	▲ 5.9
	12月	2,294	28.5	6,357	▲ 14.4	15,407	▲ 33.6	4,335	89.0
平成27年 (2015)	1月	5,346	33.2	5,719	▲ 1.4	8,565	40.9	1,473	▲ 80.1
	2月	5,103	▲ 13.7	6,074	7.6	13,779	68.1	1,159	▲ 69.0
	3月	6,141	27.4	13,314	▲ 21.3	21,481	116.7	5,000	▲ 46.5
	4月	2,956	▲ 0.0	12,925	68.7	22,542	▲ 14.0	10,051	▲ 42.0
	5月	3,683	▲ 21.7	6,866	▲ 9.5	20,803	▲ 2.8	2,427	▲ 43.7
	6月	4,067	1.5	9,650	43.6	23,827	2.9	4,328	▲ 6.8
	7月	5,107	▲ 39.2	8,055	▲ 13.2	21,098	▲ 14.1	8,171	21.0
	8月	2,398	▲ 64.6	9,049	▲ 4.5	16,675	▲ 7.2	5,905	33.7
	9月	7,517	48.7	7,608	▲ 70.6	18,528	2.0	10,534	20.4
	10月	5,945	58.1	10,137	▲ 40.9	17,024	▲ 20.6	10,042	107.0

		国	前年同期比	県	前年同期比	市町村	前年同期比	その他	前年同期比
平成25年	10~12月	8,768	32.4	29,259	▲ 19.3	68,681	40.2	16,824	▲ 16.0
平成26年 (2014)	1~3月	14,745	▲ 9.3	28,364	▲ 21.5	24,189	7.9	20,486	91.3
	4~6月	11,670	▲ 29.7	21,965	23.5	70,755	37.4	26,305	▲ 14.7
	7~9月	20,239	▲ 10.4	44,648	8.7	60,676	5.0	19,918	▲ 26.3
平成27年 (2015)	10~12月	7,873	▲ 10.2	29,766	1.7	53,430	▲ 22.2	12,378	▲ 26.4
	1~3月	16,590	12.5	25,110	▲ 11.5	43,827	81.2	7,634	▲ 62.7
	4~6月	10,708	▲ 8.2	29,441	34.0	67,174	▲ 5.1	16,807	▲ 36.1
	7~9月	15,023	▲ 25.8	24,714	▲ 44.6	56,301	▲ 7.2	24,613	23.6

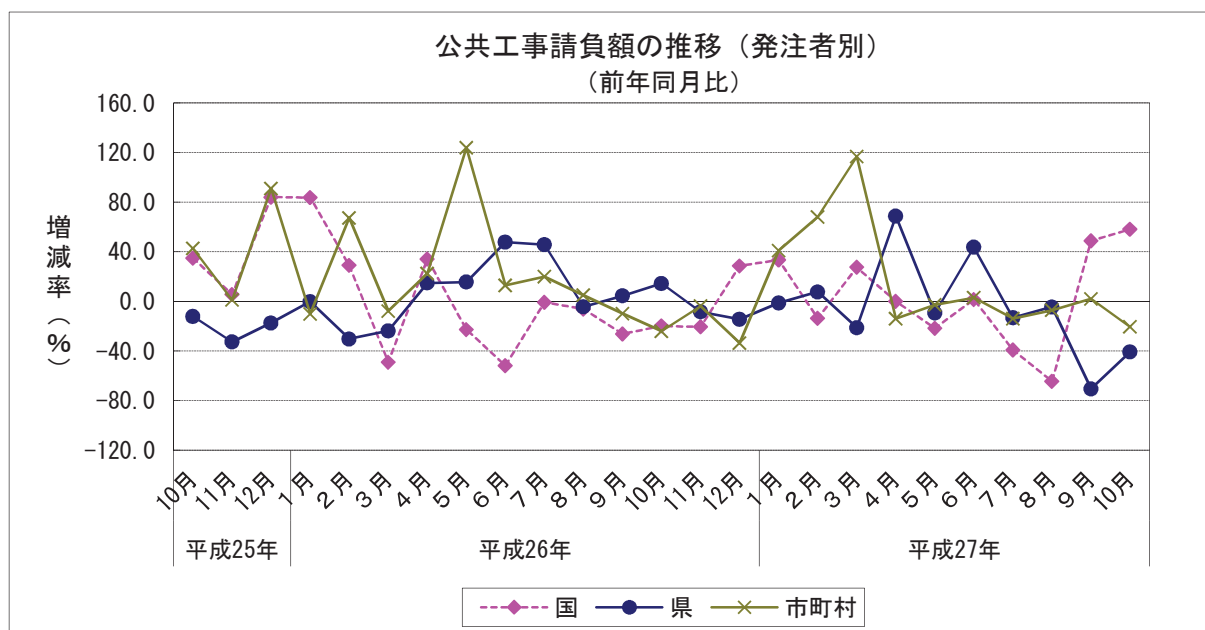
		国	前年比	県	前年比	市町村	前年比	その他	前年比
平成24年度(F.Y. 2012)		48,489	21.4	105,081	24.0	164,687	8.0	54,504	4.8
平成25年度(F.Y. 2013)		62,702	29.3	116,496	10.9	202,115	22.7	95,175	74.6
平成26年度(F.Y. 2014)		56,372	▲ 10.1	121,489	4.3	228,688	13.1	66,235	▲ 30.4

		国	前年比	県	前年比	市町村	前年比	その他	前年比
平成26年4月~26年10月累計		35,668	▲ 18.7	83,771	13.4	152,882	11.2	51,077	▲ 26.0
平成27年4月~27年10月累計		31,677	▲ 11.2	64,292	▲ 23.3	140,500	▲ 8.1	51,464	0.8

資料出所：西日本建設業保証株式会社

着工予定額単位：百万円

※その他公共的団体等には、独立行政法人等も含む。



# 物 価

## 1 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合・福岡市）（2015年9月）

（1）前年同月比：27か月連続のプラス

(平成22年=100)

		消費者物価指数	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	102.8	2.5
	10月	102.8	2.5
	11月	103.0	2.9
	12月	103.1	2.9
平成27年 (2015)	1月	102.6	2.8
	2月	102.7	2.8
	3月	103.4	3.2
	4月	103.5	1.3
	5月	103.8	1.2
	6月	103.7	1.1
	7月	103.8	1.0
	8月	103.7	0.9
	9月	104.0	1.1

(平成22年=100)

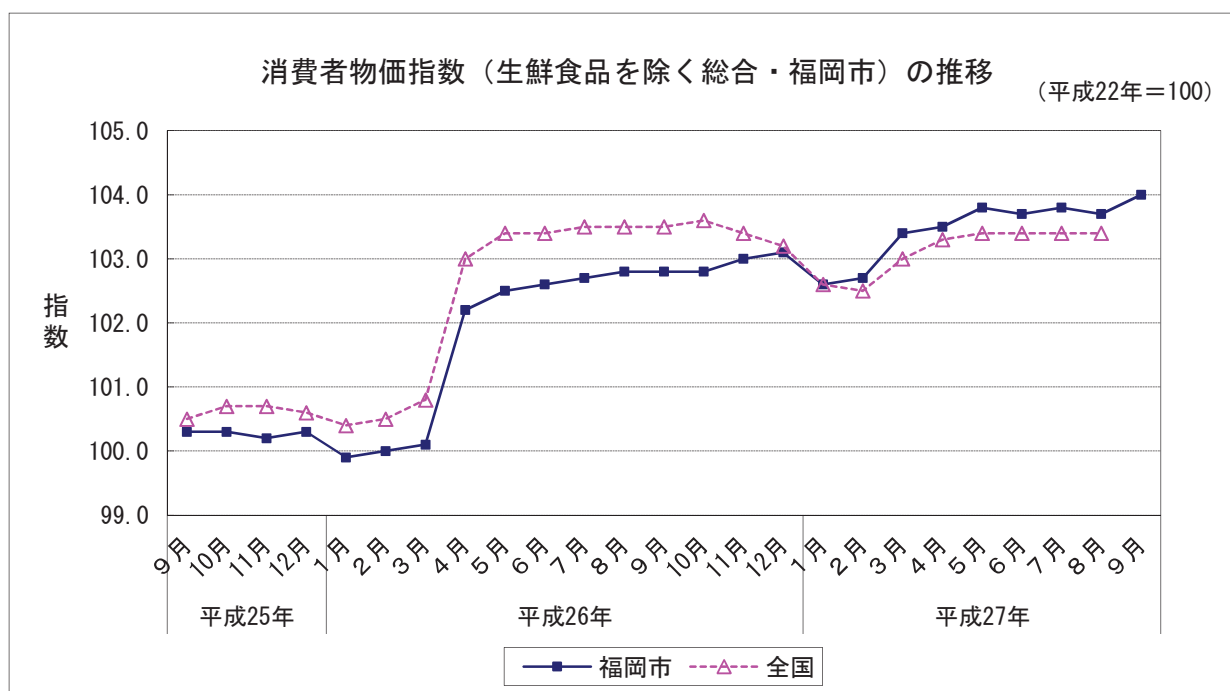
		消費者物価指数	前年同期比
平成25年	10~12月	100.3	0.6
平成26年 (2014)	1~3月	100.0	0.5
	4~6月	102.4	2.5
	7~9月	102.8	2.8
	10~12月	103.0	2.7
平成27年 (2015)	1~3月	102.9	2.9
	4~6月	103.7	1.3
	7~9月	103.8	1.0

(平成22年=100)

	消費者物価指数	前年比
平成24年(2012)	99.8	0.0
平成25年(2013)	99.9	0.1
平成26年(2014)	102.0	2.1

資料出所：福岡県調査統計課「消費者物価指数」

※消費者物価指数は福岡県はH23年7月、国は同6月公表分より基準改定を行い、平成22年=100となった。  
過去のデータも遡及して改定している。



# 物 価

## 2 企業物価指数（国内企業物価指数）（2015年10月）

（1）前年同月比：7か月連続のマイナス

（平成22年平均=100）

		指 数	前年同月比
平成26年 (2014)	10月	105.5	2.9
	11月	105.2	2.6
	12月	104.7	1.8
平成27年 (2015)	1月	103.3	0.3
	2月	103.3	0.5
	3月	103.5	0.7
	4月	103.6	▲ 2.1
	5月	103.8	▲ 2.2
	6月	103.6	▲ 2.4
	7月	103.3	▲ 3.1
	8月	102.7	▲ 3.6
	9月	102.1	▲ 4.0
	10月	p101.5	p▲ 3.8

（平成22年平均=100）

		指 数	前年同期比
平成25年	10~12月	102.6	2.5
	1~3月	102.9	2.0
平成26年 (2014)	4~6月	106.0	4.3
	7~9月	106.5	4.0
	10~12月	105.1	2.4
平成27年 (2015)	1~3月	103.3	0.4
	4~6月	103.7	▲ 2.2
	7~9月	102.7	▲ 3.6

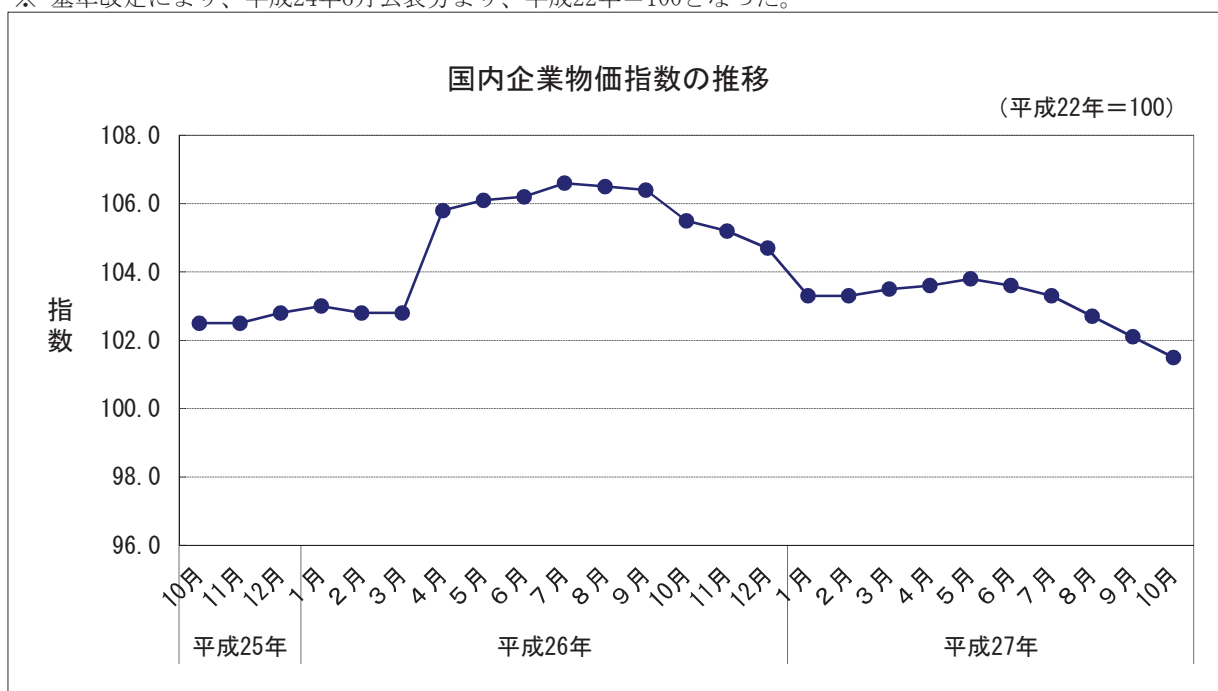
（平成22年平均=100）

	指 数	前年比
平成24年(2012)	100.6	▲ 0.9
平成25年(2013)	101.9	1.3
平成26年(2014)	105.1	3.1

資料出所：日本銀行「企業物価指数」

※ p は速報値

※ 基準改定により、平成24年6月公表分より、平成22年=100となった。



# 物 価

## 3 原油価格とガソリン価格

- (1) 原油価格 (ドバイ) (2015年10月) : 横ばい
- (2) 原油価格 (WTI) (2015年10月) : 2か月連続の上昇
- (3) ガソリン価格 (2015年10月) : 3か月連続の下落
- (4) 灯油価格 (2015年10月) : 4か月連続の下落

		原油価格(ドバイ)		原油価格(WTI)		ガソリン価格(福岡地区)		灯油価格(福岡地区)	
		ドル/バレル	前月差	ドル/バレル	前月差	円/リットル	前月差	円/18リットル	前月差
平成26年 (2014)	10月	86.91	▲ 10.03	84.34	▲ 8.66	164	▲ 3	1,895	▲ 19
	11月	76.28	▲ 10.63	75.81	▲ 8.53	160	▲ 5	1,839	▲ 56
	12月	60.98	▲ 15.30	59.29	▲ 16.52	153	▲ 7	1,755	▲ 84
平成27年 (2015)	1月	45.43	▲ 15.55	47.33	▲ 11.96	140	▲ 13	1,578	▲ 178
	2月	55.63	▲ 10.20	50.72	▲ 3.39	134	▲ 6	1,492	▲ 86
	3月	54.74	▲ 0.89	47.89	▲ 2.83	139	▲ 5	1,525	▲ 33
	4月	57.72	▲ 2.98	54.63	▲ 6.74	139	▲ 0	1,523	▲ 2
	5月	63.15	▲ 5.43	59.37	▲ 4.74	141	▲ 2	1,534	▲ 11
	6月	61.76	▲ 1.39	59.83	▲ 0.46	144	▲ 3	1,535	▲ 2
	7月	56.26	▲ 5.50	50.93	▲ 8.90	144	▲ 0	1,528	▲ 7
	8月	47.91	▲ 8.35	42.89	▲ 8.04	139	▲ 4	1,484	▲ 45
	9月	45.95	▲ 1.96	45.47	▲ 2.58	136	▲ 3	1,429	▲ 55
	10月	45.95	▲ 0.00	46.29	▲ 0.82	135	▲ 2	1,395	▲ 34

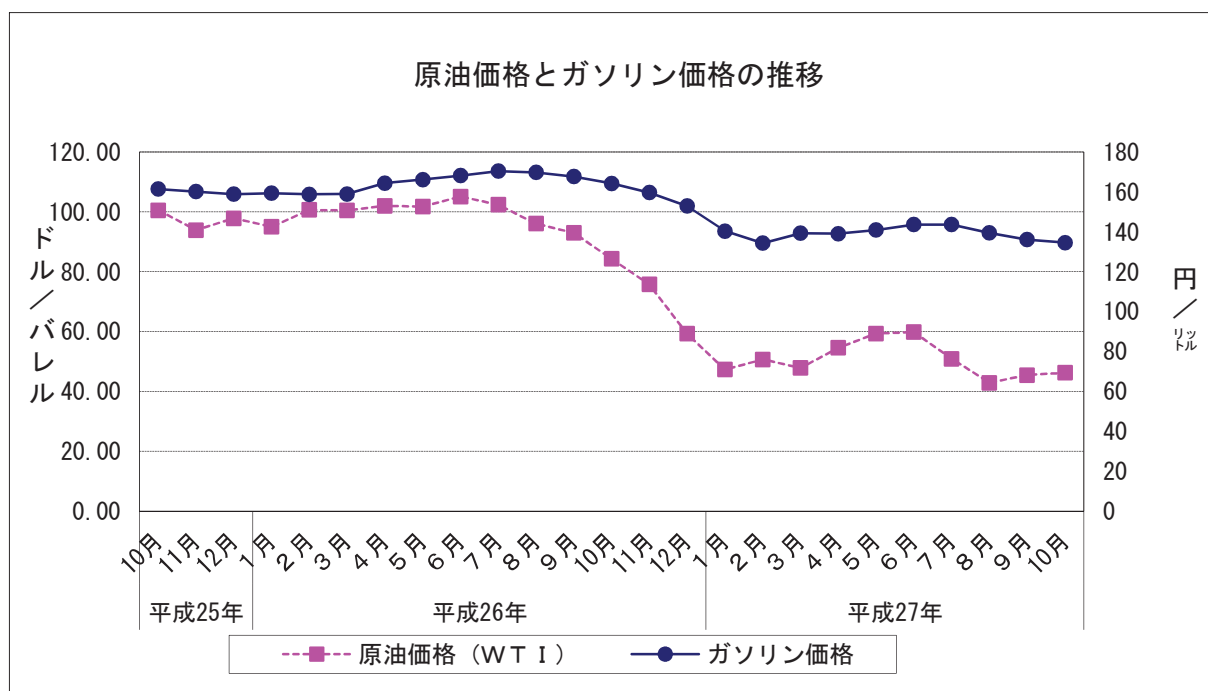
※ガソリン及び灯油価格は、H23.4月分より月次データが無くなったため、週次データを月毎に単純平均した。

それに伴い、過去のデータも修正した。

資料出所：資源エネルギー庁、日本経済新聞

※原油価格 (ドバイ) は、東京原油スポット市場の日々の終値を月毎に単純平均したもの。

※原油価格 (WTI) は、H20.5月からNY商品市場の日々の終値を月毎に単純平均したもの。



# 金融

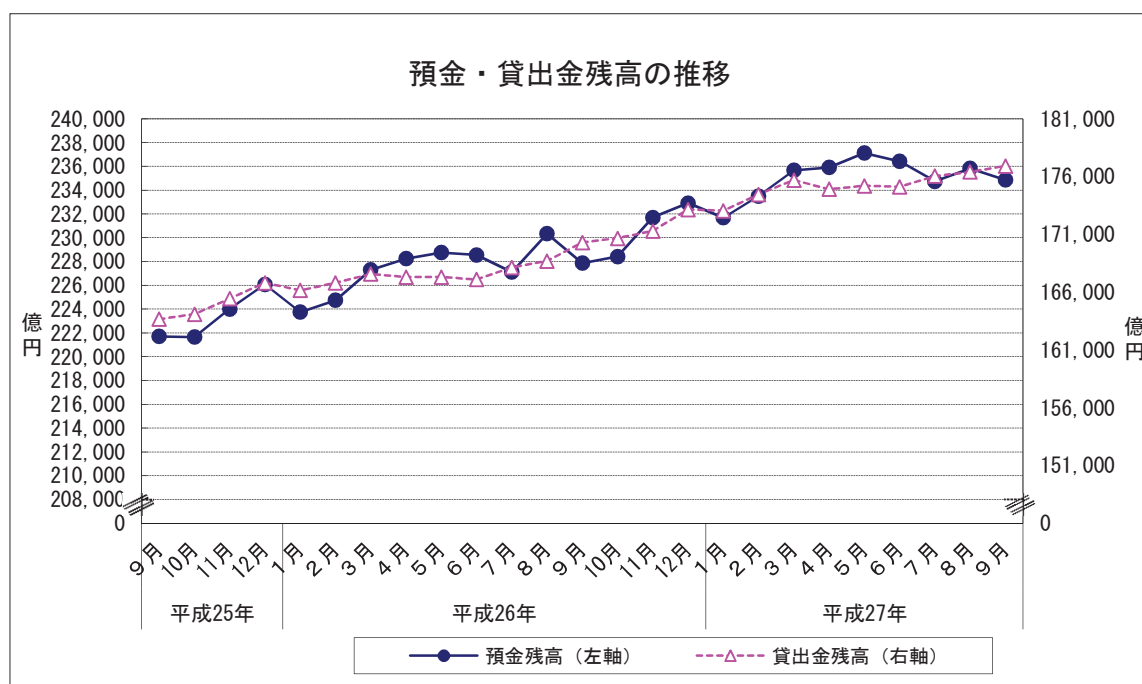
- 1 預金残高 (2015年9月)  
 (1) 前月比 : 2か月ぶりのマイナス  
 2 貸出金残高 (2015年9月)  
 (1) 前月比 : 3か月連続のプラス  
 (2) 前年同月比 : 61か月連続のプラス

		預金残高		貸出金残高		
		残高	前月比	残高	前月比	前年同月比
平成26年 (2014)	9月	227,866	▲ 1.07	170,294	0.95	4.05
	10月	228,414	0.24	170,652	0.21	4.00
	11月	231,704	1.44	171,291	0.37	3.54
	12月	232,909	0.52	173,144	1.08	3.80
平成27年 (2015)	1月	231,682	▲ 0.53	173,044	▲ 0.06	4.15
	2月	233,504	0.79	174,450	0.81	4.58
	3月	235,671	0.93	175,695	0.71	4.85
	4月	235,913	0.10	174,912	▲ 0.45	4.55
	5月	237,127	0.51	175,191	0.16	4.71
	6月	236,425	▲ 0.30	175,112	▲ 0.05	4.80
	7月	234,737	▲ 0.71	176,047	0.53	4.71
	8月	235,826	0.46	176,403	0.20	4.57
	9月	234,856	▲ 0.41	176,915	0.29	3.89

※預金残高、貸出金残高は国内銀行及び農業協同組合の合計

残高単位：億円

資料出所：日本銀行福岡支店、JA福岡信連



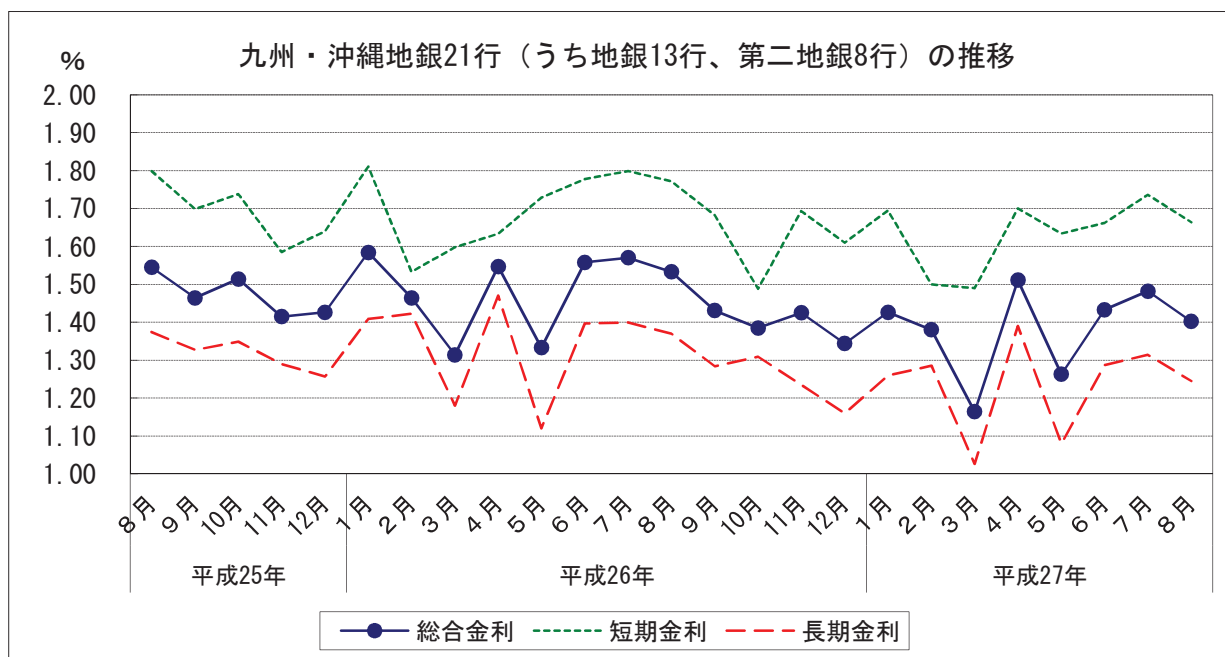
# 金融

## 3 金利(九州・沖縄地銀21行(うち地銀13行、第二地銀8行)貸出約定平均金利)(2015年8月)

- (1) 総合金利
  - ア 前月差： 3か月ぶりの下落
  - イ 前年同月差： 9か月連続の下落
- (2) 短期金利
  - ア 前月差： 3か月ぶりの下落
  - イ 前年同月差： 4か月連続の下落
- (3) 長期金利
  - ア 前月差： 3か月ぶりの下落
  - イ 前年同月差： 14か月連続の下落

		総合金利			短期金利			長期金利		
			前月差	前年同月差		前月差	前年同月差		前月差	前年同月差
平成26年 (2014)	8月	1.533	▲ 0.037	▲ 0.012	1.772	▲ 0.027	▲ 0.027	1.370	▲ 0.029	▲ 0.004
	9月	1.431	▲ 0.102	▲ 0.033	1.682	▲ 0.090	▲ 0.016	1.284	▲ 0.086	▲ 0.043
	10月	1.385	▲ 0.046	▲ 0.129	1.488	▲ 0.194	▲ 0.250	1.309	▲ 0.025	▲ 0.040
	11月	1.425	▲ 0.040	▲ 0.010	1.693	▲ 0.205	▲ 0.108	1.235	▲ 0.074	▲ 0.055
	12月	1.344	▲ 0.081	▲ 0.082	1.610	▲ 0.083	▲ 0.030	1.160	▲ 0.075	▲ 0.097
平成27年 (2015)	1月	1.426	▲ 0.082	▲ 0.158	1.695	▲ 0.085	▲ 0.116	1.259	▲ 0.099	▲ 0.150
	2月	1.380	▲ 0.046	▲ 0.084	1.500	▲ 0.195	▲ 0.033	1.285	▲ 0.026	▲ 0.137
	3月	1.164	▲ 0.216	▲ 0.150	1.490	▲ 0.010	▲ 0.108	1.026	▲ 0.259	▲ 0.154
	4月	1.511	▲ 0.347	▲ 0.036	1.700	▲ 0.210	▲ 0.067	1.390	▲ 0.364	▲ 0.080
	5月	1.263	▲ 0.248	▲ 0.070	1.634	▲ 0.066	▲ 0.095	1.079	▲ 0.311	▲ 0.041
	6月	1.433	▲ 0.170	▲ 0.125	1.662	▲ 0.028	▲ 0.116	1.287	▲ 0.208	▲ 0.110
	7月	1.482	▲ 0.049	▲ 0.088	1.736	▲ 0.074	▲ 0.063	1.314	▲ 0.027	▲ 0.085
	8月	1.402	▲ 0.080	▲ 0.131	1.664	▲ 0.072	▲ 0.108	1.245	▲ 0.069	▲ 0.125

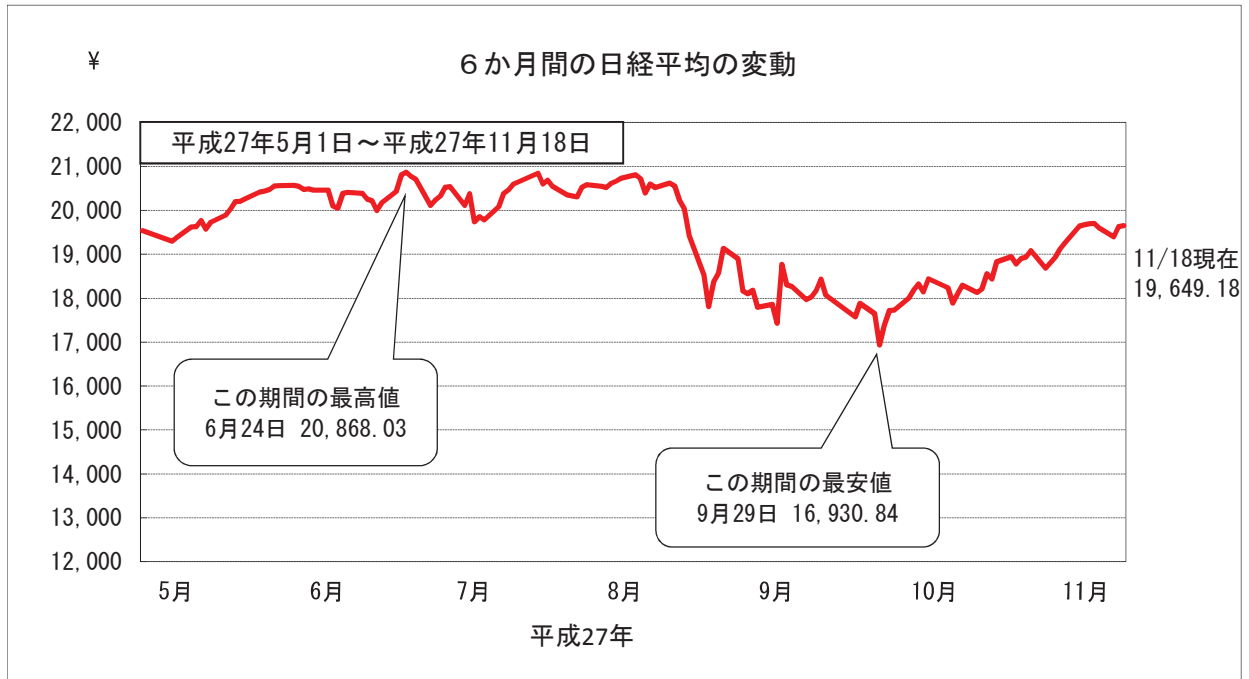
資料出所：日本銀行福岡支店「九州・沖縄地銀・第二地銀貸出約定平均金利」



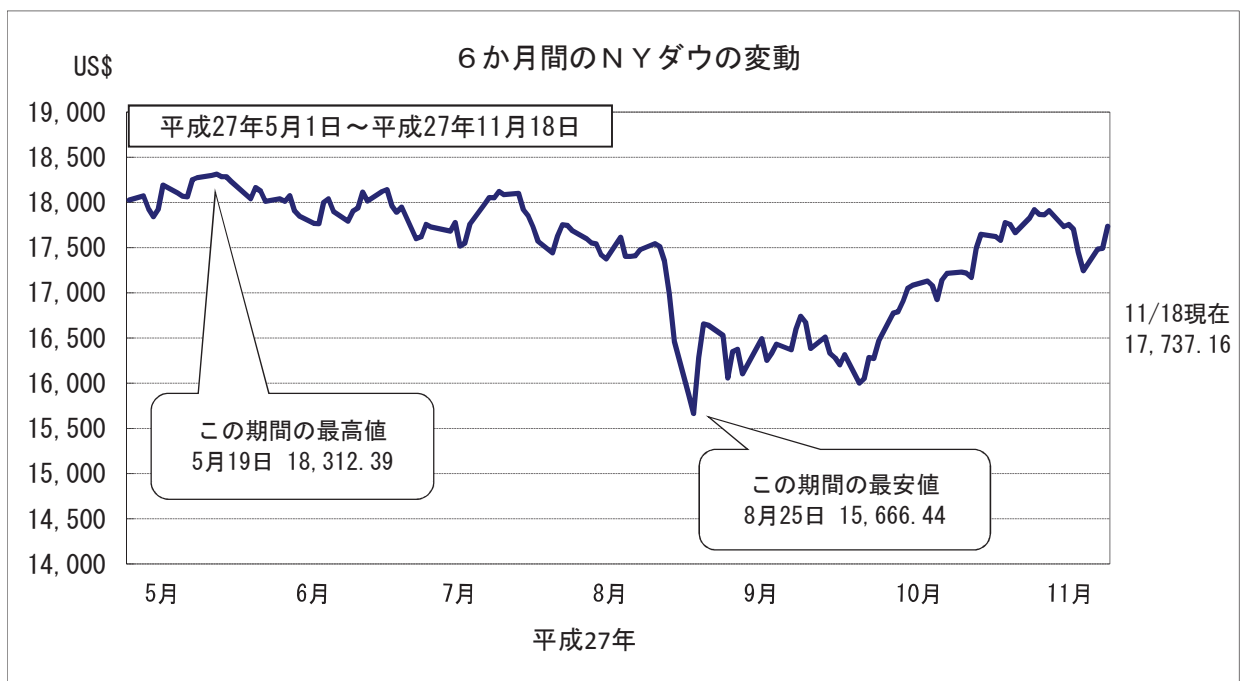
## 金融

### 4 株価の変動

(1) 株式相場（日経平均株価）は、このところ19,300～19,600円台で推移している。



※終値ベース



※終値ベース

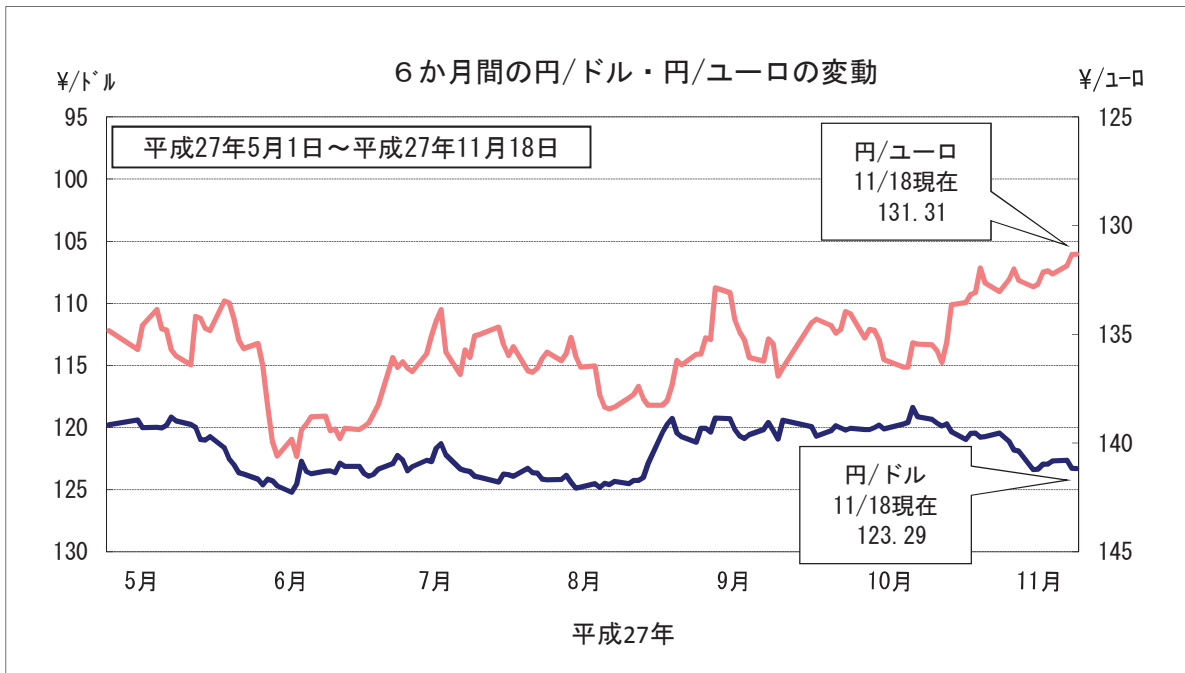
## 金融

### 5 為替の変動

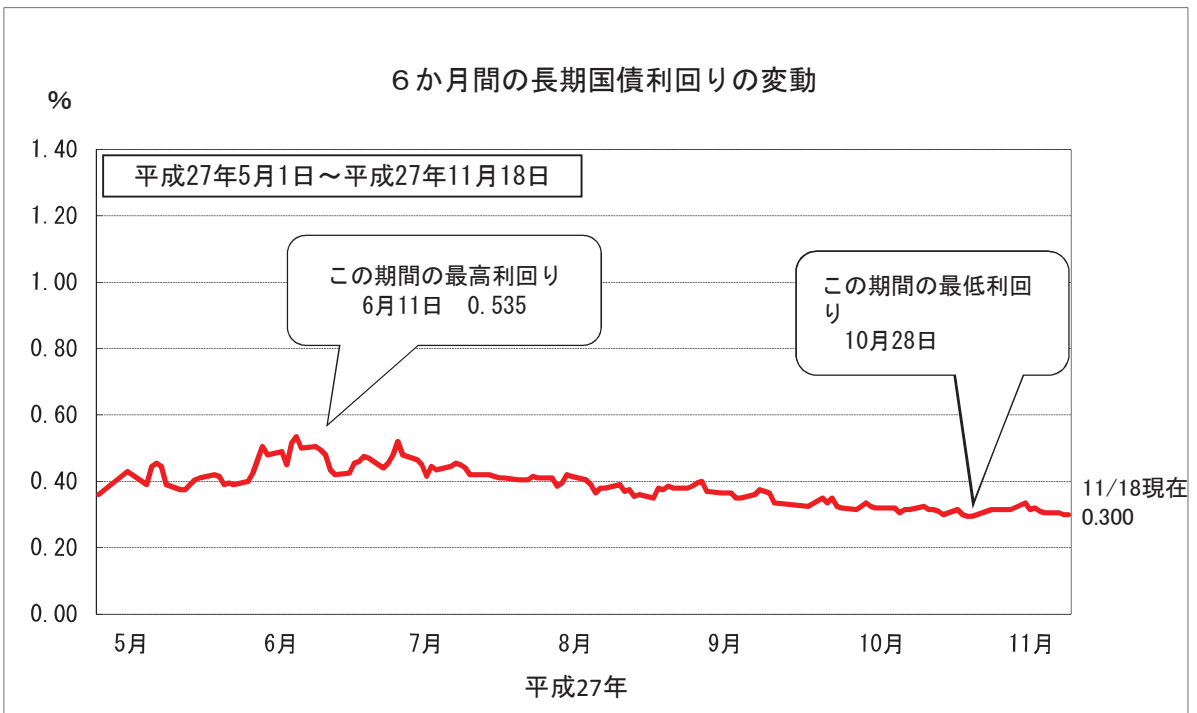
(1) 対米ドル円相場は、このところ122～123円台で推移している。

### 6 長期国債利回りの変動

(1) 長期金利は、このところ0.3%台で推移している。



※東京外為市場の買値終値ベース



新発10年国債利回り  
日本相互証券

## 景気動向指数

### 1 福岡県の景気動向指数（2015年8月）

- (1) 先行指数：2か月連続で50%を下回った。
- (2) 一致指数：2か月連続で50%を下回った。
- (3) 遅行指数：2か月ぶりに50%を上回った。

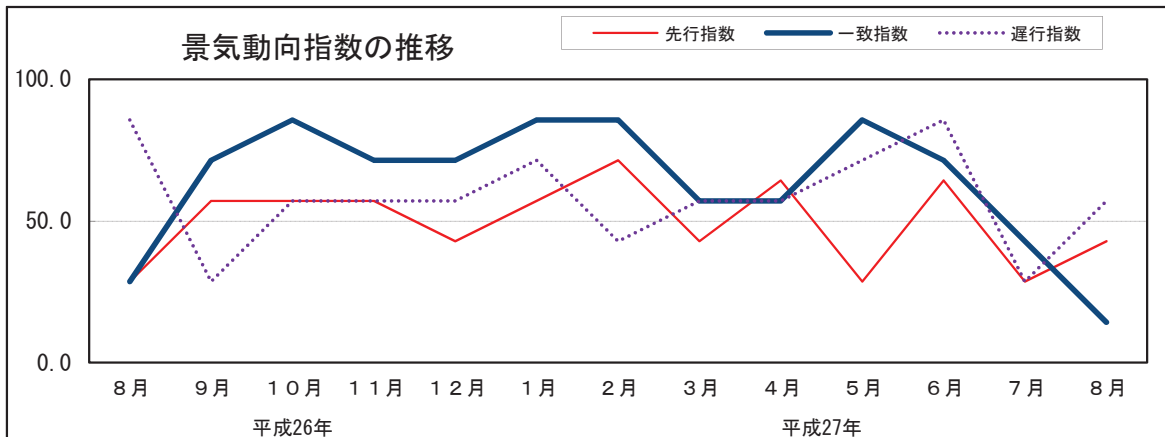
#### 福岡県

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成26年 (2014)	8月	28.6	28.6	85.7
	9月	57.1	71.4	28.6
	10月	57.1	85.7	57.1
	11月	57.1	71.4	57.1
	12月	42.9	71.4	57.1
平成27年 (2015)	1月	57.1	85.7	71.4
	2月	71.4	85.7	42.9
	3月	42.9	57.1	57.1
	4月	64.3	57.1	57.1
	5月	28.6	85.7	71.4
	6月	64.3	71.4	85.7
	7月	28.6	42.9	28.6
	8月	42.9	14.3	57.1

#### 全国

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成26年 (2014)	8月	54.5	30.0	55.6
	9月	54.5	75.0	50.0
	10月	36.4	80.0	27.8
	11月	54.5	60.0	55.6
	12月	45.5	50.0	55.6
平成27年 (2015)	1月	72.7	80.0	66.7
	2月	54.5	80.0	50.0
	3月	40.9	40.0	77.8
	4月	63.6	40.0	66.7
	5月	63.6	45.0	38.9
	6月	90.9	80.0	66.7
	7月	40.0	33.3	37.5
	8月	35.0	44.4	50.0

資料出所：福岡県調査統計課、内閣府「景気動向指数(DI)」



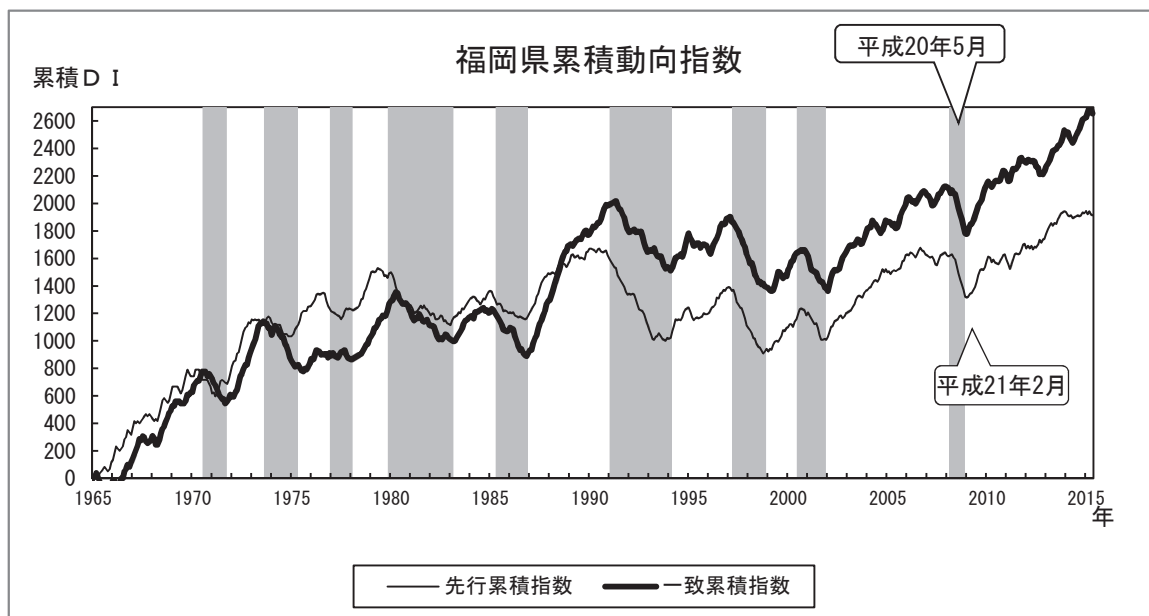
#### ○ 個別系列の変化方向

	プラスの指標（3か月前との比較）	マイナスの指標（3か月前との比較）
先行系列	△生産財生産指数 △新設住宅着工床面積 輸入通関実績	▼新規求人数 日経商品指数 乗用車新車登録台数 最終需要財在庫率指数
一致系列	有効求人倍率	所定外労働時間数<製造業> ▼鉱工業生産指数<総合> 電力使用量<大口> ▼鉱工業出荷指数<総合> スーパー販売額 輸出通関実績
遅行系列	△常用雇用指数<全産業> 鉱工業在庫指数<総合> △勤労者世帯消費支出（福岡市） 法人事業税調定額	雇用保険受給者実人員 消費者物価指数（福岡市） 地銀貸出約定平均金利

※△は前回のマイナス指標からプラス指標になったことを、▼はプラス指標からマイナス指標になったことを示す。  
※変化方向0は便宜上プラスとしている。

## 景気動向指数

### 2 福岡県の累積動向指数（1965年9月～2015年8月）



資料出所：福岡県調査統計課

#### （参考）累積景気動向指数（累積DI）

毎月公表している景気動向指数の月々の値を累積したものが累積景気動向指数（累積DI）です。累積（DI）はある基準年月（1965年4月）を0とし、次式により月々累積して求めています。

$$\text{累積DI（当該月分）} = \text{前月の累積DI} + (\text{当該月のDI} - 50)$$

累積DIは、基調的な動きをわかりやすく、視覚的にとらえやすいという利点をもっています。なお、グラフのシャドウ部分は、景気の後退期をあらわしています。

#### 福岡県の景気基準日付（景気の山、景気の谷）

谷	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
	昭和45年10月	昭和46年12月		14か月	
昭和46年12月	昭和48年11月	昭和50年7月	24か月	20か月	44か月
昭和50年7月	昭和52年3月	昭和53年4月	20か月	13か月	33か月
昭和53年4月	昭和55年2月	昭和58年5月	22か月	39か月	61か月
昭和58年5月	昭和60年7月	昭和62年2月	26か月	19か月	45か月
昭和62年2月	平成3年4月	平成6年5月	50か月	37か月	87か月
平成6年5月	平成9年6月	平成11年2月	37か月	20か月	57か月
平成11年2月	平成12年9月	平成14年2月	19か月	17か月	36か月
平成14年2月	平成20年5月	平成21年2月	75か月	9か月	84か月

#### （参考）景気基準日付

景気の拡張局面と景気の後退局面を分ける景気の転換点のことであり、景気動向指数の一致指数から作成されるヒストリカルDI（HDI）が50%を超える、もしくは切るときが景気の拡張局面と後退局面を分ける転換点となります。HDIが50%ラインを上から下に切るときが景気の「山」、下から上に切るときが景気の「谷」といわれています。

※HDI：通常使用している一致指数から不規則変動を除去したもの

地域経済動向の変遷

	26年11月	27年2月	27年5月	27年8月
北海道	→ 持ち直し基調が続いている	→ 持ち直し基調が続いている	→ 持ち直し基調が続いている	→ 持ち直し基調が続いている
東北	↓ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる
北関東	↓ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱さがみられる	↑ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる
南関東	↓ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ一部に弱さがみられる	↑ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている
東海	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている
北陸	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている
近畿	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている
中国	↓ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱さがみられる	↑ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる
四国	↓ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱さがみられる	↑ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いているが、一部に弱さがみられる
九州	↓ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱さがみられる	↑ 緩やかな回復基調が続いているが、このところ一部に弱さがみられる	→ 緩やかな回復基調が続いている	→ 緩やかな回復基調が続いている
沖縄	→ 着実に回復している	→ 着実に回復している	→ 着実に回復している	→ 着実に回復している

※ ↑ 上方修正 → 変更なし ↓ 下方修正

資料出所：内閣府「地域経済動向」

月例経済報告の変遷

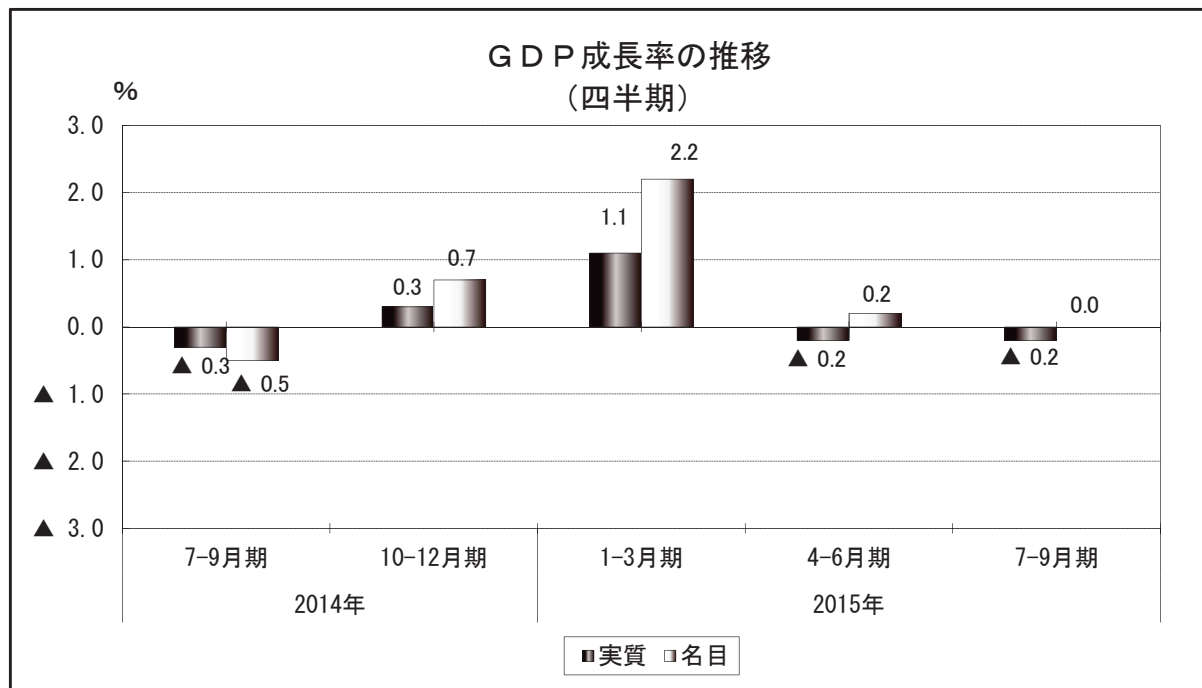
	平成27年	
	9月	10月
基 調 判 断	<p>景気は、このところ一部に<u>鈍い動き</u>もみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。</li> <li>・設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・輸出は、このところ弱含んでいる。</li> <li>・生産は、このところ<u>横ばい</u>になっている。</li> <li>・企業収益は、改善している。</li> </ul> <p>企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるもの、おおむね横ばいとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用情勢は、改善傾向にある。</li> <li>・消費者物価は、緩やかに上昇している。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある。</p>	<p>景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。</li> <li>・設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・輸出は、このところ弱含んでいる。</li> <li>・生産は、このところ弱含んでいる。</li> <li>・企業収益は、改善している。</li> </ul> <p>企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるもの、おおむね横ばいとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用情勢は、改善傾向にある。</li> <li>・消費者物価は、緩やかに上昇している。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある。</p>
個 人 消 費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	総じてみれば底堅い動きとなっている。
設 備 投 資	総じて持ち直しの動きが見られる。	総じて持ち直しの動きが見られる。
住 宅 建 設	持ち直している。	持ち直している。
公 共 投 資	総じて弱い動きとなっている。	総じて弱い動きとなっている。
輸 出 入	輸出は、このところ弱含んでいる。 輸入は、このところ弱含んでいる。	輸出は、このところ弱含んでいる。 輸入は、このところ弱含んでいる。
国 際 収 支	貿易・サービス収支の赤字は、おおむね横ばいとなっている。	貿易・サービス収支の赤字は、おおむね横ばいとなっている。
鉱 工 業 生産・出荷・在庫	生産は、このところ横ばいとなっている。	生産は、このところ弱含んでいる。
企 業 の 向	企業収益は、改善している。 企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるもの、おおむね横ばいとなっている。	企業収益は、改善している。 企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるもの、おおむね横ばいとなっている。
倒 産 件 数	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。
雇 用 情 勢	雇用情勢は、改善傾向にある。 完全失業率は、7月は前月から0.1ポイント低下し、3.3%となった。	雇用情勢は、改善傾向にある。 完全失業率は、8月は前月から0.1ポイント上昇し、3.4%となった。
政 策 態 度	<p>政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2015」、「『日本再興戦略』改訂2015」、「規制改革実施計画」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を着実に実行する。</p> <p>好調な企業収益を、政労使の取組等を通じて、設備投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。経済の脆弱な部分に的を絞る、かつスピード感を持って、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」及びそれを具体化する平成26年度補正予算を迅速かつ着実に実行するとともに、平成27年度予算を円滑かつ着実に実施する。</p> <p>日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。</p>	<p>政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2015」、「『日本再興戦略』改訂2015」、「規制改革実施計画」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を着実に実行する。</p> <p>好調な企業収益を、政労使の取組等を通じて、設備投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。また、少子高齢化といった構造的課題に取り組み、誰もがより活躍できる「一億総活躍」社会を実現するため、緊急に実施すべき対策を策定する。さらに、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉は10月5日に大筋合意に至った。今般の大筋合意を踏まえ、TPPを真に我が国の経済再生や地方創生に直結するものとするため、「TPP総合対策本部」において「総合的なTPP関連政策大綱（仮称）」を策定する。</p> <p>日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。</p>

(備考)下線部は、先月から変更した部分。

○2015(平成27)年7～9月期四半期別GDP速報(1次速報値)

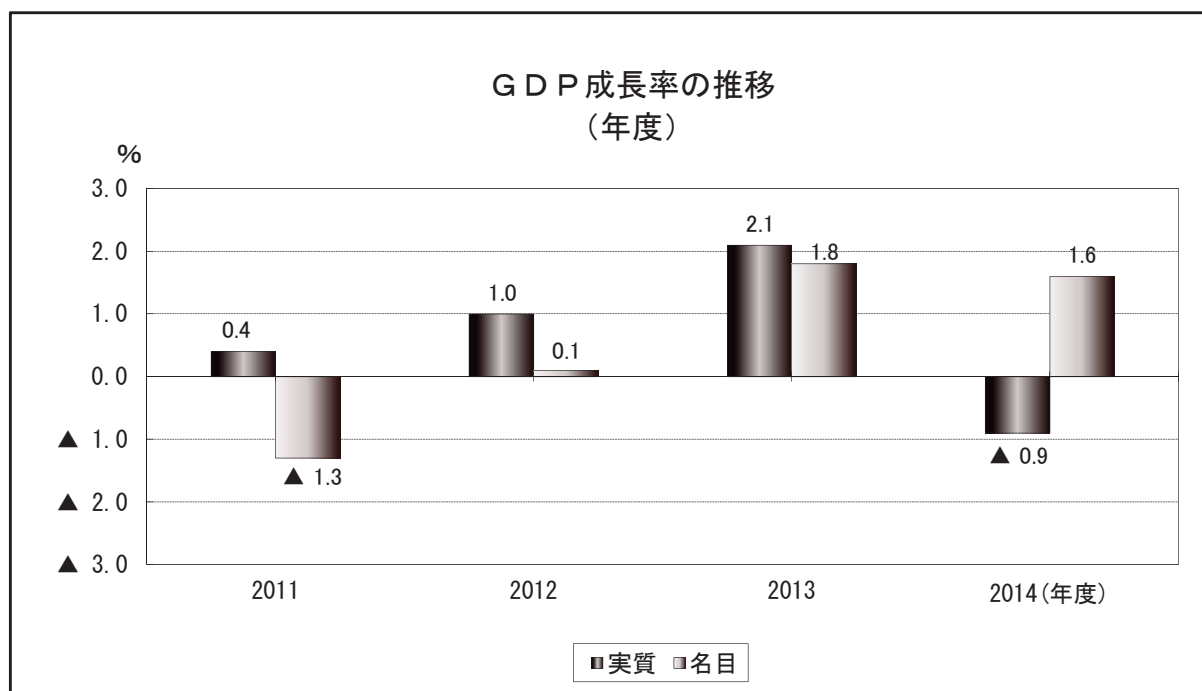
・GDP成長率(季節調整済前期比)

2015年7～9月期の実質GDP(国内総生産・2005暦年連鎖価格)の成長率は、▲0.2%(年率▲0.8%)となった。また、名目GDPの成長率は、0.0%(年率0.1%)となった。



・2014年度のGDP

2014年度の実質GDP成長率は▲0.9%、名目GDP成長率は1.6%となった。



○平成27年度の政府経済見通し（主要経済指標）

	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績見込み)	平成27年度 (見通し)	対前年度比増減率					
				平成25年度		平成26年度		平成27年度	
				% (名目)	% (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)
国内総生産	483.1	491.4	504.9	1.8	2.1	1.7	▲ 0.5	2.7	1.5
民間最終消費支出	296.5	295.3	303.5	2.7	2.5	▲ 0.4	▲ 2.7	2.8	2.0
民間住宅	15.9	14.6	14.9	12.5	9.3	▲ 7.8	▲ 10.7	1.9	1.5
民間企業設備	68.2	69.6	73.3	4.9	4.0	2.2	1.2	5.3	5.3
民間在庫品増加 ( )内は寄与度	▲ 3.9	▲ 1.5	▲ 1.5	(▲ 0.5)	(▲ 0.5)	(0.5)	(0.4)	(▲ 0.0)	(▲ 0.0)
財貨・サービスの輸出	80.0	87.2	93.8	13.6	4.7	9.0	6.0	7.5	5.2
(控除)財貨・サービスの輸入	95.9	100.8	103.6	18.7	6.7	5.1	2.5	2.8	3.9
内需寄与度				3.0	2.6	1.2	▲ 1.0	2.0	1.4
民間寄与度				2.2	1.8	0.3	▲ 1.3	2.5	2.0
公需寄与度				0.8	0.8	0.9	0.3	▲ 0.5	▲ 0.6
外需寄与度				▲ 1.2	▲ 0.5	0.5	0.5	0.8	0.1
国民総所得	501.1	511.7	526.9	2.3	2.0	2.1	▲ 0.2	3.0	2.1
労働・雇用	万人	万人程度	万人程度		%		%程度		%程度
労働力人口	6,578	6,589	6,596		0.3		0.2		0.1
就業者数	6,322	6,354	6,364		0.7		0.5		0.2
雇用者数	5,564	5,601	5,617		1.0		0.7		0.3
完全失業率	% 3.9	%程度 3.6	%程度 3.5						
生産	%	%程度	%程度						
鉱工業生産指数・増減率	3.2	▲ 0.5	2.7						
物価	%	%程度	%程度						
国内企業物価指数・変化率	1.9	3.1	▲ 1.0						
消費者物価指数・変化率	0.9	3.2	1.4						
GDPデフレーター・変化率	▲ 0.3	2.2	1.2						
国際収支	兆円	兆円程度	兆円程度		%		%程度		%程度
貿易・サービス収支	▲ 14.4	▲ 11.7	▲ 8.2						
貿易収支	▲ 11.0	▲ 8.3	▲ 4.8						
輸出	69.8	74.5	80.9		12.2		6.8		8.6
輸入	80.8	82.8	85.7		19.7		2.5		3.5
経常収支	0.8	5.1	10.2						
経常収支対名目GDP比	% 0.2	%程度 1.0	%程度 2.0						

(注1) 消費者物価指数は総合である。

(注2) 消費税率上げの影響を機械的に除いて試算すると、平成26年度の消費者物価指数・変化率は1.2%程度、GDPデフレーター変化率は0.8%程度と見込まれる。

- ※ 本経済見通しに当たっては、「2. 平成27年度の経済財政運営の基本的態度」に記された経済財政運営を前提としている。
- ※ 世界GDP（日本を除く）、円相場、原油輸入価格については、以下の前提を置いている。なお、これらは、作業のための想定であって、政府としての予測あるいは見通しを示すものではない。

	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度
世界GDP（日本を除く）の 実質成長率（%）	3.0	3.1	3.6
円相場（円/ドル）	100.2	109.9	118.7
原油輸入価格（ドル/バレル）	109.6	94.5	69.3

(備考)

1. 世界GDP（日本を除く）の実質成長率は、国際機関等の経済見通しを基に算出。
2. 円相場は、平成26年11月25日～平成26年12月19日の期間の平均値（118.7円/ドル）で同年12月20日以後一定と想定。
3. 原油輸入価格は、平成26年11月25日～平成26年12月19日の期間のスポット価格の平均値に運賃、保険料を付加した値（69.3ドル/バレル）で同年12月20日以後一定と想定。

- ※ 我が国経済は民間活動がその主体をなすものであること、また、特に国際環境の変化には予見しがたい要素が多いことに鑑み、上記の諸計数はある程度幅を持って考えられるべきものである。

資料：内閣府「平成27年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（平成27年1月12日閣議了解）」

○ 海外主要国の経済成長率の見通し

○ IMFの世界経済見通し（平成27年10月6日発表）

	2015年予測	2016年予測
日本	0.6	1.0
米国	2.6	2.8
ユーロ圏	1.5	1.6
中国	6.8	6.3
世界計	3.1	3.6

注) 単位：％、実質GDP成長率の前年比。

○ OECDの世界経済見通し（平成27年11月9日発表）

	2014年予測	2015年予測	2016年予測	2017年予測
日本	▲ 0.1	0.6	1.0	0.5
アメリカ	2.4	2.4	2.5	2.4
ユーロ圏	0.9	1.5	1.8	1.9
世界計	3.3	2.9	3.3	3.6

注) 単位：％、実質GDP成長率の前年比

○ アジア開発銀行のアジア大洋州主要国・地域別の経済成長見通し

（平成27年9月22日発表）

	2015年予測	2016年予測
地域全体	5.8	6.0
中国	6.8	6.7
香港	2.4	2.7
韓国	2.7	3.4
台湾	1.6	2.6
インド	7.4	7.8
インドネシア	4.9	5.4
マレーシア	4.7	4.9
フィリピン	6.0	6.3
シンガポール	2.1	2.5
タイ	2.7	3.8
ベトナム	6.5	6.6

注) 単位：％、実質GDPの前年比伸び率

○ 日銀の経済見通し

（平成27年10月30日公表「経済・物価情勢の展望」）

—対前年度比、％。なお、<>内は政策委員見通しの中央値。

	2015年度		2016年度		2017年度	
	7月時点		7月時点		7月時点	
実質GDP 大勢見通し	+0.8～+1.4	+1.5～+1.9	+1.2～+1.6	+1.5～+1.7	+0.1～+0.5	+0.1～+0.5
	< +1.2 >	< +1.7 >	< +1.4 >	< +1.5 >	< +0.3 >	< +0.2 >

注1) 「大勢見通し」は、各政策委員が最も蓋然性の高いと考える見通しの数値について、最大値と最小値を1個ずつ除いて、幅で示したものであり、その幅は、予測誤差などを踏まえた見通しの上限・下限を意味しない。

2) 各政策委員は、既に決定した政策を前提として、また先行きの政策運営については市場の織り込みを参考にして、上記の見通しを作成している。

3) 原油価格（ドバイ）については、1バレル50ドルを出発点に、見通し期間の終盤にかけて、60ドル前半に緩やかに上昇していくと想定している。その場合の消費者物価（除く生鮮食品）の前年比に対するエネルギー価格の寄与度は、2015年度で-0.9%ポイント程度、2016年度で-0.2%ポイント程度と試算される。また、寄与度は、2016年入り後マイナス幅縮小に転じ、2016年度後半には概ねゼロになると試算される。

4) 今回の見通しでは、消費税率について、2017年4月に10%に引き上げられることを前提としているが、各政策委員は、消費税率引き上げの直接的な影響を除いた消費者物価の見通し計数を作成している。消費税率引き上げの影響を含む2017年度の消費者物価の見通しは、税率引き上げが現行の課税目品すべてにフル転嫁されることを前提に、物価の押し上げ寄与を機械的に計算した上で（+1.3%ポイント）、これを政策委員の見通し計数に足し上げたものである。

主要経済指標の国際比較(1)

国・地域名	人口 (万人)	名目GDP (10億ドル)	1人当たりGDP (1,000ドル)	実質GDP成長率(%)					鉱工業生産(%)					失業率(%)				
				2014年	2013年	2014年	15年		2013年	2014年	15年			2013年	2014年	15年		
							4-6月	7-9月			4-6月	7-9月	7月			8月	9月	7月
日本	12,706	4,770	37.5	1.6	▲0.1	▲1.2	▲0.8	2.1	▲1.5	▲0.8	▲0.5	前期比	4.0	3.6	7月	8月	9月	備考
アメリカ	31,852	17,416	54.7	1.5	2.4	3.9	1.9	3.7	▲0.7	0.9	▲0.4	前期比	7.4	6.2	5.3	5.1	5.1	
カナダ	3,547	1,794	50.6	2.0	2.4	▲0.5	2.6	4.1	▲2.5	1.2		前期比	7.1	6.9	6.8	7.0		
ユーロ圏	33,257	13,241	39.8	▲0.4	0.8	1.4	▲0.7	0.8	▲0.2	0.6		前期比	12.0	11.6	11.0	11.0		
ドイツ	8,094	3,820	47.2	0.3	1.6	1.8	0.2	1.3	0.5	1.0	▲1.1	前期比	5.2	5.0	4.6	4.5		
フランス	6,395	2,902	45.4	0.7	0.2	0.0	▲0.6	▲1.1	▲0.7	▲0.8		前期比	10.3	10.3	10.7	10.8		
イタリア	5,996	2,129	35.5	▲1.7	▲0.4	1.3	▲3.1	▲0.5	0.6	1.1		前期比	12.1	12.7	12.0	11.9		
スペイン	4,651	1,400	30.1	▲1.2	1.4	4.0	▲1.6	1.2	1.8	0.6	▲1.7	前期比	26.1	24.4	22.3	22.2		
英国	6,451	2,848	44.1	2.2	2.9	2.6	▲0.8	1.4	0.7	▲0.4	1.0	前期比	7.2	5.7	5.5			後3か月平均
スイス	805	679	84.3	1.8	1.9	0.2	1.1	1.5	▲1.9			前年比	3.2	3.2	3.3	3.3	3.4	
ロシア	14,370	2,057	14.3	1.3	0.6	▲4.6	0.4	1.6	▲4.8	▲4.7	▲4.3	前年比	5.5	5.2	5.3	5.3		
オーストラリア	2,360	1,483	62.8	2.0	2.7	0.2	2.3	4.6	▲1.2			四半期のみ 前年比	5.7	6.1	6.3	6.2		
中国	136,752	10,355	7.6	7.7	7.3	7.0	9.7	8.3	6.3	6.0	6.1	前年比	4.05	4.09	-	-		期末値
韓国	5,044	1,449	28.7	2.9	3.3	1.3	0.7	0.1	▲1.0	▲0.5	0.5	前期比	3.1	3.5	3.7	3.6		
台湾	2,343	505	21.6	2.2	3.8	▲6.6	0.7	6.4	▲4.0	▲0.7	▲1.7	前期比	4.2	4.0	3.74	3.74		
香港	726	293	40.3	2.9	2.3	1.6	0.1	▲0.4	▲1.3			四半期のみ	3.3	3.2	3.3	3.3		
シンガポール	547	298	55.2	4.4	2.9	▲4.0	1.7	2.7	▲3.3	1.0		前年比	1.9	2.0	-	-		四半期のみ
インドネシア	25,149	856	3.4	5.6	5.0	4.7	6.0	4.8	5.5	5.7		前年比	6.3	5.9	-	-		原数値
マレーシア	3,046	337	11.1	4.7	6.0	4.9	3.4	5.1	1.0	▲0.1		前年比	3.1	2.9	-	-		15.8.11Rのみ
フィリピン	9,943	290	2.9	7.1	6.1	7.6	5.4	6.2	▲7.4	▲7.0	▲4.6	前年比	7.0	7.2	-	-		四半期のみ
タイ	6,855	387	5.7	2.8	0.9	1.5	▲3.2	▲4.6	▲7.6	▲5.3		前年比	0.7	0.8	1.0			原数値
ベトナム	9,063	188	2.1	5.4	6.0	6.3	6.2	6.5	9.4	10.4	11.3	前年比	3.6	3.4	-	-		暦年のみ
インド	125,970	2,048	1.6	6.9	7.3	7.0	▲0.1	2.8	3.3	4.1	6.4	前年比	-	-	-	-		
ブラジル	20,277	2,244	11.1	2.7	0.1	▲2.6	2.1	▲3.0	▲6.5	▲9.0	▲9.0	前年比	5.4	4.8	7.5	7.6		原数値
メキシコ	11,958	1,296	10.8	1.4	2.1	2.2	▲0.5	1.8	0.6	0.7		前年比	4.9	4.8	4.3			原数値
アルゼンチン	4,196	536	12.8	3.0	0.5	2.3	▲0.1	▲2.5	▲0.5	0.7	0.5	前年比	7.1	7.3	-	-		四半期のみ
トルコ	7,732	813	10.5	4.2	2.9	3.8	6.9	4.4	3.7	1.5	8.5	前年比	9.1	10.0				原数値
サウジアラビア	3,062	778	25.4	2.7	3.6	3.8	-	-	-			前年比	11.7	11.7				
南アフリカ	5,370	341	6.4	2.2	1.5	▲0.3	1.3	▲0.1	▲1.7	5.3	0.6	前年比	24.7	25.1				暦年のみ

(備考) 1. 各国統計より作成。人口、名目GDP、1人当たりGDPについてはIMFより作成。

2. インドは年度(4月~3月)の数値。

3. GDP、鉱工業生産の前月(期)比、失業率は特に断りのない限り季節調整値。

(出所)内閣府「月例経済報告主要経済指標」

主要経済指標の国際比較(2)

国・地域名	消費者物価(前年比%)										一般政府財政収支(名目GDP比%)		一般政府債務残高(名目GDP比%)		経常収支(名目GDP比%)		IMF, 2015年10月		OECD, 2015年6月			
	2013年		2014年		15年						2013年		2014年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	1-3月	4-6月	7-9月	7月	8月	9月	7月	8月	9月	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2015年	2016年	2015年	2016年			
日本	0.4	2.7	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	▲ 8.5	▲ 7.3	243.2	245.1	0.7	1.0	0.6	1.0	0.7	1.4		
アメリカ	1.5	1.6	▲ 0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	▲ 4.7	▲ 4.1	104.2	105.6	▲ 2.4	▲ 2.5	2.6	2.8	2.0	2.8		
カナダ	0.9	1.9	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	▲ 2.7	▲ 1.6	88.8	88.1	▲ 3.2	▲ 2.7	2.2	2.0	1.5	2.3		
ユーロ圏	1.3	0.4	▲ 0.3	0.2	0.1	▲ 0.1	0.2	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 2.9	▲ 2.4	95.2	96.4	2.4	2.0	1.5	1.6	1.4	2.1		
ドイツ	1.5	0.9	0.1	0.5	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	78.4	75.5	7.0	6.2	1.6	1.7	1.6	2.3		
フランス	0.9	0.5	▲ 0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	▲ 4.1	▲ 4.0	91.8	95.2	▲ 1.3	▲ 1.4	1.2	1.5	1.1	1.7		
イタリア	1.2	0.2	▲ 0.3	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	▲ 2.9	▲ 3.0	132.5	136.7	1.0	1.2	0.5	1.1	0.6	1.5		
スペイン	1.4	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.9	0.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 6.8	▲ 5.8	93.9	98.6	0.8	0.1	2.5	2.0	2.0	2.9	2.8		
英国	2.6	1.5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	▲ 5.7	▲ 5.7	90.6	92.0	▲ 4.5	▲ 4.2	2.7	2.3	2.4	2.3		
スウェーデン	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 0.1	48.3	47.2	16.0	13.0	0.8	1.2	0.8	0.8	1.7		
ロシア	6.8	7.8	16.2	15.8	15.7	15.7	15.6	15.7	15.7	▲ 1.3	▲ 1.2	13.9	15.7	1.6	2.7	▲ 3.8	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 3.1	0.8		
オーストラリア	2.4	2.5	1.3	1.5	-	-	-	-	-	▲ 2.8	▲ 2.8	28.6	30.6	▲ 3.3	▲ 3.7	2.8	3.2	2.3	2.3	2.9		
中国	2.6	2.0	1.2	1.4	1.6	2.0	1.6	2.0	2.0	▲ 1.1	▲ 1.2	39.4	40.7	1.9	1.8	6.8	6.3	6.8	6.8	6.7		
韓国	1.3	1.3	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	0.8	33.9	35.4	6.1	5.8	3.3	3.5	3.0	3.6		
台湾	0.8	1.2	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.4	0.3	1.1	3.8	6.7	6.5	6.5	1.9	2.1	3.8	4.1	-	-		
香港	4.3	4.4	4.4	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	▲ 3.2	▲ 2.7	41.1	40.0	11.7	11.9	2.8	3.1	-	-	-		
シンガポール	2.4	1.0	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	5.5	3.3	103.5	103.1	18.3	17.6	3.0	3.0	-	-	-		
インドネシア	6.4	6.4	6.5	7.1	7.3	7.2	7.3	7.2	7.2	▲ 2.0	▲ 2.1	26.1	26.2	▲ 3.3	▲ 3.2	5.2	5.5	4.9	4.9	5.5		
マレーシア	2.1	3.1	0.7	2.1	3.3	3.1	3.3	3.1	3.1	▲ 4.3	▲ 3.6	57.7	56.6	3.9	4.3	4.8	4.9	-	-	-		
フィリピン	2.9	4.2	2.4	1.7	0.6	0.6	0.8	0.6	0.4	0.2	0.9	39.1	36.3	3.5	3.2	6.7	6.3	-	-	-		
タイ	2.2	1.9	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 1.2	0.4	▲ 0.8	45.9	47.9	▲ 0.6	2.9	3.7	4.0	-	-	-		
ベトナム	6.6	4.1	0.7	1.0	0.5	0.6	0.9	0.6	▲ 0.0	▲ 7.4	▲ 6.1	51.6	54.8	5.6	4.1	6.0	5.8	-	-	-		
インド	10.1	5.9	5.3	5.1	3.9	3.7	3.7	3.7	4.4	▲ 7.6	▲ 7.0	61.5	60.5	▲ 1.7	▲ 2.1	7.5	7.5	6.9	6.9	7.6		
ブラジル	6.2	6.3	7.7	8.5	9.6	9.5	9.6	9.5	9.5	▲ 3.1	▲ 6.2	66.2	65.8	▲ 3.6	▲ 3.5	▲ 1.0	1.0	-0.8	-0.8	1.1		
メキシコ	3.8	4.0	3.1	2.9	2.7	2.6	2.7	2.6	2.6	▲ 3.7	▲ 4.6	46.4	48.0	▲ 2.1	▲ 1.9	3.0	3.3	2.9	2.9	3.5		
アルゼンチン	10.9	-	-	-	14.8	-	14.8	-	-	▲ 2.8	▲ 4.5	41.0	48.9	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.3	0.1	-	-	-		
トルコ	7.4	8.2	7.5	7.7	7.3	8.0	6.8	7.1	8.0	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 7.9	▲ 5.8	3.1	3.6	3.1	3.1	3.9		
サウジアラビア	3.5	2.7	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	2.1	2.1	8.7	5.2	2.7	2.6	17.7	15.1	3.0	2.7	-	-	-		
南アフリカ	5.7	6.1	4.1	4.6	5.0	4.6	5.0	4.6	4.6	▲ 4.4	▲ 4.9	45.2	47.9	▲ 5.8	▲ 5.7	2.0	2.1	1.9	1.9	2.2		

(備考) 1. 各国統計より作成。ただし、一般政府財政収支、一般政府債務残高については特に断りのない限りIMFより作成。

2. 日本の財政収支及び債務残高のカッコ内は、国・地方合計の年度(4月~3月)の値。内閣府「中長期の経済財政に関する試算」より作成。

3. インドは年度(4月~3月)の値。

4. アルゼンチンの14年1月以降の消費者物価は、新指標公表により13年と連続せず。数値は前月比のみ公表。

(出所)内閣府「月例経済報告主要経済指標」

(参考)国際機関の実質GDP見通し(%)

国・地域名	IMF, 2015年10月		OECD, 2015年6月	
	2015年	2016年	2015年	2016年
日本	0.6	1.0	0.7	1.4
アメリカ	2.6	2.8	2.0	2.8
カナダ	2.2	2.0	1.5	2.3
ユーロ圏	1.5	1.6	1.4	2.1
ドイツ	1.6	1.7	1.6	2.3
フランス	1.2	1.5	1.1	1.7
イタリア	0.5	1.1	0.6	1.5
スペイン	2.5	2.0	2.9	2.8
英国	2.7	2.3	2.4	2.3
スウェーデン	0.8	1.2	0.8	1.7
ロシア	▲ 3.8	▲ 1.1	-3.1	0.8
オーストラリア	2.8	3.2	2.3	2.9
中国	6.8	6.3	6.8	6.7
韓国	3.3	3.5	3.0	3.6
台湾	3.8	4.1	-	-
香港	2.8	3.1	-	-
シンガポール	3.0	3.0	-	-
インドネシア	5.2	5.5	4.9	5.5
マレーシア	4.8	4.9	-	-
フィリピン	6.7	6.3	-	-
タイ	3.7	4.0	-	-
ベトナム	6.0	5.8	-	-
インド	7.5	7.5	6.9	7.6
ブラジル	▲ 1.0	1.0	-0.8	1.1
メキシコ	3.0	3.3	2.9	3.5
アルゼンチン	▲ 0.3	0.1	-	-
トルコ	3.1	3.6	3.1	3.9
サウジアラビア	3.0	2.7	-	-
南アフリカ	2.0	2.1	1.9	2.2

(出所)IMF“World Economic Outlook”(15年10月)、

OECD“Economic Outlook 97”(15年6月)

「県内経済の動向」データ一覧

			入手先
生産	(1～5)	鉱工業指数	県：調査統計課「鉱工業指数」 全国：経済産業省「生産・出荷・在庫指数確報」
	(7, 8)		
	(6)	四輪自動車生産台数(九州)	九州経済産業局
	(9)	大口電力使用量	県：九州電力(株)「販売電力量実績」 全国：電気事業連合会「大口電力主要業種実績(確報)」
	(10)	所定外労働時間(製造業)	県：調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」 全国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」
貿易	(1～6)	通関データ	門司税関、長崎税関「貿易統計」
設備投資	(1)	法人企業景気予測調査	財務省福岡財務支局調査結果
	(2)	建築着工	国土交通省「建築着工統計調査」
	(3)	企業短期経済観測調査(九州・沖縄)	日本銀行福岡支店調査結果
	(4)	九州地域設備投資動向	日本政策投資銀行調査結果
企業景況	(1)	法人企業景気予測調査	財務省福岡財務支局調査結果
	(2)	中小企業景況調査	中小企業基盤整備機構調査結果
	(3)	福岡県中小企業動向調査(小企業編)	日本政策金融公庫福岡支店調査結果
	(4)	九州の経営動向調査	(株)西日本シティ銀行調査結果
	(5)	企業短期経済観測調査(九州・沖縄)	日本銀行福岡支店調査結果
企業収益	(1)	企業短期経済観測調査(九州・沖縄)	日本銀行福岡支店調査結果
企業倒産	(1, 2)	倒産データ	東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況(負債1,000万円以上)」
消費	(1)	二人以上世帯消費支出(除く自動車等購入等)	総務省「家計調査」
	(2)	二人以上世帯サービス支出額(九州)	
	(3)	小売業販売額(全国・九州)	
	(4)	百貨店販売額	経済産業省「商業動態統計」
	(5)	スーパー販売額	
	(6)	コンビニエンス・ストア販売額(九州・沖縄)	
	(7, 8)	新車登録台数	
	(9)	旅行業取扱額	普通車・小型車：福岡県自動車販売店協会 軽自動車：福岡県軽自動車協会
	(10)	インターネットを利用した支出状況(九州・沖縄)	九州運輸局、観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」 総務省「家計消費状況調査」
	雇用	(1)	求人・求職状況
(2)		きまって支給する給与	県：調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」
(3)		就業状態	総務省「労働力調査」
(4)		雇用保険被保険者数	厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」
住宅投資	(1, 2)	新設住宅着工戸数	国土交通省「建築着工統計調査」
公共投資	(1, 2)	公共工事請負額	西日本建設業保証株式会社
物価	(1)	消費者物価指数	県：調査統計課「消費者物価指数」 全国：総務省「消費者物価指数」
	(2)	企業物価指数	日本銀行「企業物価指数」
	(3)	原油価格とガソリン価格	資源エネルギー庁、日本経済新聞
金融	(1, 2)	預金・貸出金残高	日本銀行福岡支店、福岡県信用農業協同組合連合会
	(3)	金利(九州・沖縄地銀21行貸出約定平均金利)	日本銀行福岡支店「九州・沖縄地銀21行貸出約定平均金利」
	(4)	株価の変動	日本銀行ホームページ、財務省ホームページ、日本経済新聞
	(5, 6)	為替の変動・長期国債利回りの変動	
景気動向指数	(1, 2)	福岡県の景気動向指数	県：調査統計課 全国：内閣府「景気動向指数」
地域経済	(1)	地域経済動向の変遷	内閣府「地域経済動向」
日本経済	(1)	月例経済報告の変遷	内閣府「月例経済報告」
	(2)	GDP速報	内閣府総合社会経済研究所「四半期別GDP速報」
	(3)	政府経済見通し(主要経済指標)	内閣府
	(4)	海外主要国の経済成長見通し・日銀の経済見通し	日本銀行、経済協力開発機構、国際通貨基金、アジア開発銀行
海外経済	(1, 2)	主要経済指標の国際比較	内閣府「月例経済報告」

注)本資料における前月比、前年同月比、前年比、及び前期比は、それぞれ前月、前年同等に対する増減比を表す。「▲」はマイナスを表す。



県内経済の動向  
－平成27年11月－

福岡県企画・地域振興部調査統計課

電話：(092) 651-1111

(内線：2784, 2783)

直通：(092) 643-3190